

令和3年度佐賀市民意向調査

(「これからの“まちづくり”に関する市民意向調査」)

報 告 書

令和3年7月

佐賀市 企画調整部 企画政策課

目 次

1. 市民意向調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の概要	1
(3) 調査項目	1
(4) 旧市町村ごとの対象者数および回収結果	1
(5) 集計による補正係数	2
(6) 留意事項	2
2. 回答者の属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	4
(3) 職業	5
(4) 居住年数	6
(5) 同居家族	7
3. 佐賀市の愛着と定住意向	8
(1) “暮らしやすさ”の実感	8
(2) 暮らしやすいと思う理由	9
(3) 暮らしにくいと思う理由	10
(4) 佐賀市への愛着	11
(5) 愛着を感じる点	12
(6) 今後の居住予定	13
4. 「幸福感」の現状	14
(1) 幸福感の点数	14
(2) 幸福感を感じる上で重要な点	16
5. 生活の中の「意識」について	17
(1) 佐賀市全体	17
(2) 地区別	20
6. 日頃の生活における「取り組み」について	29
(1) 佐賀市全体	29
(2) 地区別	31
7. 施策の重要度と取組に対する満足度	40
(1) 施策の重要度	42
(2) 現状の満足度	53
(3) ポートフォリオ分析による施策項目の優先性	64
(4) 施策項目の対策必要度	83
8. 1日にかける家事（育児・介護を含む）の時間について	86
(1) 平日にかける家事時間	86
(2) 休日における家事時間	87
9. 新型コロナウイルス感染症について	88
(1) 仕事や収入について	88
(2) 学校や子育てについて	89
(3) 外出時のマスクの着用について	90
(4) 3密対策、衛生（消毒、手洗いなど）意識について	91
(5) 感染した場合の差別や偏見について	92
(6) ワクチン接種への期待について	93
(7) ワクチンの副反応について	94
(8) 不満や不安・ストレスの理由について	95
10. 家庭内における災害備蓄について	96
11. シティプロモーションについて	97
【参考資料】 使用した調査票	99

1. 市民意向調査の概要

(1) 調査の目的

佐賀市では、『豊かな自然とこどもの笑顔が輝くまち さが』という将来像を定め、この将来像を実現するために『第2次佐賀市総合計画』に基づいたまちづくりを進めているところである。

このアンケート調査は、総合計画での「政策展開の基本方向」を構成する36の施策を中心に質問を設定し、市民が「佐賀市の現状をどのように感じているか」、そして「これからの“まちづくり”についてどのような意見を持っているか」などを把握し、市民の声を市政に反映させることを目的として、毎年1回実施しているものである。

(2) 調査の概要

調査地域	佐賀市全域
調査対象	市内に居住する18歳以上の男女
対象者数	5,000人
抽出方法	旧市町村ごとに住民基本台帳から年齢階層別は無作為抽出
調査方法	郵送による配布、郵送による回収
調査時期	令和3年5月12日(水)～5月26日(水)

(3) 調査項目

今回使用したアンケート調査票の構成は、以下の通りである。

- 問1：個人属性
- 問2：暮らしやすさの実感
- 問3：佐賀市への愛着
- 問4：今後の居住予定
- 問5：「幸福感」の現状
- 問6：まちづくりに対する「意識」
- 問7：まちづくりに対する「取り組み」
- 問8：市の施策の重要度と現状に対する満足度
- 問9：家事に費やす時間について
- 問10：新型コロナウイルス感染症について
- 問11：家庭内における災害用備蓄について
- 問12：シティプロモーションについて
- 問13：市政に対する自由意見

(4) 旧市町村ごとの対象者数および回収結果

アンケートの調査対象者は、旧市町村ごとに住民基本台帳から年齢階層別は無作為抽出した。なお、抽出にあたっては、旧市町村ごとに分析を行う際に、統計上意味のあるデータが得られる限度を考慮して、人口の大小にかかわらず、以下のような対象者を設定した。

なお、調査対象者の抽出は、令和3年2月末日時点の住民基本台帳に基づいて実施した。

調査票の回収率は、全体で31.1%であった。旧市町村別にみると、旧大和町(32.2%)が高く、旧諸富町(27.5%)や旧川副町(27.8%)、旧久保田町(26.5%)などが他と比較してやや低かった。

■調査対象者の抽出状況および回収結果（回収率）

旧市町村	対象人口	抽出者数	抽出率 (抽出者数÷対象人口)	回収数	回収率
旧佐賀市	135,026 人	2,583 人	1.91%	829	32.1%
旧諸富町	8,744 人	353 人	4.04%	97	27.5%
旧大和町	19,109 人	537 人	2.81%	173	32.2%
旧富士町	3,089 人	254 人	8.22%	75	29.5%
旧三瀬村	1,057 人	200 人	18.92%	57	28.5%
旧川副町	13,516 人	439 人	3.25%	122	27.8%
旧東与賀町	6,628 人	317 人	4.78%	98	30.9%
旧久保田町	6,515 人	317 人	4.87%	84	26.5%
無回答	—	—	—	20	—
計(佐賀市)	193,684 人	5,000 人	2.58%	1,555	31.1%

(5) 集計による補正係数

今回実施したアンケート調査は調査対象者の抽出率が旧市町村ごとに異なっている。そこで、佐賀市全体としての意見を把握するために、旧三瀬村を 1.00 として以下の補正係数を乗じて集計分析を行った。

なお、補正係数は、補正した抽出者数の構成比が旧市町村の調査対象の人口構成比と同じになるような値を設定している。

■補正係数

旧市町村	対象人口	抽出者数	補正係数	補正抽出者数	補正構成比
旧佐賀市	135,026 人 (69.7%)	2,583 人 (51.7%)	9.891	25,549 人	69.7%
旧諸富町	8,744 人 (4.5%)	353 人 (7.1%)	4.687	1,654 人	4.5%
旧大和町	19,109 人 (9.9%)	537 人 (10.7%)	6.733	3,616 人	9.9%
旧富士町	3,089 人 (1.6%)	254 人 (5.1%)	2.301	584 人	1.6%
旧三瀬村	1,057 人 (0.5%)	200 人 (4.0%)	1.000	200 人	0.5%
旧川副町	13,516 人 (7.0%)	439 人 (8.8%)	5.826	2,557 人	7.0%
旧東与賀町	6,628 人 (3.4%)	317 人 (6.3%)	3.956	1,254 人	3.4%
旧久保田町	6,515 人 (3.4%)	317 人 (6.3%)	3.889	1,233 人	3.4%
計(佐賀市)	193,684 人 (100.0%)	5,000 人 (100.0%)		36,647 人	100.0%

()内は構成比率。それぞれの数値は、端数処理の関係で合計が合わない場合もある。

(6) 留意事項

- ・報告書では、基本的に小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しているため、個々の構成比の合計が 100.0%にならない場合がある。なお、「施策の重要度」の平均値、「現状の満足度」の平均値、対策必要度（「重要度」の平均値×「現状の満足度」の平均値）については、小数第3位を四捨五入し、小数第2位までを表示している。
- ・個人属性の集計結果の各表の上段は回答数、下段は構成比を表している。
- ・個人属性以外の調査結果において「佐賀市」の値は、地区別の回答数に上表の補正係数を乗じた値（少数第1位を四捨五入して整数値とする）の割合となっている。従って、「佐賀市」の回答数は、旧市町村の回答数の合計とは一致しない。

2. 回答者の属性

回答者の属性に関する集計を行った。なお、属性に関する集計は、補正係数による補正を行わず、実数を集計している。

(1) 性別

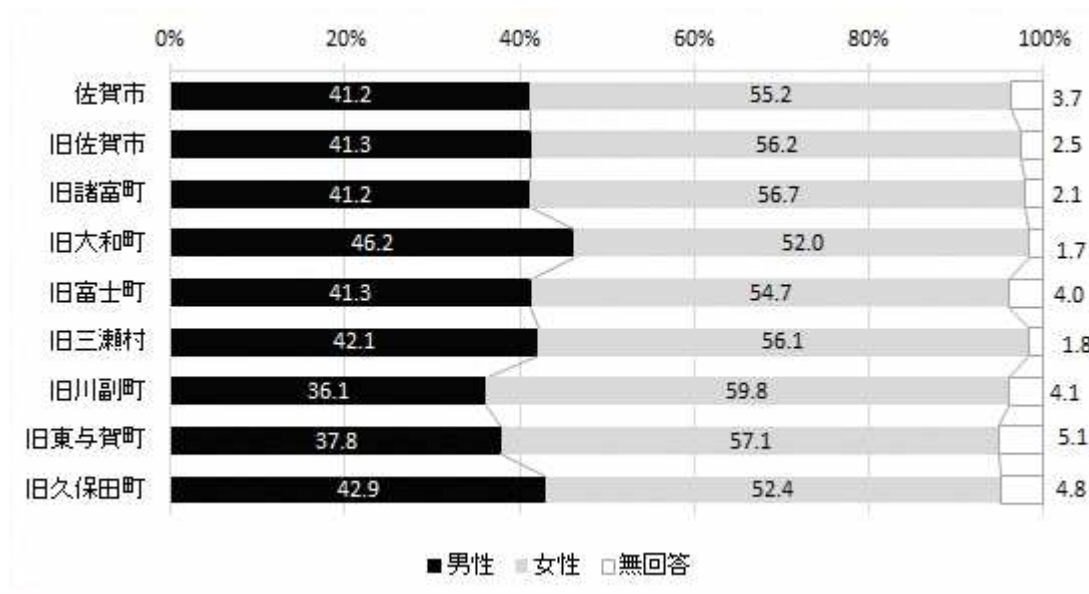
回答者の性別をみると、「女性」(55.2%)が「男性」(41.2%)よりやや多い。

地区別でみると、旧川副町は「女性」(59.8%)、旧大和町では「男性」(46.2%)と佐賀市全体に比べ、それぞれ5ポイント弱、多い結果となっている。

■回答者の性別

選択項目	合計	男性	女性	その他	無回答	
佐賀市	1,555	640	858	0	57	
	100.0%	41.2%	55.2%	0.0%	3.7%	
地区別	旧佐賀市	829	342	466	0	21
		100.0%	41.3%	56.2%	0.0%	2.5%
	旧諸富町	97	40	55	0	2
		100.0%	41.2%	56.7%	0.0%	2.1%
	旧大和町	173	80	90	0	3
		100.0%	46.2%	52.0%	0.0%	1.7%
	旧富士町	75	31	41	0	3
		100.0%	41.3%	54.7%	0.0%	4.0%
	旧三瀬村	57	24	32	0	1
		100.0%	42.1%	56.1%	0.0%	1.8%
旧川副町	122	44	73	0	5	
	100.0%	36.1%	59.8%	0.0%	4.1%	
旧東与賀町	98	37	56	0	5	
	100.0%	37.8%	57.1%	0.0%	5.1%	
旧久保田町	84	36	44	0	4	
	100.0%	42.9%	52.4%	0.0%	4.8%	
無回答	20	6	1	0	13	
	100.0%	30.0%	5.0%	0.0%	65.0%	

【地区別の性別】



(2) 年齢

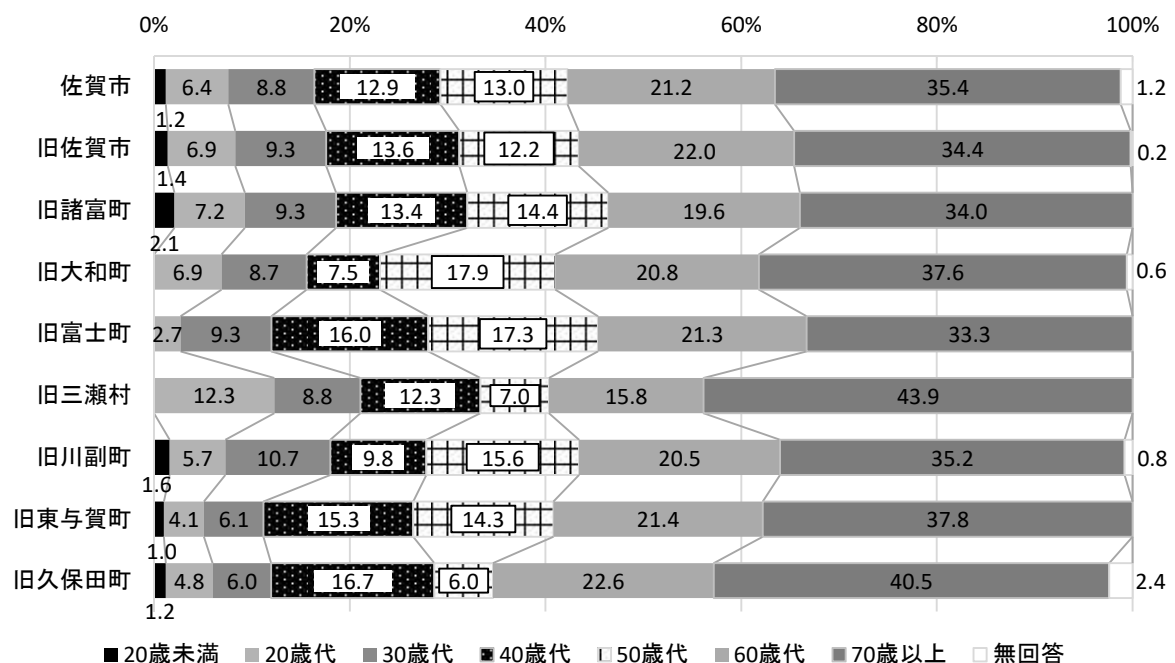
回答者の年齢をみると、「70歳以上」(35.4%)で最も多く、次いで「60歳代」(21.2%)となっており、年齢層が高いほど回答者が多くなっている。

また、旧三瀬村と旧久保田町では『70歳以上』の割合が、他の地区に比べ比較的高い。

■回答者の年齢

選択項目	合計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	
佐賀市	1,555	18	100	137	200	202	329	550	19	
	100.0%	1.2%	6.4%	8.8%	12.9%	13.0%	21.2%	35.4%	1.2%	
地区別	旧佐賀市	829	12	57	77	113	101	182	285	2
	100.0%	1.4%	6.9%	9.3%	13.6%	12.2%	22.0%	34.4%	0.2%	
	旧諸富町	97	2	7	9	13	14	19	33	-
	100.0%	2.1%	7.2%	9.3%	13.4%	14.4%	19.6%	34.0%	-	
	旧大和町	173	-	12	15	13	31	36	65	1
	100.0%	-	6.9%	8.7%	7.5%	17.9%	20.8%	37.6%	0.6%	
	旧富士町	75	-	2	7	12	13	16	25	-
	100.0%	-	2.7%	9.3%	16.0%	17.3%	21.3%	33.3%	-	
	旧三瀬村	57	-	7	5	7	4	9	25	-
	100.0%	-	12.3%	8.8%	12.3%	7.0%	15.8%	43.9%	-	
	旧川副町	122	2	7	13	12	19	25	43	1
	100.0%	1.6%	5.7%	10.7%	9.8%	15.6%	20.5%	35.2%	0.8%	
旧東与賀町	98	1	4	6	15	14	21	37	-	
100.0%	1.0%	4.1%	6.1%	15.3%	14.3%	21.4%	37.8%	-		
旧久保田町	84	1	4	5	14	5	19	34	2	
100.0%	1.2%	4.8%	6.0%	16.7%	6.0%	22.6%	40.5%	2.4%		
無回答	20	-	-	-	1	1	2	3	13	
100.0%	-	-	-	-	5.0%	5.0%	10.0%	15.0%	65.0%	

【地区別の年齢】



(3) 職業

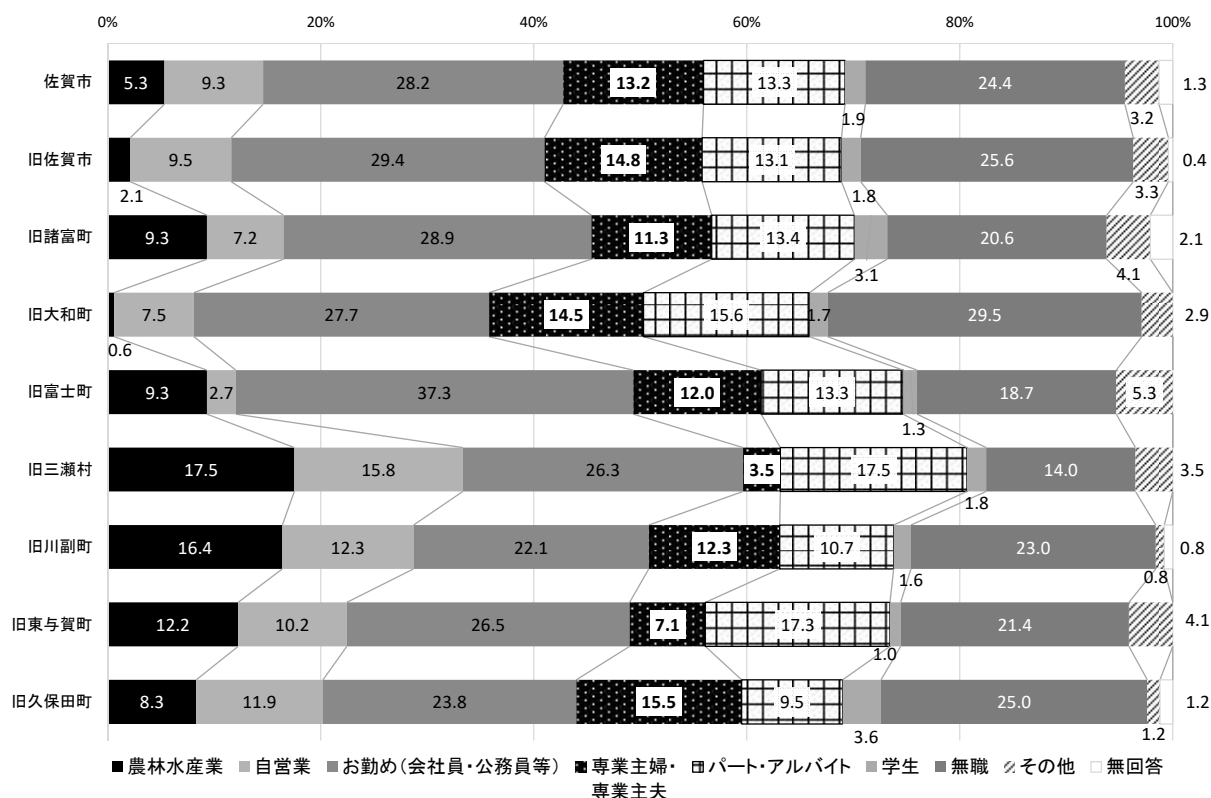
回答者の職業構成をみると、「お勤め（会社員・公務員等）」（28.2%）が最も多く、次いで「無職」（24.4%）、「パート・アルバイト」（13.3%）、「専業主婦・専業主夫」（13.2%）となっている。

地区別でみると、ほとんどの地区は「お勤め（会社員・公務員等）」、「無職」の順に回答が多くなっているが、旧三瀬村では「お勤め（会社員・公務員等）」の次に「農林水産業」、「パート・アルバイト」が、旧久保田町では「無職」の次に「お勤め（会社員・公務員等）」が多くなっている。

■回答者の職業

選択項目	合計	農林水産業	自営業	お勤め (会社員・ 公務員等)	専業主婦 専業主夫	パート・ アルバイト	学生	無職	その他	無回答	
佐賀市	1,555	83	145	438	205	207	29	379	49	20	
	100.0%	5.3%	9.3%	28.2%	13.2%	13.3%	1.9%	24.4%	3.2%	1.3%	
地区別	旧佐賀市	829	17	79	244	123	109	15	212	27	3
		100.0%	2.1%	9.5%	29.4%	14.8%	13.1%	1.8%	25.6%	3.3%	0.4%
	旧諸富町	97	9	7	28	11	13	3	20	4	2
		100.0%	9.3%	7.2%	28.9%	11.3%	13.4%	3.1%	20.6%	4.1%	2.1%
	旧大和町	173	1	13	48	25	27	3	51	5	-
		100.0%	0.6%	7.5%	27.7%	14.5%	15.6%	1.7%	29.5%	2.9%	-
	旧富士町	75	7	2	28	9	10	1	14	4	-
		100.0%	9.3%	2.7%	37.3%	12.0%	13.3%	1.3%	18.7%	5.3%	-
	旧三瀬村	57	10	9	15	2	10	1	8	2	-
		100.0%	17.5%	15.8%	26.3%	3.5%	17.5%	1.8%	14.0%	3.5%	-
	旧川副町	122	20	15	27	15	13	2	28	1	1
		100.0%	16.4%	12.3%	22.1%	12.3%	10.7%	1.6%	23.0%	0.8%	0.8%
	旧東与賀町	98	12	10	26	7	17	1	21	4	-
	100.0%	12.2%	10.2%	26.5%	7.1%	17.3%	1.0%	21.4%	4.1%	-	
旧久保田町	84	7	10	20	13	8	3	21	1	1	
	100.0%	8.3%	11.9%	23.8%	15.5%	9.5%	3.6%	25.0%	1.2%	1.2%	
無回答	20	-	-	2	-	-	-	4	1	13	
	100.0%	-	-	10.0%	-	-	-	20.0%	5.0%	65.0%	

【地区別の職業】



(4) 居住年数

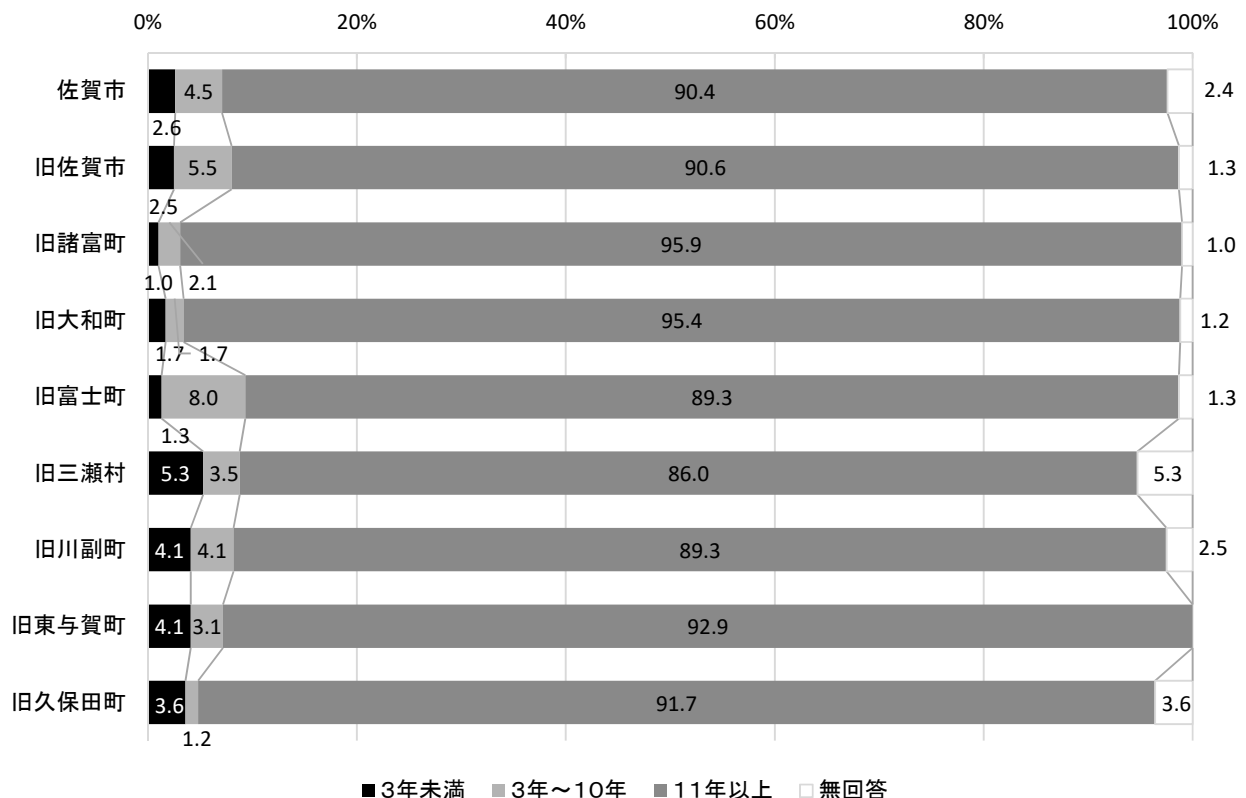
回答者の居住年数をみると、「11年以上」(90.4%)が9割を占め、次いで「3年～10年」(4.5%)、「3年未満」(2.6%)となっている。

地区別でみると、いずれの地区も「11年以上」が最も多くなっている。

■回答者の居住年数

選択項目	合計	3年未満	3年～10年	11年以上	無回答	
佐賀市	1,555	41	70	1,406	38	
	100.0%	2.6%	4.5%	90.4%	2.4%	
地区別	旧佐賀市	829	21	46	751	11
		100.0%	2.5%	5.5%	90.6%	1.3%
	旧諸富町	97	1	2	93	1
		100.0%	1.0%	2.1%	95.9%	1.0%
	旧大和町	173	3	3	165	2
		100.0%	1.7%	1.7%	95.4%	1.2%
	旧富士町	75	1	6	67	1
		100.0%	1.3%	8.0%	89.3%	1.3%
	旧三瀬村	57	3	2	49	3
		100.0%	5.3%	3.5%	86.0%	5.3%
	旧川副町	122	5	5	109	3
		100.0%	4.1%	4.1%	89.3%	2.5%
旧東与賀町	98	4	3	91	-	
	100.0%	4.1%	3.1%	92.9%	-	
旧久保田町	84	3	1	77	3	
	100.0%	3.6%	1.2%	91.7%	3.6%	
無回答	20	-	2	4	14	
	100.0%	-	10.0%	20.0%	70.0%	

【地区別の居住年数】



(5) 同居家族

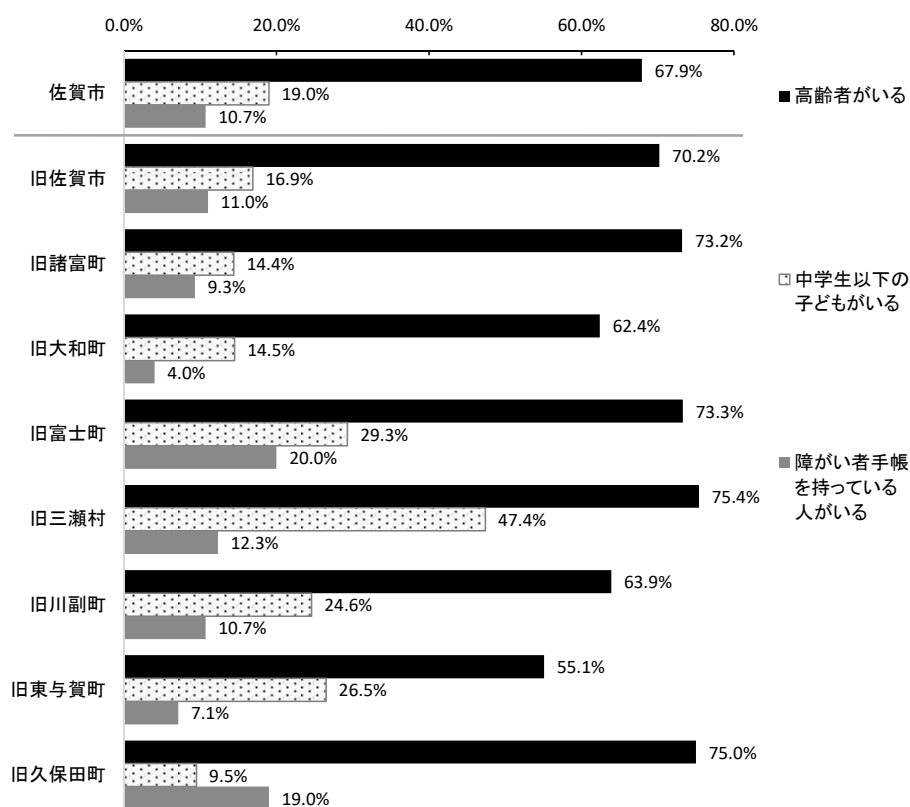
回答者の同居家族をみると、「高齢者（65歳以上の方）」がいる世帯は67.9%、「中学生以下の子ども」がいる世帯は19.0%、「障害者手帳をお持ちの方」がいる世帯は10.7%となっている。

地区別でみると佐賀市全体に比べて、旧東与賀町では「高齢者（65歳以上の方）」（55.1%）のいる世帯が5割強と低く、旧三瀬村では「中学生以下の子ども」（47.4%）のいる世帯が5割弱と多い。

■同居家族（複数回答）

選択項目	合計	同居家族の種類					中学生以下の子どもがいる	それ以外の18歳未満の子ども	高齢者（65歳以上の方）	障害者手帳をお持ちの方	世帯に左記にあてはまる人はいない	無回答
		保育園児 幼稚園児	保育園児や 幼稚園児以外 の就学前の子ども	小学生の 子ども	中学生の 子ども							
佐賀市	1,555	83	19	116	77	295	89	1,056	166	348	27	
	100.0%	5.3%	1.2%	7.5%	5.0%	19.0%	5.7%	67.9%	10.7%	22.4%	1.7%	
地区別	旧佐賀市	829	40	8	55	37	140	44	582	91	184	9
	100.0%	4.8%	1.0%	6.6%	4.5%	16.9%	5.3%	70.2%	11.0%	22.2%	1.1%	
	旧諸富町	97	4	-	6	4	14	6	71	9	22	1
	100.0%	4.1%	-	6.2%	4.1%	14.4%	6.2%	73.2%	9.3%	22.7%	1.0%	
	旧大和町	173	8	1	10	6	25	11	108	7	50	-
	100.0%	4.6%	0.6%	5.8%	3.5%	14.5%	6.4%	62.4%	4.0%	28.9%	-	
	旧富士町	75	4	3	8	7	22	3	55	15	14	-
	100.0%	5.3%	4.0%	10.7%	9.3%	29.3%	4.0%	73.3%	20.0%	18.7%	-	
	旧三瀬村	57	5	2	14	6	27	1	43	7	7	2
	100.0%	8.8%	3.5%	24.6%	10.5%	47.4%	1.8%	75.4%	12.3%	12.3%	3.5%	
	旧川副町	122	9	1	10	10	30	14	78	13	21	2
	100.0%	7.4%	0.8%	8.2%	8.2%	24.6%	11.5%	63.9%	10.7%	17.2%	1.6%	
旧東与賀町	98	9	1	9	7	26	7	54	7	29	-	
100.0%	9.2%	1.0%	9.2%	7.1%	26.5%	7.1%	55.1%	7.1%	29.6%	-		
旧久保田町	84	2	3	3	-	8	3	63	16	16	1	
100.0%	2.4%	3.6%	3.6%	-	9.5%	3.6%	75.0%	19.0%	19.0%	1.2%		
無回答	20	2	-	1	-	3	-	2	1	5	12	
100.0%	10.0%	-	5.0%	-	15.0%	-	10.0%	5.0%	25.0%	60.0%		

■世帯の中に高齢者（65歳以上の方）、中学生以下の子ども、障がい者手帳を持っている方がいる割合



3. 佐賀市の愛着と定住意向

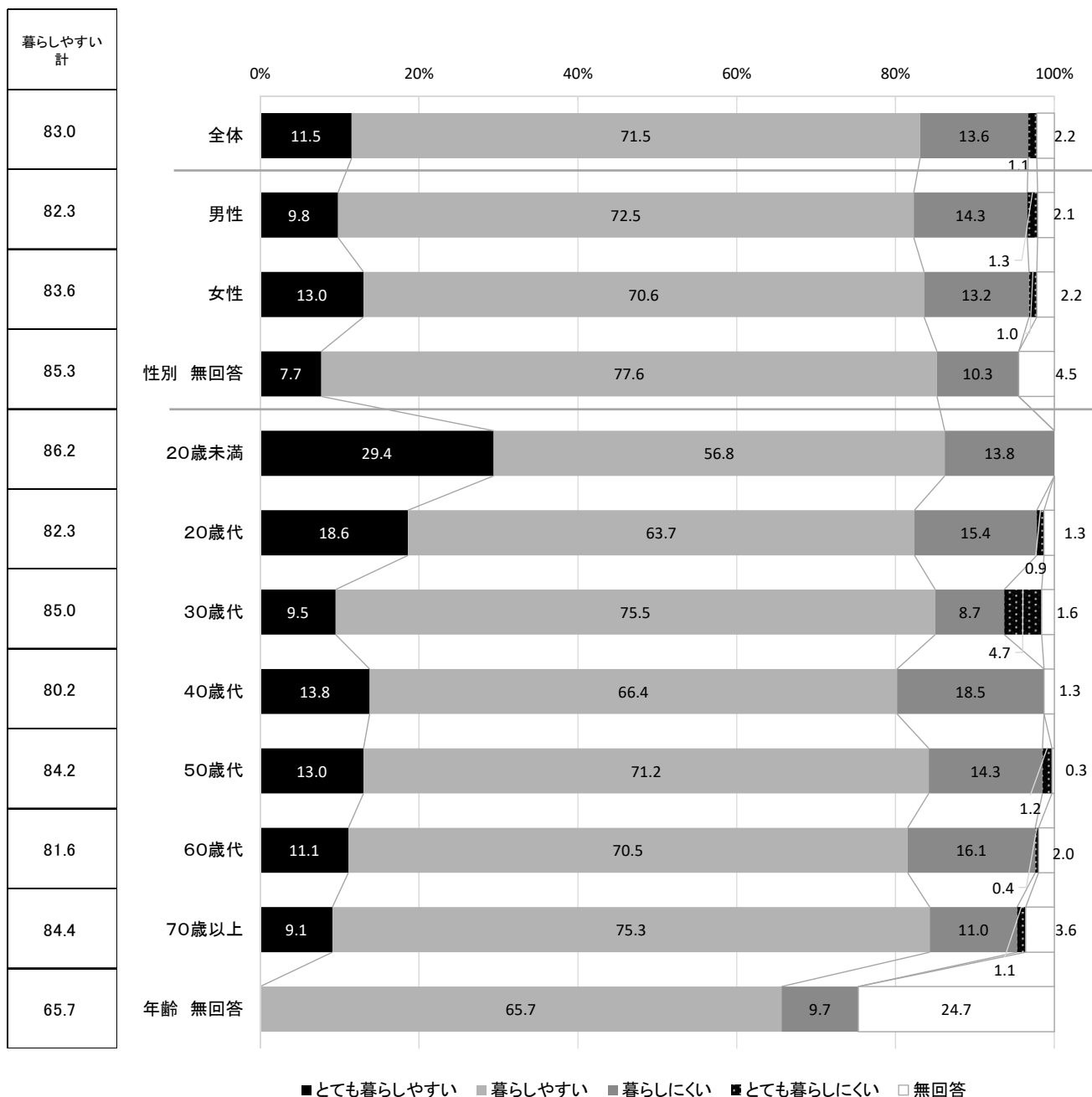
(1) “暮らしやすさ”の実感

佐賀市の暮らしやすさの実感をみると、「とても暮らしやすい」(11.5%)、「暮らしやすい」(71.5%)を合わせた『暮らしやすい』(83.0%)が8割を占める。一方、「暮らしにくい」(13.6%)、「とても暮らしにくい」(1.1%)を合わせた『暮らしにくい』は14.7%となっている。

性別でみると、男女とも全体結果とほぼ同様の回答傾向を示しているが、「とても暮らしやすい」では女性が男性より3.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、40歳代と60歳代において『暮らしやすい』と答える人の割合が比較的低く、20歳未満で『暮らしやすい』と答える人の割合が最も高い。

■暮らしやすさの実感（全体、性別、年齢別）



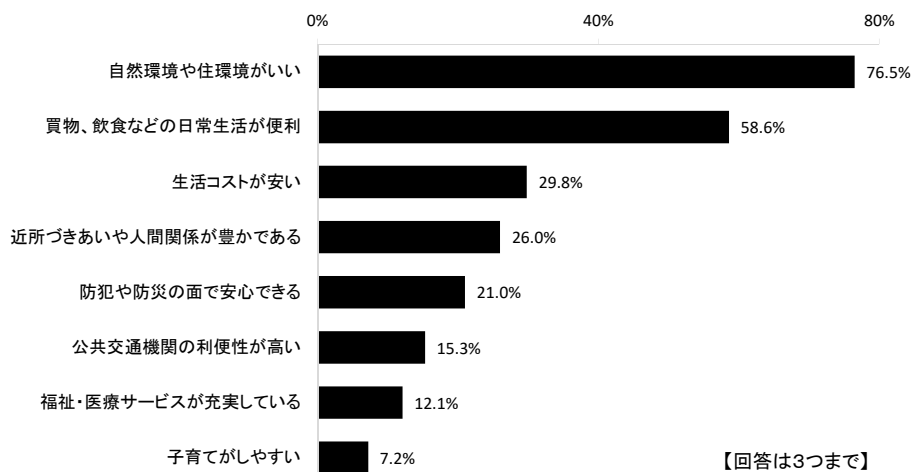
(2) 暮らしやすいと思う理由

『暮らしやすい』と答えた人の理由をみると、「自然環境や住環境がいい」(76.5%)が最も多く、次いで「買物、飲食などの日常生活が便利」(58.6%)となっている。

性別でみると、男女とも全体結果とほぼ同様の回答傾向を示している。

年齢別でみると、40歳代では「子育てがしやすい」、20歳代では「生活コストが安い」と答える人が多くみられ、20歳代と30歳代では「近所づきあいや人間関係が豊かである」と答える人が少なくみられる。

■暮らしやすいと思う理由（全体）



■暮らしやすいと思う理由（性別、年齢別）

	合計	自然環境 がよい	福祉・医療 サービス が充実 している	子育て がし やすい	公共交 通機 関の 利便 性 が 高 い	買物、 飲食 など の 日 常 生 活 が 便 利	近所 づ き あ い や 人 間 関 係 が 豊 か で あ る	防 犯 や 防 災 の 面 で 安 心 で き る	生 活 コ ス ト が 安 い	無 回 答	
		割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	
全体	9,531	7,293	1,157	686	1,463	5,584	2,479	2,006	2,842	87	
	100.0%	76.5%	12.1%	7.2%	15.3%	58.6%	26.0%	21.0%	29.8%	0.9%	
性別	男性	3,905	3,086	454	234	614	2,100	1,063	979	1,141	51
		100.0%	79.0%	11.6%	6.0%	15.7%	53.8%	27.2%	25.1%	29.2%	1.3%
	女性	5,363	4,041	613	422	771	3,347	1,359	952	1,647	26
	100.0%	75.4%	11.4%	7.9%	14.4%	62.4%	25.3%	17.8%	30.7%	0.5%	
	無回答	264	166	90	30	78	137	58	75	55	10
	100.0%	62.8%	34.0%	11.2%	29.5%	51.9%	22.0%	28.3%	20.7%	3.7%	
年齢別	20歳未満	127	83	-	6	30	74	34	14	39	-
		100.0%	65.2%	-	4.6%	23.3%	58.1%	26.4%	10.8%	31.0%	-
	20歳代	627	441	61	22	80	327	106	119	294	10
		100.0%	70.4%	9.7%	3.4%	12.7%	52.2%	16.9%	19.0%	46.9%	1.6%
	30歳代	888	670	65	114	69	548	151	171	323	-
		100.0%	75.5%	7.3%	12.8%	7.8%	61.7%	17.0%	19.2%	36.3%	-
	40歳代	1,191	841	80	241	110	673	260	146	504	14
		100.0%	70.6%	6.7%	20.2%	9.2%	56.5%	21.8%	12.3%	42.3%	1.2%
	50歳代	1,257	987	101	87	153	598	352	288	423	-
		100.0%	78.5%	8.0%	6.9%	12.2%	47.5%	28.0%	22.9%	33.7%	-
60歳代	2,022	1,662	168	101	375	1,200	565	402	561	11	
	100.0%	82.2%	8.3%	5.0%	18.5%	59.3%	27.9%	19.9%	27.8%	0.5%	
70歳以上	3,393	2,582	683	116	647	2,158	1,013	859	687	53	
	100.0%	76.1%	20.1%	3.4%	19.1%	63.6%	29.8%	25.3%	20.2%	1.6%	
	無回答	26	26	-	-	6	-	7	11	-	
	100.0%	100.0%	-	-	-	22.1%	-	25.6%	40.3%	-	

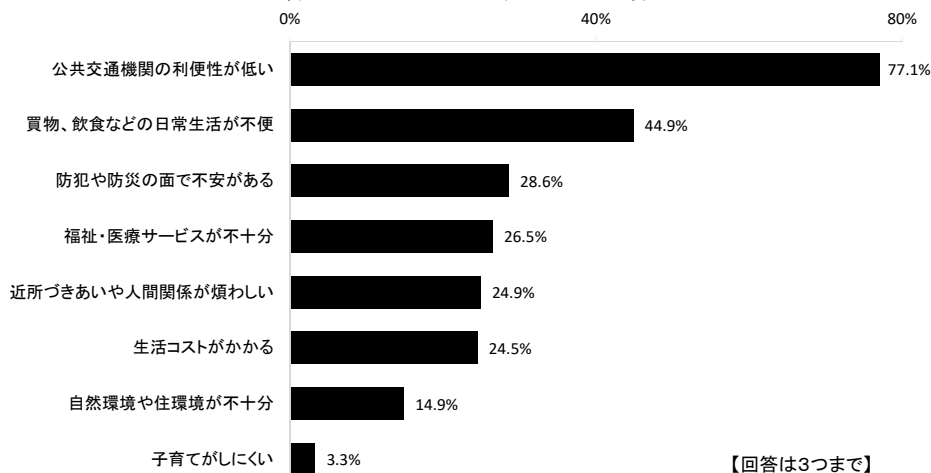
(3) 暮らしにくいと思う理由

『暮らしにくい』と答えた人の理由をみると、「公共交通機関の利便性が低い」(77.1%)が最も多く、次いで「買物、飲食などの日常生活が不便」(44.9%)となっている。

性別でみると、男女とも全体結果とほぼ同様の回答傾向を示しているが、「買物、飲食などの日常生活が不便」では男性が女性より 11.2 ポイント高く、「防犯や防災の面で不安がある」では女性が男性より 13.4 ポイント高くなっている。

年齢別でみると、該当者が少ないが 20 歳未満では「公共交通機関の利便性が低い」、20 歳未満と 30 歳代では「生活コストがかかる」、40 歳代では「防犯や防災の面で不安がある」、50 歳代では「福祉・医療サービスが不十分」、60 歳代では「近所づきあいや人間関係が煩わしい」、70 歳以上では「買物、飲食などの日常生活が不便」と答える人が多くみられる。

■暮らしにくいと思う理由 (全体)



■暮らしにくいと思う理由 (性別、年齢別)

	合計	不十分	福祉・医療サービス	子育てがしにくい	公共交通機関の利便性が低い	買物、飲食などの日常生活が不便	近所づきあいや人間関係が煩わしい	防犯や防災の面で不安がある	生活コストがかかる	無回答
		自然環境や住環境が	が不十分							
全体	1,686	252	447	56	1,300	757	419	482	413	-
	100.0%	14.9%	26.5%	3.3%	77.1%	44.9%	24.9%	28.6%	24.5%	-
性別	男性	741	132	224	2	573	375	146	158	214
		100.0%	17.8%	30.3%	0.3%	77.3%	50.6%	19.8%	21.4%	29.0%
	女性	914	114	217	54	701	360	269	318	192
	100.0%	12.5%	23.8%	5.9%	76.8%	39.4%	29.5%	34.8%	21.0%	
	無回答	32	6	6	-	26	22	4	6	6
	100.0%	18.3%	19.6%	-	80.4%	69.3%	12.4%	18.3%	19.6%	
年齢別	20歳未満	20	-	-	-	20	11	-	6	10
		100.0%	-	-	-	100.0%	51.5%	-	28.6%	48.5%
	20歳代	124	9	29	-	118	32	24	22	17
		100.0%	7.3%	23.5%	-	94.6%	25.7%	19.0%	17.9%	13.4%
	30歳代	140	10	50	2	113	68	21	27	48
		100.0%	7.1%	36.1%	1.4%	81.1%	48.6%	15.3%	19.0%	34.6%
	40歳代	274	78	58	37	223	82	86	108	43
		100.0%	28.3%	21.2%	13.4%	81.6%	30.0%	31.5%	39.3%	15.9%
50歳代	231	22	88	-	175	80	77	53	77	
	100.0%	9.6%	38.2%	-	75.9%	34.8%	33.4%	23.1%	33.5%	
60歳代	409	38	85	10	313	201	134	91	121	
	100.0%	9.3%	20.8%	2.4%	76.6%	49.1%	32.9%	22.4%	29.6%	
70歳以上	484	95	137	7	336	279	73	175	96	
	100.0%	19.6%	28.3%	1.5%	69.5%	57.6%	15.0%	36.2%	19.8%	
	無回答	4	-	-	-	4	4	-	-	-
	100.0%	-	-	-	-	100.0%	100.0%	-	-	

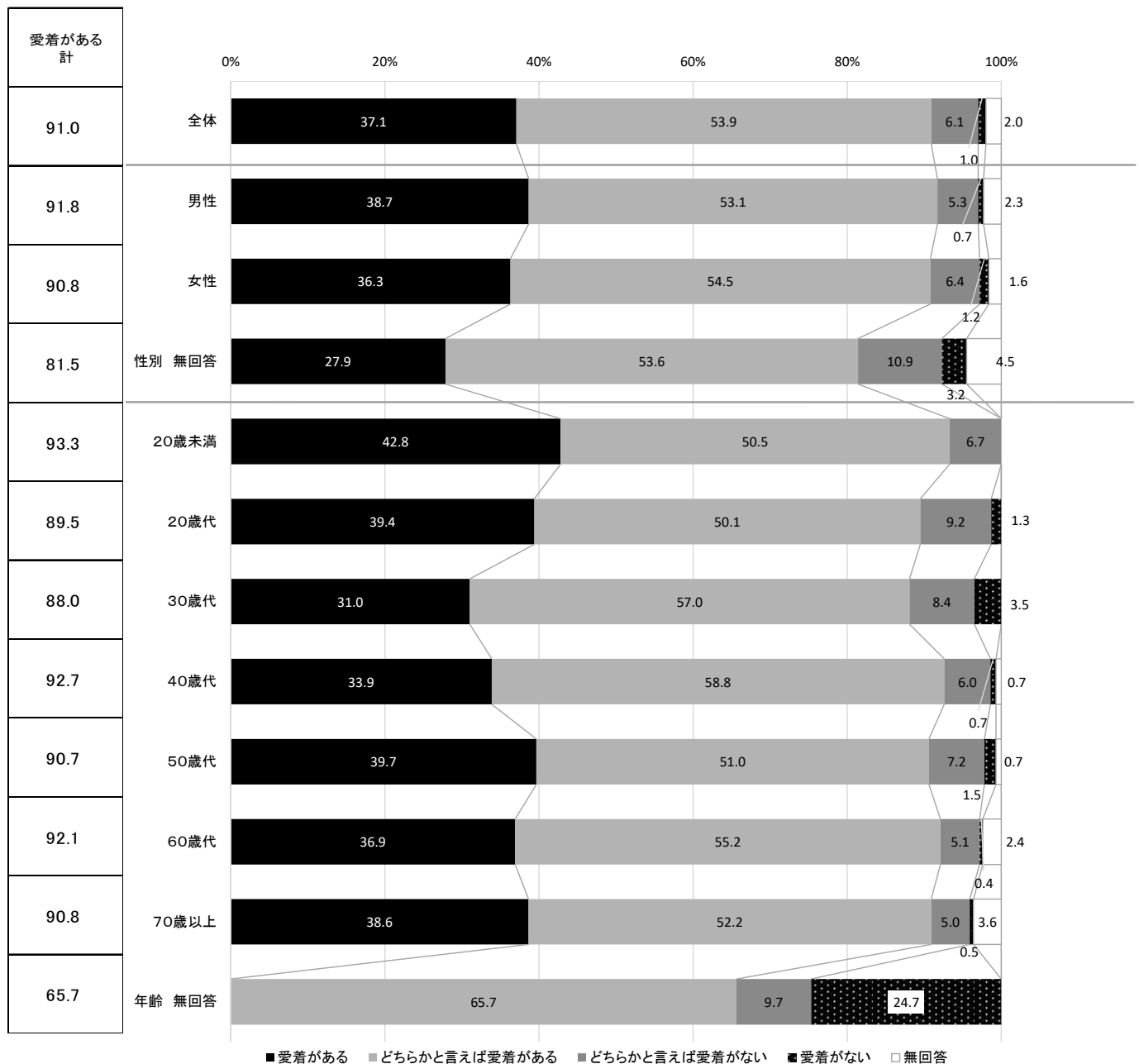
(4) 佐賀市への愛着

佐賀市に対する愛着をみると、「愛着がある」(37.1%)、「どちらかと言えば愛着がある」(53.9%)を合わせた『愛着がある』(91.0%)が9割を占める。一方、「愛着がない」(1.0%)、「どちらかと言えば愛着がない」(6.1%)を合わせた『愛着がない』(7.1%)は1割に満たない。

性別でみると、男女とも全体結果とほぼ同様の回答傾向を示している。

年齢別でみると、各年代とも『愛着がある』と答える人が大半を占め、20歳未満の割合が最も高い。

■佐賀市への愛着（全体、性別、年齢別）



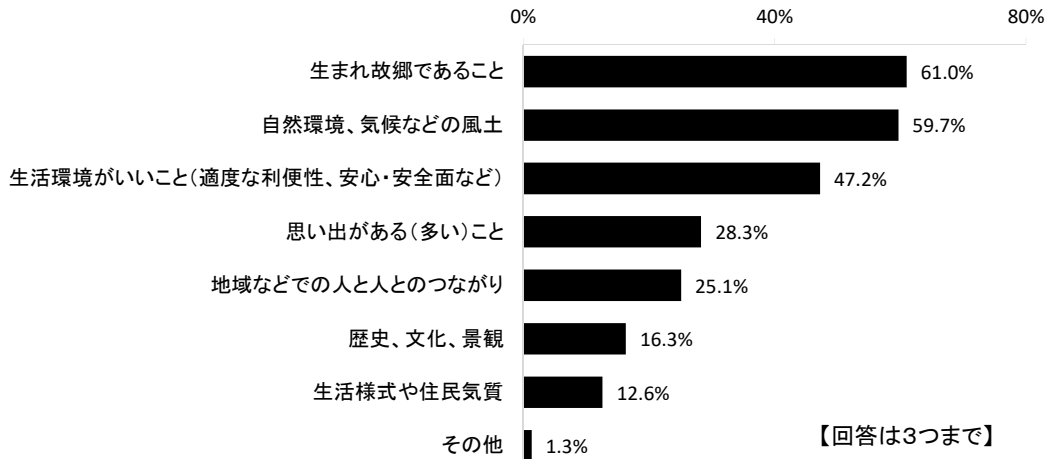
(5) 愛着を感じる点

『愛着がある』と答えた人の愛着を感じる点を見ると、「生まれ故郷であること」(61.0%)が最も多く、次いで「自然環境、気候などの風土」(59.7%)、「生活環境がいいこと(適度な利便性、安心・安全面など)」(47.2%)となっている。

性別で見ると、男女とも全体結果とほぼ同様の回答傾向を示している。

年齢別で見ると、該当者が少ないが20歳未満と20歳代では「思い出がある(多い)こと」、20歳では「生まれ故郷であること」、70歳以上で「地域などでの人と人とのつながり」と答える人が多い。

■愛着を感じる点(全体)



■愛着を感じる点(性別、年齢別)

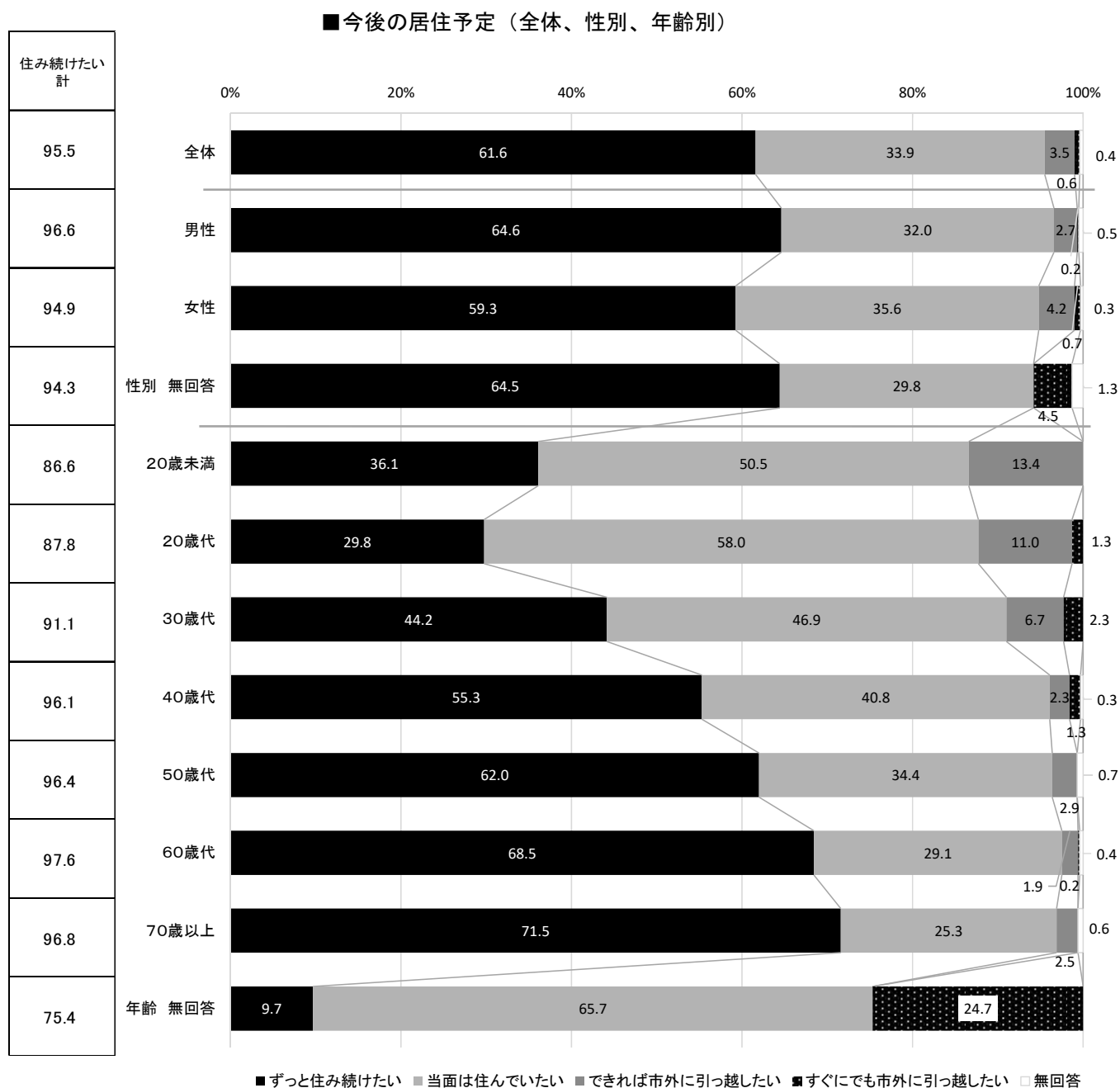
	合計	風土	生まれ	心・生活	思い出	地域	歴史	生活	その他	無回答	
		自然環境、気候などの	故郷であること	(適度な利便性、安心・安全面など)	がある(多い)	などでの人と人との	文化、景観	様式や住民気質			
全体	10,432	6,230	6,360	4,926	2,950	2,621	1,698	1,315	131	18	
	100.0%	59.7%	61.0%	47.2%	28.3%	25.1%	16.3%	12.6%	1.3%	0.2%	
性別	男性	4,356	2,735	2,917	1,856	1,265	1,050	728	548	46	-
		100.0%	62.8%	67.0%	42.6%	29.0%	24.1%	16.7%	12.6%	1.1%	-
	女性	5,824	3,359	3,364	2,925	1,642	1,480	912	702	84	10
	100.0%	57.7%	57.8%	50.2%	28.2%	25.4%	15.7%	12.1%	1.4%	0.2%	
	無回答	252	136	78	145	43	91	58	65	-	8
	100.0%	54.0%	31.0%	57.3%	17.2%	36.0%	23.0%	25.6%	-	3.1%	
年齢別	20歳未満	138	45	108	47	79	10	10	20	-	-
		100.0%	33.0%	78.4%	34.4%	57.3%	7.2%	7.2%	14.4%	-	-
	20歳代	681	324	617	190	366	61	94	17	-	-
		100.0%	47.6%	90.6%	27.9%	53.7%	8.9%	13.8%	2.5%	-	-
	30歳代	920	387	723	337	338	127	136	77	20	-
		100.0%	42.0%	78.6%	36.6%	36.8%	13.8%	14.8%	8.3%	2.2%	-
	40歳代	1,376	725	1,010	590	442	222	175	193	29	10
		100.0%	52.7%	73.4%	42.9%	32.2%	16.1%	12.7%	14.0%	2.1%	0.7%
	50歳代	1,354	710	880	641	293	333	254	199	27	-
		100.0%	52.5%	65.0%	47.3%	21.7%	24.6%	18.8%	14.7%	2.0%	-
60歳代	2,284	1,518	1,374	1,044	621	544	425	280	9	4	
	100.0%	66.5%	60.1%	45.7%	27.2%	23.8%	18.6%	12.3%	0.4%	0.2%	
70歳以上	3,654	2,504	1,644	2,060	806	1,319	604	529	47	4	
	100.0%	68.5%	45.0%	56.4%	22.1%	36.1%	16.5%	14.5%	1.3%	0.1%	
	無回答	26	17	4	17	4	6	-	-	-	
	100.0%	63.1%	14.8%	63.1%	14.8%	22.1%	-	-	-	-	

(6) 今後の居住予定

佐賀市の今後の居住予定をみると、「ずっと住み続けたい」(61.6%)、「当面は住んでいたい」(33.9%)を合わせた『住み続けたい』(95.5%)が9割以上を占める。一方、「すぐにでも市外に引っ越したい」(0.6%)、「できれば市外へ引っ越したい」(3.5%)を合わせた『引っ越したい』(4.1%)は1割にも満たない。

性別でみると、男女とも全体結果とほぼ同様の回答傾向を示している。

年齢別でみると、各年代とも『住み続けたい』が9割前後を占めており、年齢の高いほど「ずっと住み続けたい」と答える人が多い傾向にある。



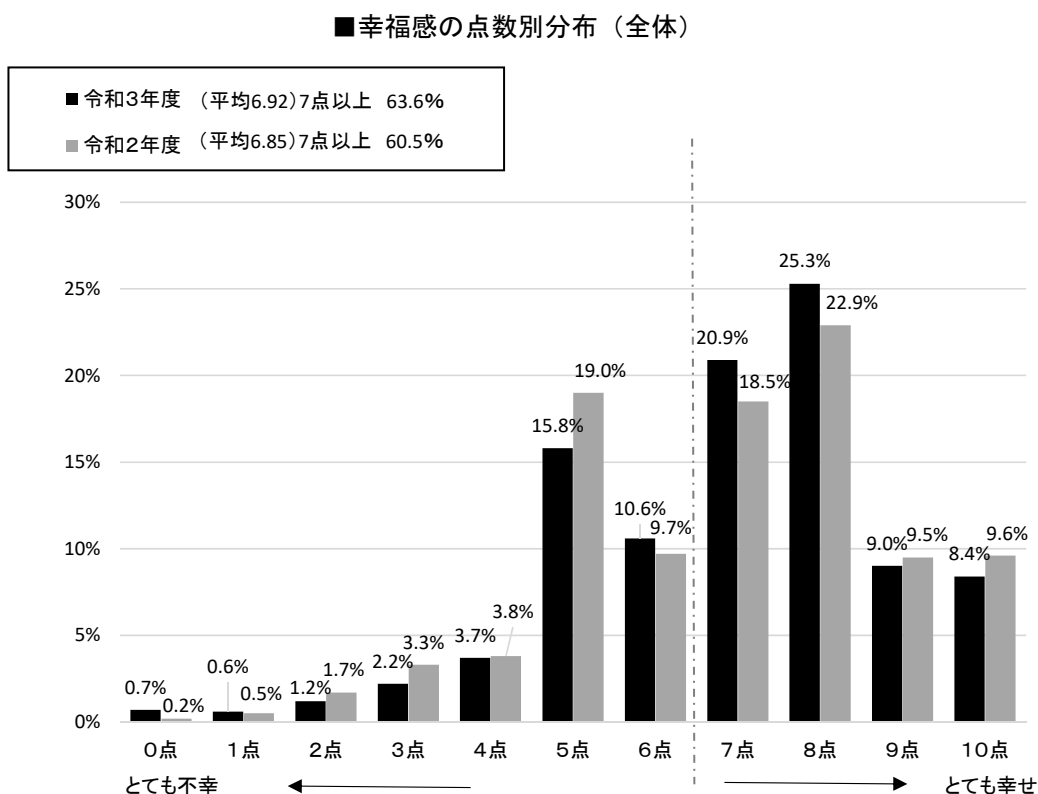
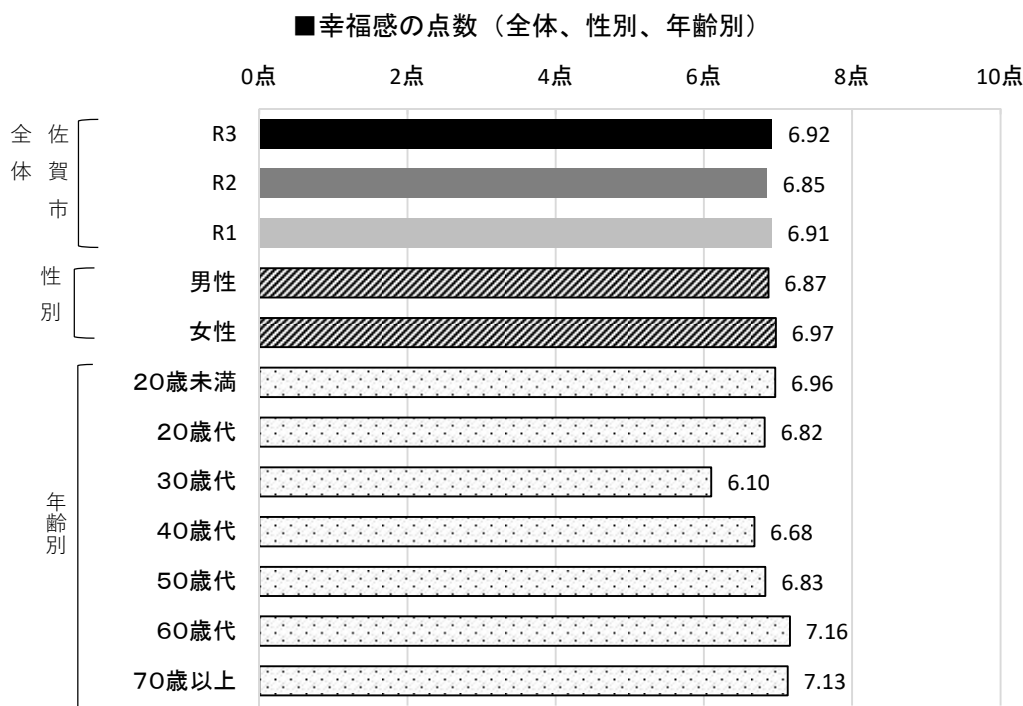
4.「幸福感」の現状

(1) 幸福感の点数

現在の幸福感について、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として尋ねた。

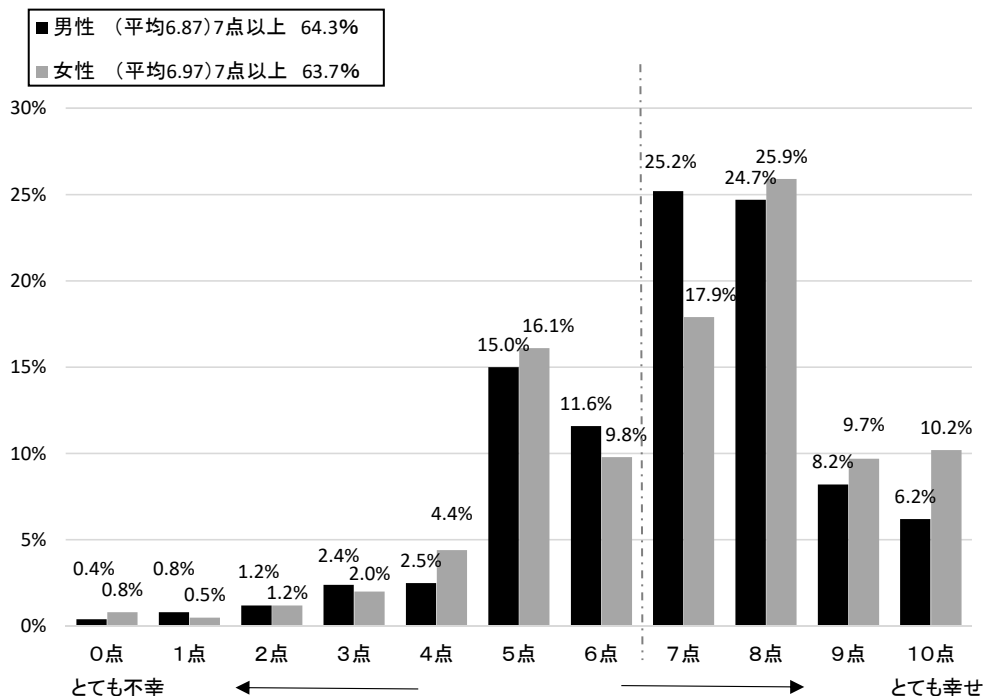
佐賀市全体の幸福感の点数(平均値)は6.92点であり、令和2年度(6.85点)、令和元年度(6.91点)より高くなっている。

また、幸福感の点数別分布をみると、「8点」(25.3%)が最も多く、次いで「7点」(20.9%)であり、『7点以上』(63.6%)が6割以上を占めている。



性別の点数（平均値）をみると、「女性」（6.97点）が「男性」（6.87点）より高いものの、幸福感が『7点以上』でみると「男性」（64.3%）が「女性」（63.7%）より多い。

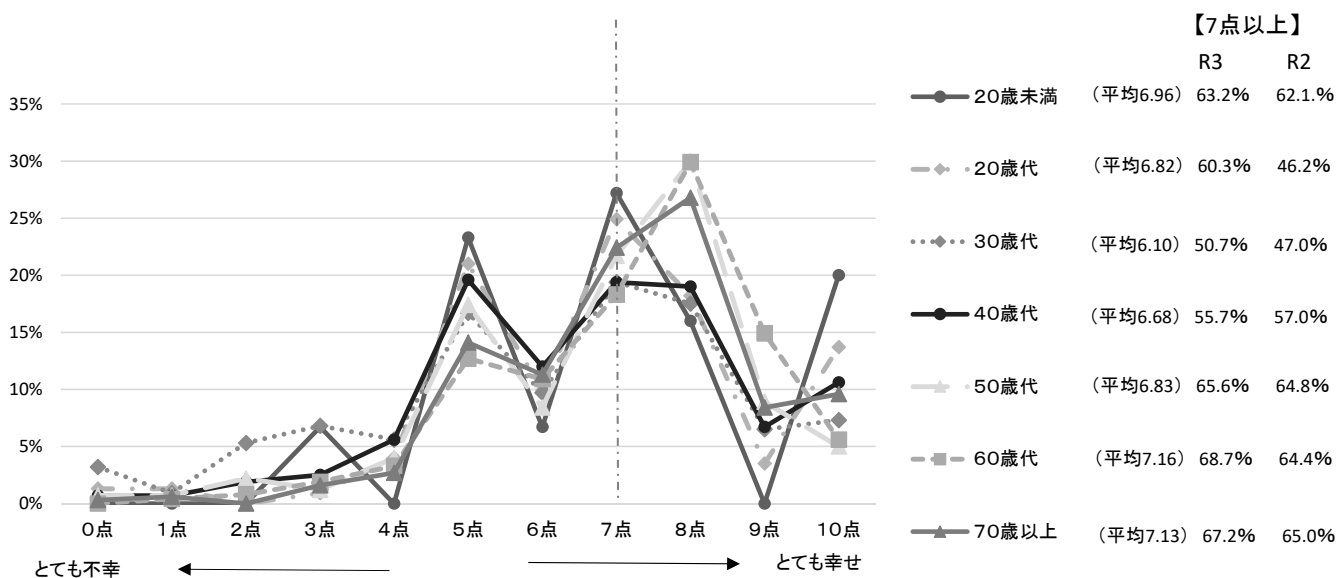
■ 幸福感の点数別分布（性別）



年齢別の点数（平均値）をみると、「60歳代」（7.16点）が最も高く、「30歳代」（6.10点）が最も低い。

また、幸福感が『7点以上』の人は、「60歳代」（68.7%）が最も多く、次いで「70歳以上」（67.2%）、「50歳代」（65.6%）となっている。

■ 幸福感の点数別分布（年齢別）



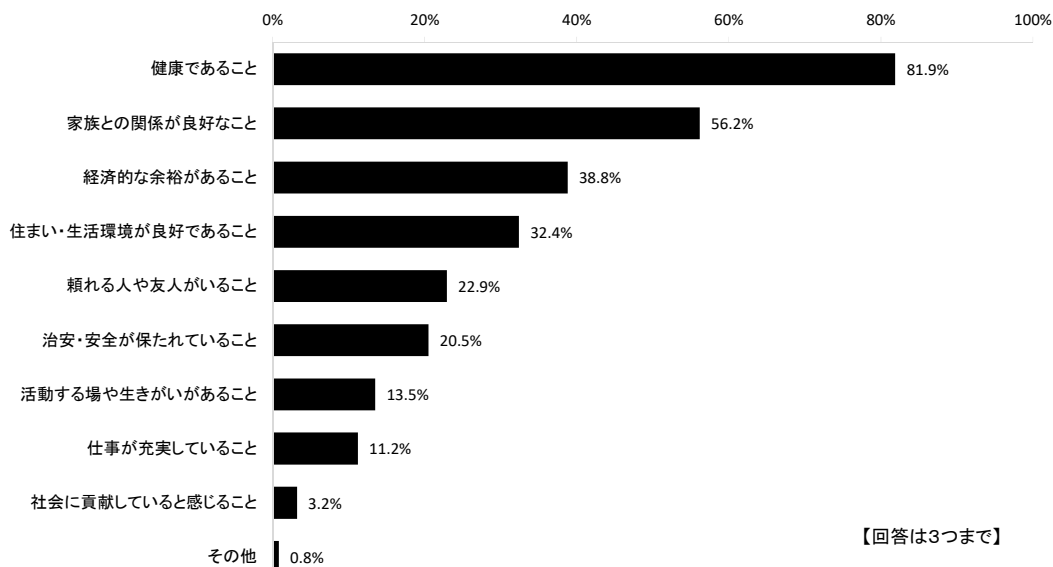
(2) 幸福感を感じる上で重要な点

幸福感を感じる上で重要な点を見ると、「健康であること」(81.9%)が最も多く、次いで「家族との関係が良好なこと」(56.2%)、「経済的な余裕があること」(38.8%)、「住まい・生活環境が良好であること」(32.4%)となっている。

性別で見ると、男女とも全体結果とほぼ同様の回答傾向を示しているが、「頼れる人や友人がいること」は女性が男性より14.1ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、比較的に若年層で「治安・安全が保たれていること」と答える人の割合が少なく、高年層においては多い。

■ 幸福感を感じる上で重要な点 (全体)



■ 幸福感を感じる上で重要な点 (性別、年齢別)

	合計	健康であること	家族との関係が良好なこと	経済的な余裕があること	住まい・生活環境が良好であること	頼れる人や友人がいること	治安・安全が保たれていること	仕事が充実していること	活動する場や生きがいがあること	社会に貢献していると感じる	その他	無回答	
		割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	
全体	11,474	9,395	6,449	4,450	3,719	2,624	2,352	1,283	1,549	371	95	111	
	100.0%	81.9%	56.2%	38.8%	32.4%	22.9%	20.5%	11.2%	13.5%	3.2%	0.8%	1.0%	
性別	男性	4,747	3,870	2,520	1,867	1,798	689	1,065	578	639	203	53	26
		100.0%	81.5%	53.1%	39.3%	37.9%	14.5%	22.4%	12.2%	13.5%	4.3%	1.1%	0.5%
	女性	6,417	5,277	3,749	2,491	1,836	1,836	1,224	689	868	158	32	72
		100.0%	82.2%	58.4%	38.8%	28.6%	28.6%	19.1%	10.7%	13.5%	2.5%	0.5%	1.1%
	無回答	310	249	180	92	85	98	63	16	41	10	10	14
		100.0%	80.3%	58.1%	29.8%	27.4%	31.7%	20.4%	5.1%	13.3%	3.2%	3.2%	4.5%
年齢別	20歳未満	148	109	98	54	34	52	10	26	30	-	-	-
		100.0%	74.1%	66.5%	36.6%	23.3%	35.3%	6.7%	17.4%	20.1%	-	-	-
	20歳代	761	533	419	306	161	293	137	106	137	22	-	10
		100.0%	70.0%	55.1%	40.2%	21.1%	38.4%	17.9%	14.0%	18.0%	2.9%	-	1.3%
	30歳代	1,045	791	571	447	291	216	164	219	187	-	10	14
		100.0%	75.7%	54.6%	42.8%	27.9%	20.6%	15.7%	21.0%	17.9%	-	0.9%	1.3%
	40歳代	1,484	1,215	777	660	419	345	291	318	162	18	24	10
		100.0%	81.8%	52.3%	44.5%	28.2%	23.2%	19.6%	21.4%	10.9%	1.2%	1.6%	0.7%
	50歳代	1,493	1,282	845	594	419	321	360	227	232	45	-	-
		100.0%	85.9%	56.6%	39.8%	28.1%	21.5%	24.1%	15.2%	15.5%	3.0%	-	-
	60歳代	2,480	2,159	1,478	1,085	800	439	505	184	325	82	8	-
		100.0%	87.0%	59.6%	43.8%	32.3%	17.7%	20.4%	7.4%	13.1%	3.3%	0.3%	-
70歳以上	4,023	3,283	2,231	1,290	1,590	959	879	203	476	204	52	68	
	100.0%	81.6%	55.5%	32.1%	39.5%	23.8%	21.9%	5.0%	11.8%	5.1%	1.3%	1.7%	
	無回答	40	24	30	14	4	-	7	-	-	-	10	
	100.0%	60.8%	75.3%	34.3%	9.7%	-	16.8%	-	-	-	-	24.7%	

5. 生活の中の「意識」について

生活の中の「意識」を22の項目についてたずねた。

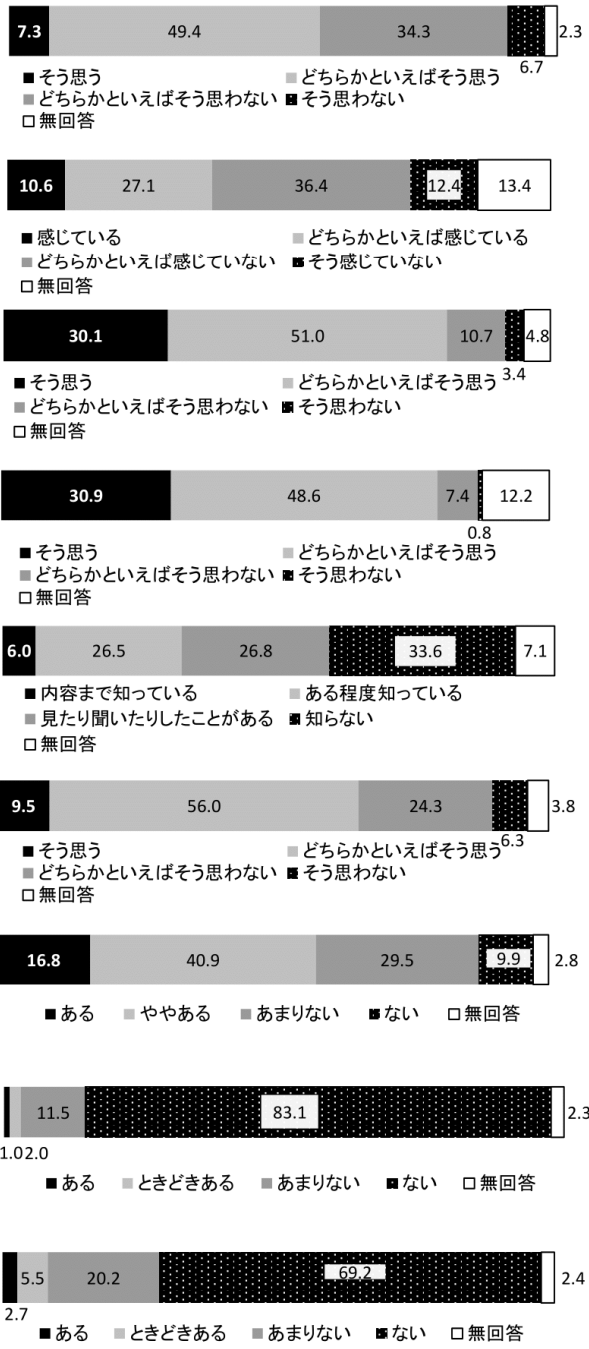
(1) 佐賀市全体

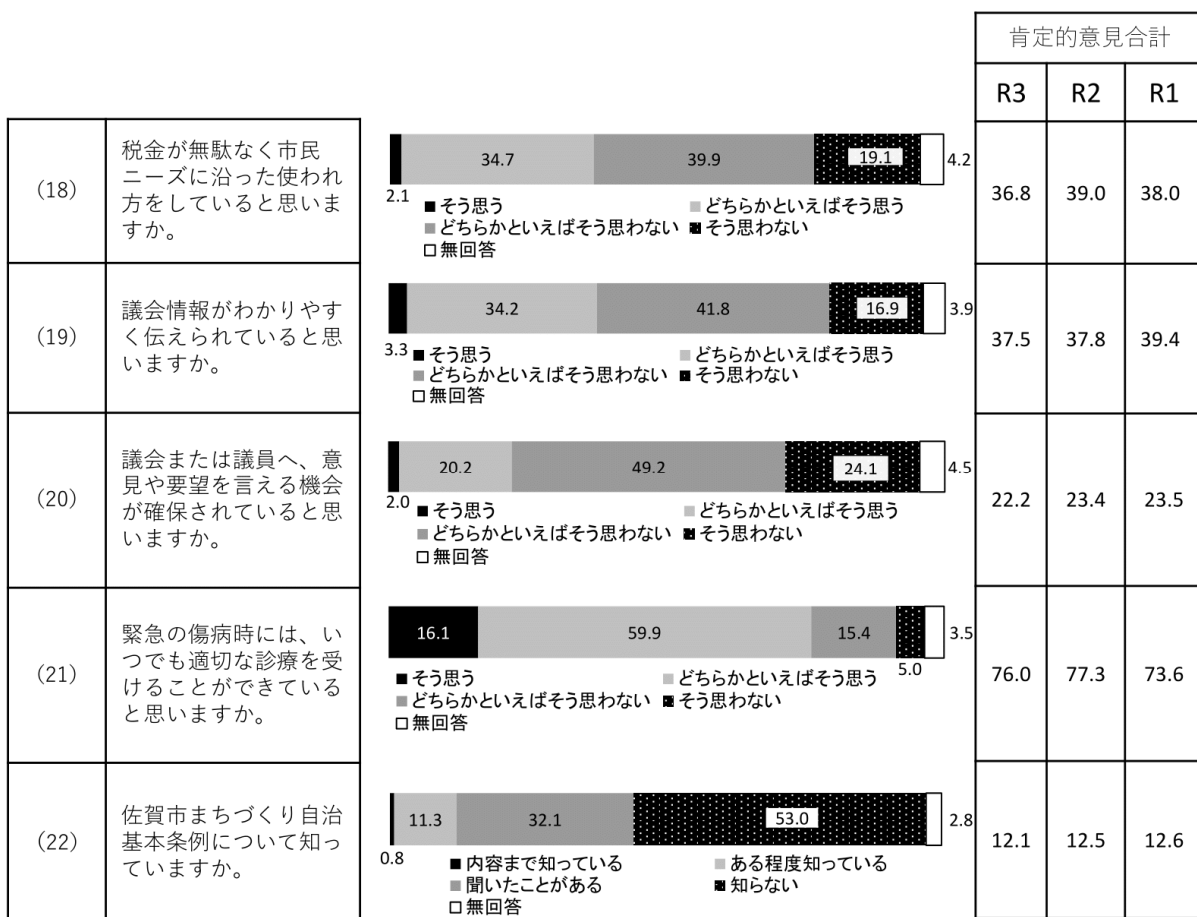
22項目の中で、「(1)近所の避難場所・避難所を把握してしますか」、「(3)お住まいの地域は、犯罪がなく安全だと思いますか」、「(6)住居は、安全、快適で住みやすいと思いますか」、「(11)（世帯に幼稚園児・保育園児のいる方）世帯の中の園児は、幼稚園・保育園が楽しいと感じていると思いますか」、の4項目については「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を、「(16)この1年以内に市内で、人種、性別、障がいの有無、出身地等により、人権侵害を受けたことがありますか」、「(17)この1年以内に、「男だから、女だから」という理由により、自分の思いどおりにならなかったことがありますか」の2項目については「ない」、「あまりない」を合計した肯定的意見の割合が8割を超えている。

■生活の中の「意識」（佐賀市全体）



		肯定的意見合計		
		R3	R2	R1
(9)	市街地にみどりが増えて、景観が良くなったと思いますか。			
		56.7	56.3	57.2
(10)	(中学生以下の子どもがいる世帯) 子育てに大きな不安や負担を感じますか。			
		48.8	42.9	47.0
(11)	(幼稚園児・保育園児のいる世帯) 世帯の中の園児は、幼稚園・保育園が楽しいと感じていると思いますか。			
		81.1	85.7	89.7
(12)	(小・中学生のいる世帯) 世帯の中の児童・生徒は、学校が楽しいと感じていると思いますか。			
		79.5	81.7	87.6
(13)	「子どもへのまなざし運動(市民総参加子ども育成運動)」を知っていますか。			
		32.5	32.2	36.1
(14)	必要な市政情報が入手できていると思いますか。			
		65.5	64.1	66.7
(15)	人権や同和問題に関心がありますか。(女性、子ども高齢者、障がいのある人、外国人やLGBTsなどへの偏見や差別、インターネットによる人権侵害など)			
		57.7	56.8	55.7
(16)	この1年以内に市内で、人種、性別、障がいの有無、出身地等により、人権侵害を受けたことがありますか。			
		94.6	95.1	94.0
(17)	この1年以内に、「男だから、女だから」という理由により、自分の思いどおりにならなかったことがありますか。			
		89.4	89.0	88.7





(注) 設問 (16)、(17) については、肯定的意見として「あまりない」・「ない」の割合を集計している。
 (注) 設問 (10) については、肯定的意見として「どちらかといえば感じていない」・「そう感じていない」の割合を集計している。

(2) 地区別

地区別にみると、旧三瀬村における「(9)市街地にみどりが増えて、景観が良くなったと思いますか」、「(20)議会または議員へ、意見や要望を言える機会が確保されていると思いますか」では、他地区に比べ肯定的回答の割合が高い。

また、2項目の肯定的回答の割合の差が最も大きいものは「(11)（幼稚園児・保育園児のいる世帯）幼稚園・保育園が楽しいと感じていると思いますか」であり、「旧大和町」の100.0%に対して「旧久保田町」は50.0%であり、50.0ポイントの差がみられる。

■生活の中の「意識」（肯定的意見の合計）

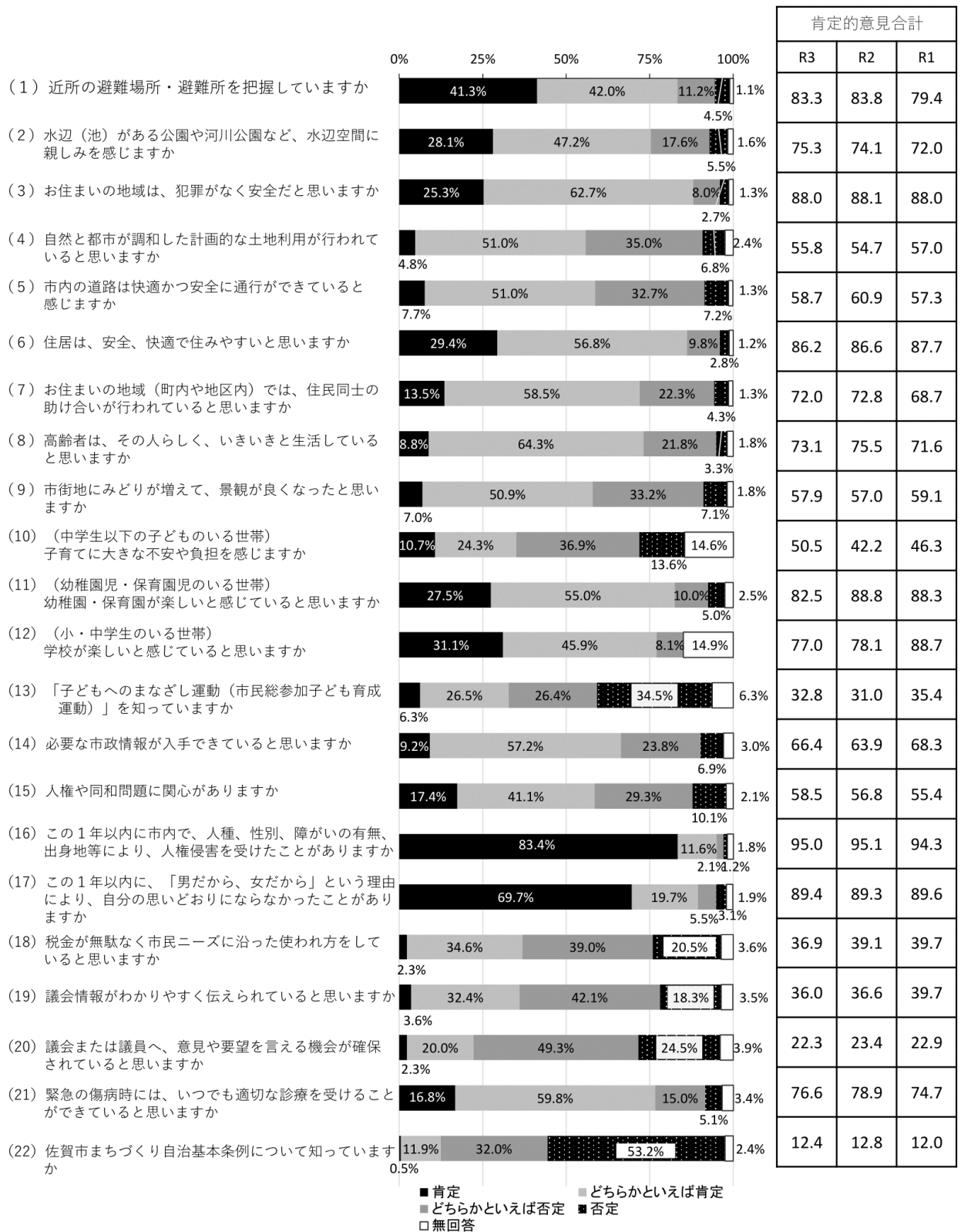
施策目標	肯定的意見合計(%)								
	佐賀市全体	地区別							
		旧佐賀市	旧諸富町	旧大和町	旧富士町	旧三瀬村	旧川副町	旧東与賀町	旧久保田町
(1) 近所の避難場所・避難所を把握していますか	83.5	83.3	77.3	87.2	85.4	85.9	83.6	79.6	88.0
(2) 水辺(池)がある公園や河川公園など、水辺空間に親しみを感ずいますか	72.1	75.3	59.8	74.0	65.3	66.7	43.5	70.4	72.6
(3) お住まいの地域は、犯罪がなく安全だと思いますか	88.4	88.0	91.7	91.9	88.0	87.7	82.8	90.8	90.5
(4) 自然と都市が調和した計画的な土地利用が行われていると思いますか	54.8	55.8	49.5	63.0	41.3	50.9	33.6	62.2	51.2
(5) 市内の道路は快適かつ安全に通行ができていると感じますか	59.9	58.7	66.0	63.6	61.3	61.4	57.4	65.3	64.2
(6) 住居は、安全、快適で住みやすいと思いますか	86.5	86.2	83.5	92.4	72.0	85.9	84.4	84.7	90.4
(7) お住まいの地域(町内や地区内)では、住民同士の助け合いが行われていると思いますか	73.6	72.0	73.2	74.6	77.3	87.7	82.0	79.5	80.9
(8) 高齢者は、その人らしく、いきいきと生活していると思いますか	73.6	73.1	71.1	78.6	69.4	87.7	72.2	72.4	78.5
(9) 市街地にみどりが増えて、景観が良くなったと思いますか	56.7	57.9	48.4	57.8	57.3	68.4	47.5	54.1	56.0
(10) (中学生以下の子どものいる世帯) 子育てに大きな不安や負担を感じますか	48.8	50.5	36.4	52.4	30.8	47.0	44.5	43.8	40.0
(11) (幼稚園児・保育園児のいる世帯) 幼稚園・保育園が楽しいと感じていると思いますか	81.1	82.5	75.0	100.0	75.0	60.0	55.5	88.9	50.0
(12) (小・中学生のいる世帯) 学校が楽しいと感じていると思いますか	79.5	77.0	62.5	100.0	83.3	92.9	66.7	100.0	100.0
(13) 「子どもへのまなざし運動(市民総参加子ども育成運動)」を知っていますか	32.5	32.8	33.0	25.5	42.6	50.9	24.6	38.8	52.4
(14) 必要な市政情報が入手できていると思いますか	65.5	66.4	51.5	68.8	54.6	64.9	54.1	74.4	72.7
(15) 人権や同和問題に関心がありますか	57.7	58.5	50.5	62.4	44.0	52.6	51.7	54.1	58.3
(16) この1年以内に市内で、人種、性別、障がいの有無、出身地等により、人権侵害を受けたことがありますか	94.6	95.0	92.8	95.9	98.7	94.7	91.8	93.9	91.7
(17) この1年以内に、「男だから、女だから」という理由により、自分の思いどおりにならなかったことがありますか	89.4	89.4	85.6	94.2	89.4	78.9	87.7	88.7	83.3
(18) 税金が無駄なく市民ニーズに沿った使われ方をしていると思いますか	36.8	36.9	34.0	41.1	28.0	42.1	31.1	33.7	41.7
(19) 議会情報がわかりやすく伝えられていると思いますか	37.5	36.0	42.3	42.7	34.7	57.9	26.2	56.1	47.7
(20) 議会または議員へ、意見や要望を言える機会が確保されていると思いますか	22.2	22.3	20.7	24.3	20.0	36.9	14.7	24.5	27.4
(21) 緊急の傷病時には、いつでも適切な診療を受けることができますか	76.0	76.6	69.1	82.1	66.7	82.4	63.1	76.5	80.9
(22) 佐賀市まちづくり自治基本条例について知っていますか	12.1	12.4	8.2	8.7	13.4	28.1	6.6	14.2	27.4

(注) 旧市町村間で最も割合の高いものを太字で、最も低いものを斜字で示している。

(注) 設問(16)、(17)については、肯定的意見として「あまりない」・「ない」の割合を集計している。

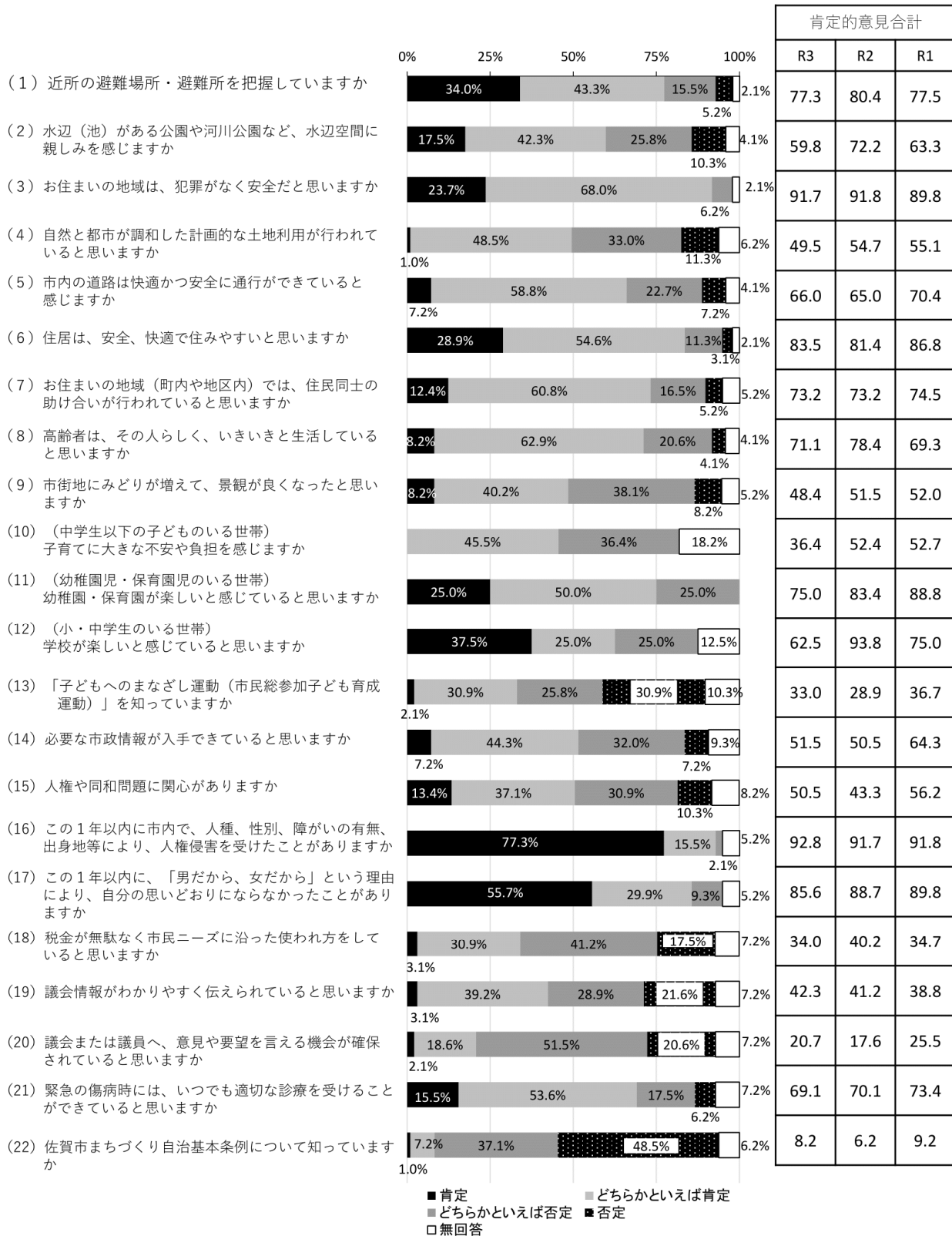
(注) 設問(10)については、肯定的意見として「どちらかといえば感じていない」・「そう感じていない」の割合を集計している。

■生活の中の「意識」(旧佐賀市)



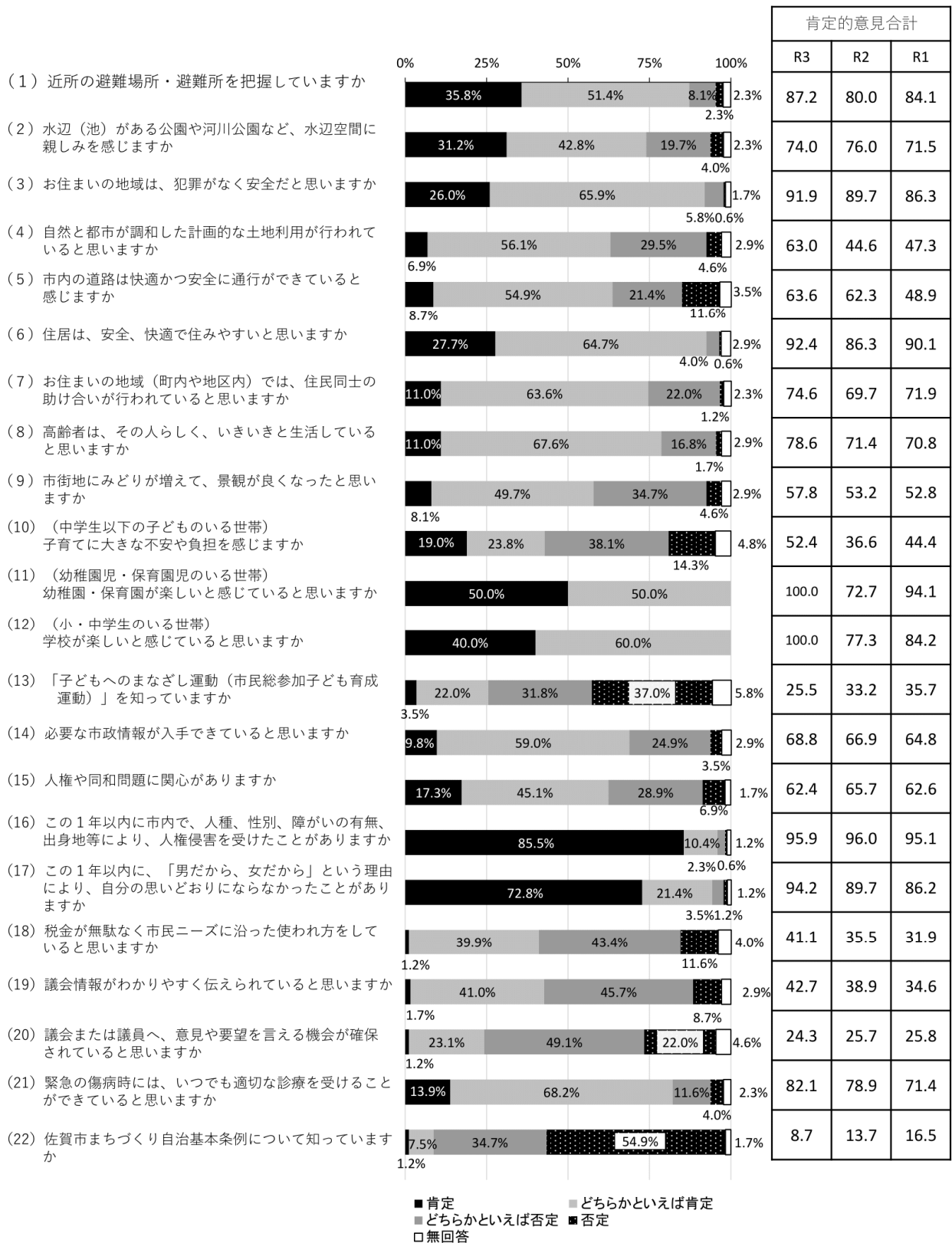
(注) 設問(16)、(17)については、肯定的意見として「あまりない」・「ない」の割合を集計している。
 (注) 設問(10)については、肯定的意見として「どちらかといえば感じていない」・「そう感じていない」の割合を集計している。

■生活の中の「意識」(旧諸富町)



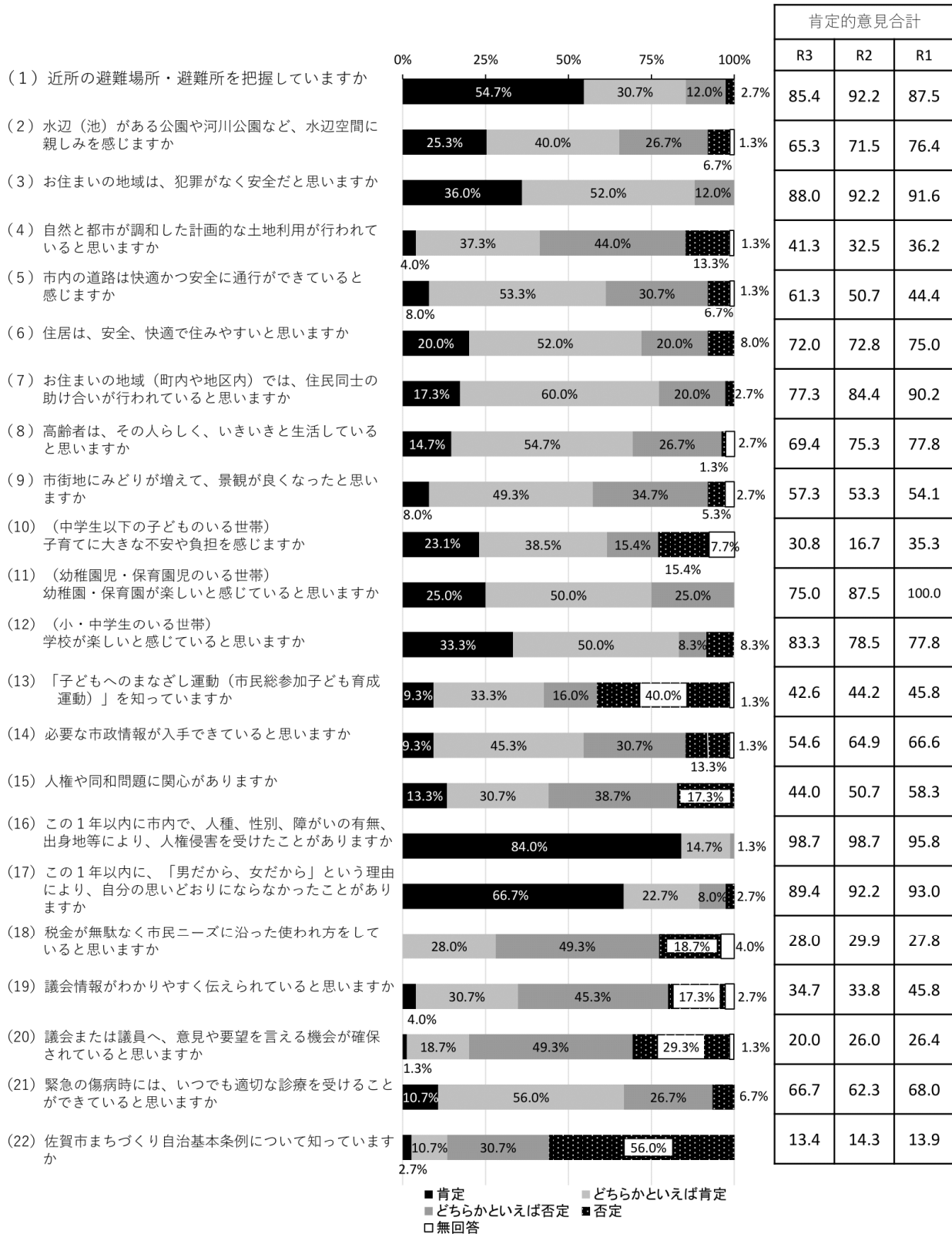
(注) 設問(16)、(17)については、肯定的意見として「あまりない」・「ない」の割合を集計している。
 (注) 設問(10)については、肯定的意見として「どちらかといえば感じていない」・「そう感じていない」の割合を集計している。

■生活の中の「意識」(旧大和町)



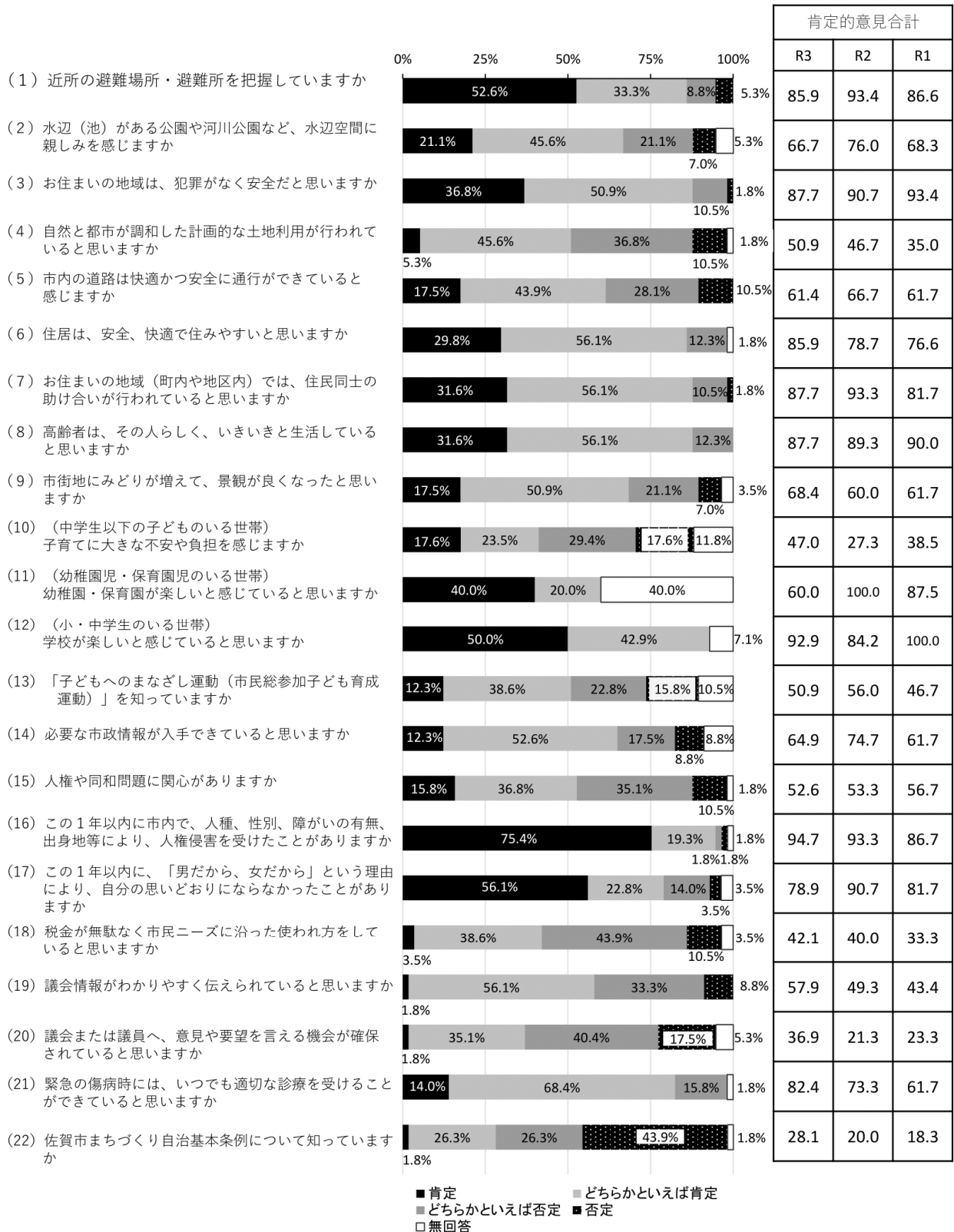
(注) 設問(16)、(17)については、肯定的意見として「あまりない」・「ない」の割合を集計している。
 (注) 設問(10)については、肯定的意見として「どちらかといえば感じていない」・「そう感じていない」の割合を集計している。

■生活の中の「意識」(旧富士町)



(注) 設問(16)、(17)については、肯定的意見として「あまりない」・「ない」の割合を集計している。
 (注) 設問(10)については、肯定的意見として「どちらかといえば感じていない」・「そう感じていない」の割合を集計している。

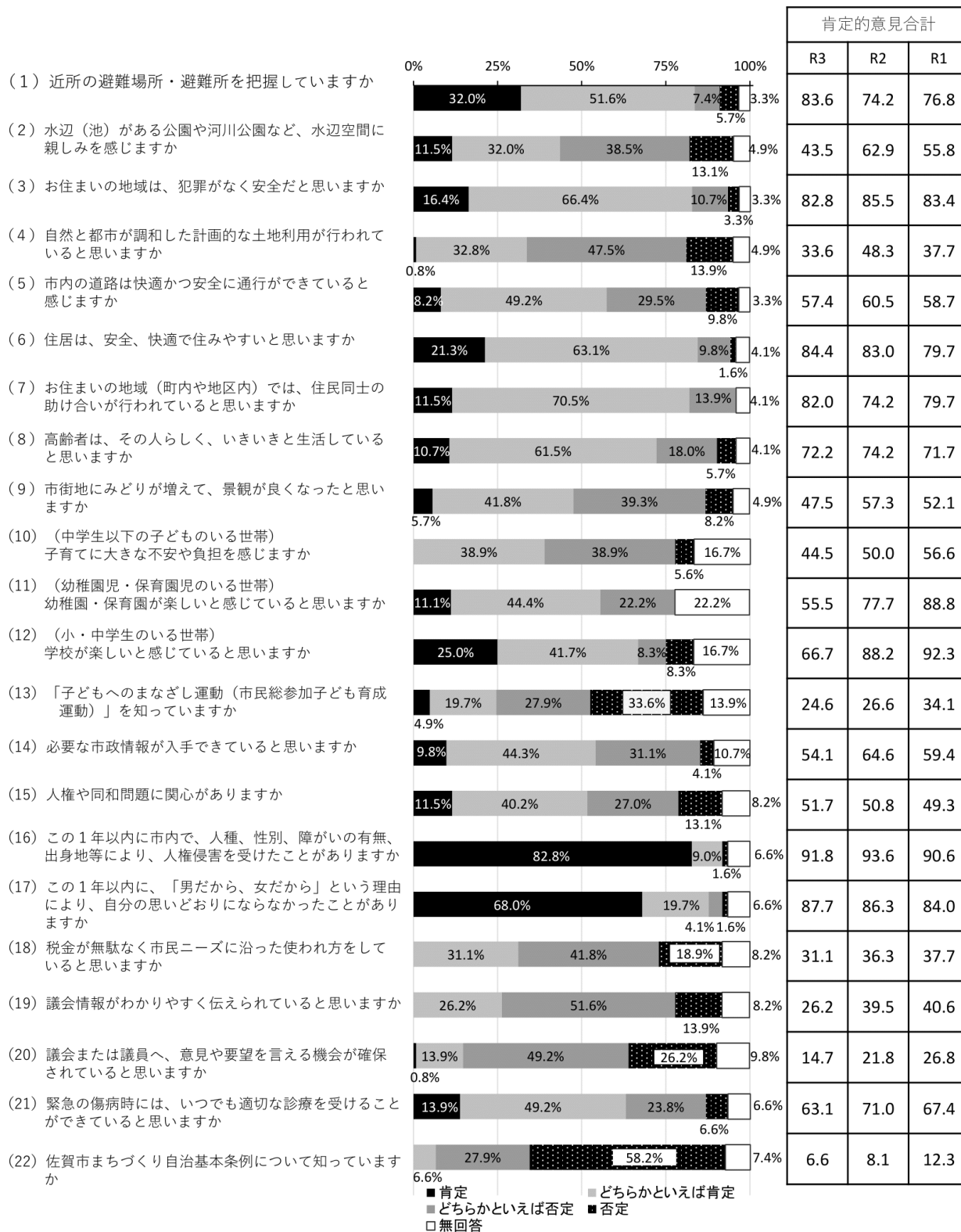
■生活の中の「意識」(旧三瀬村)



(注) 設問(16)、(17)については、肯定的意見として「あまりない」・「ない」の割合を集計している。

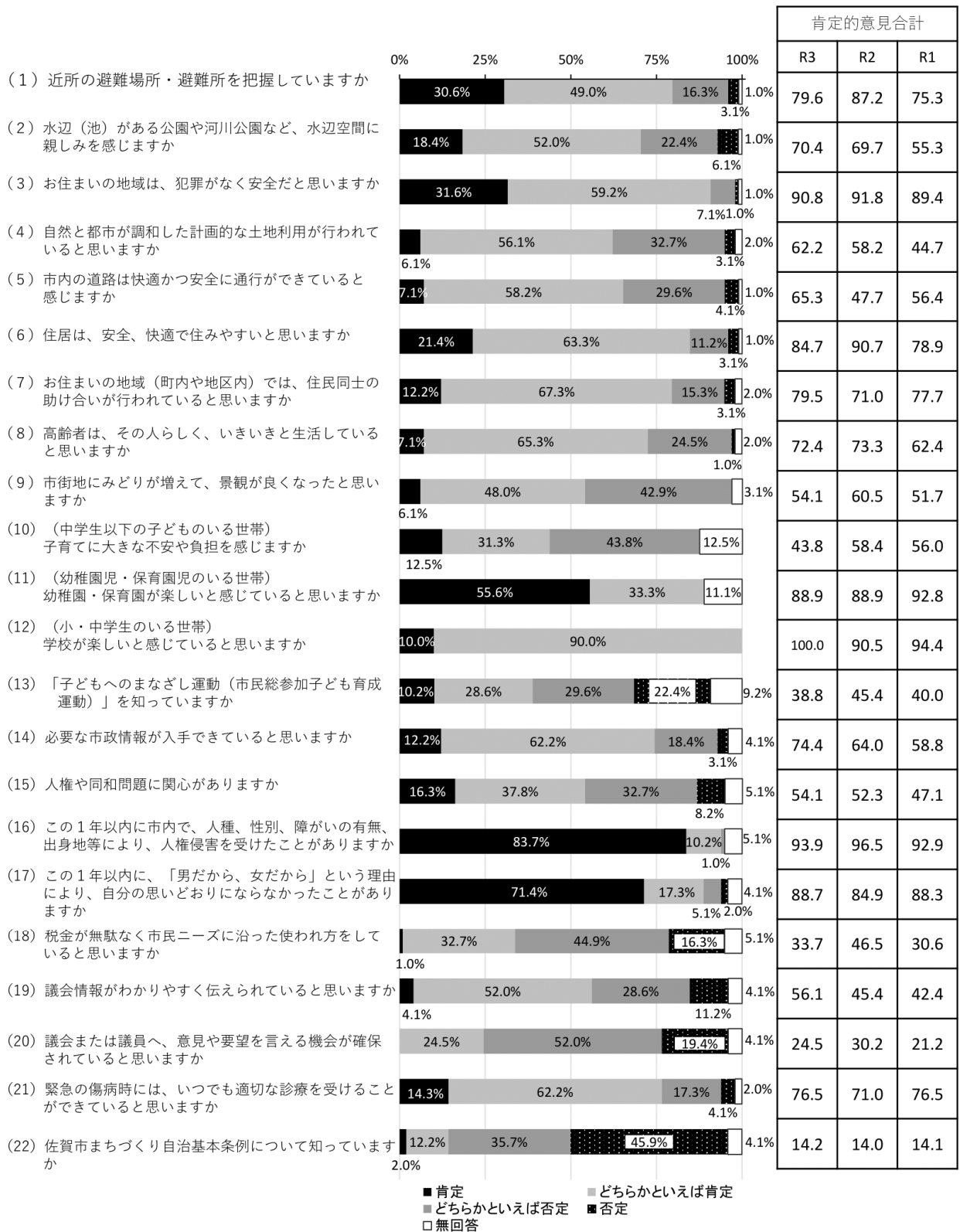
(注) 設問(10)については、肯定的意見として「どちらかといえば感じていない」・「そう感じていない」の割合を集計している。

■生活の中の「意識」(旧川副町)



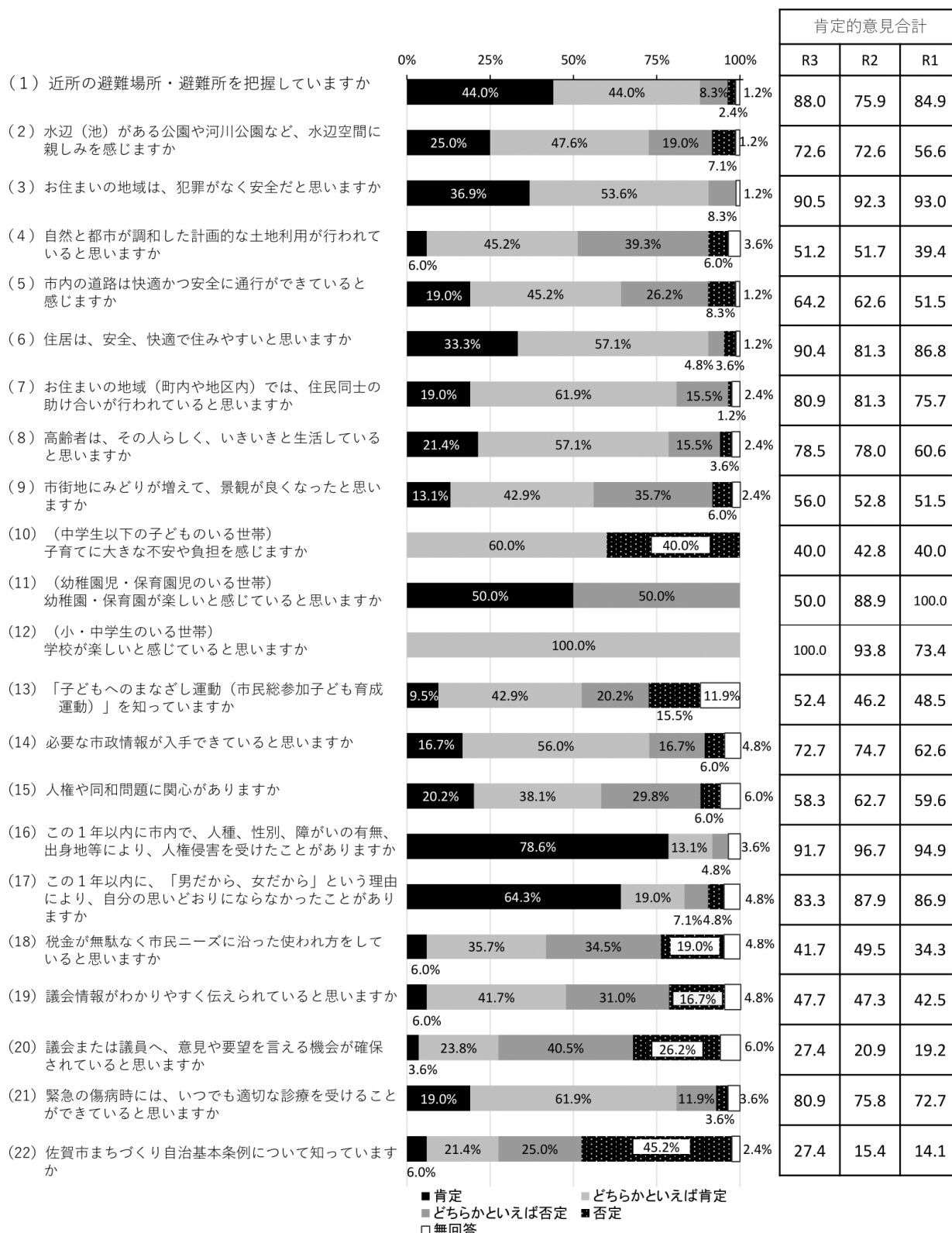
(注) 設問(16)、(17)については、肯定的意見として「あまりない」・「ない」の割合を集計している。
 (注) 設問(10)については、肯定的意見として「どちらかといえば感じていない」・「そう感じていない」の割合を集計している。

■生活の中の「意識」(旧東与賀町)



(注) 設問(16)、(17)については、肯定的意見として「あまりない」・「ない」の割合を集計している。
 (注) 設問(10)については、肯定的意見として「どちらかといえば感じていない」・「そう感じていない」の割合を集計している。

■生活の中の「意識」(旧久保田町)



(注) 設問(16)、(17)については、肯定的意見として「あまりない」・「ない」の割合を集計している。
 (注) 設問(10)については、肯定的意見として「どちらかといえば感じていない」・「そう感じていない」の割合を集計している。

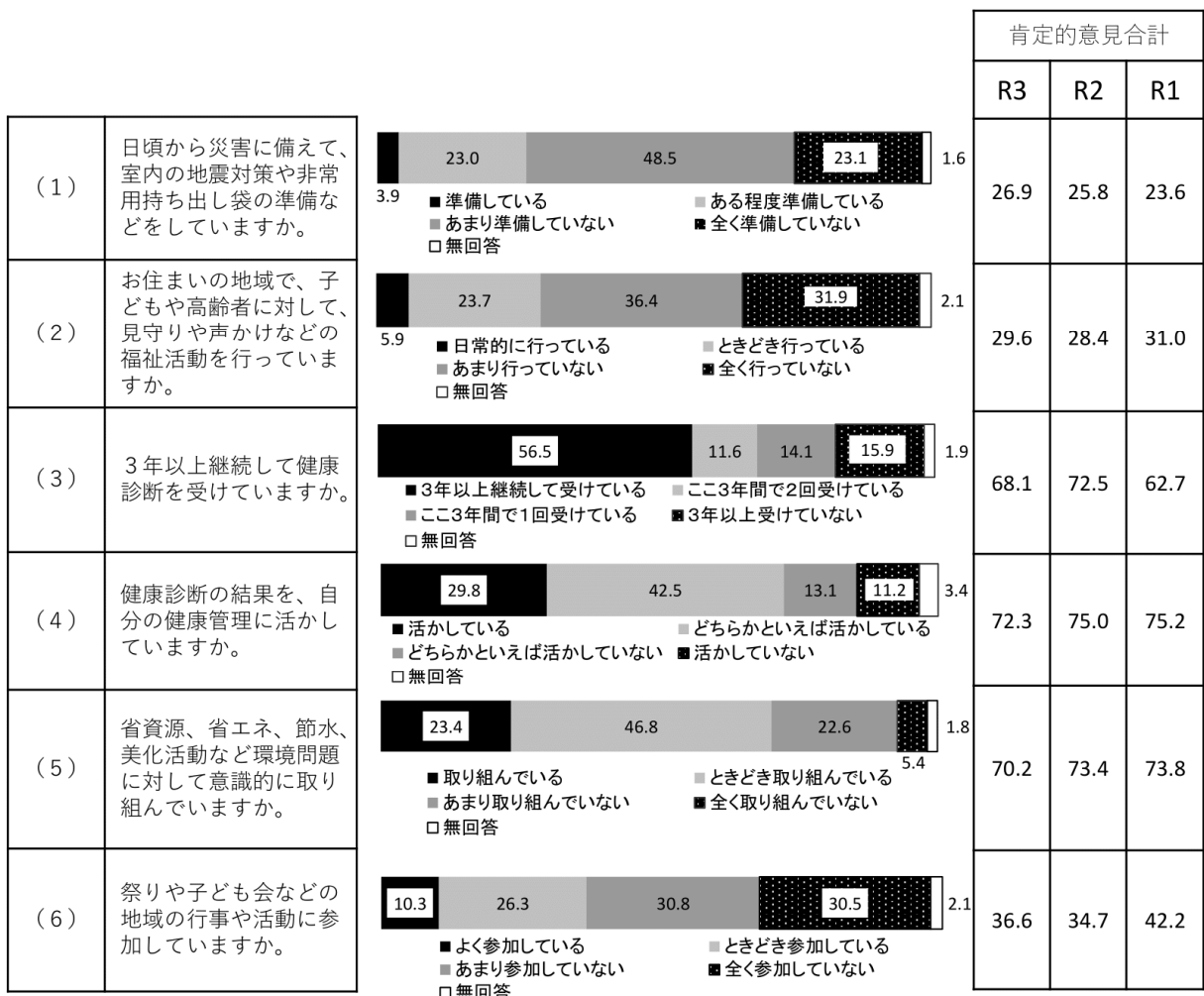
6. 日頃の生活における「取り組み」について

「意識」に続いて、日頃の生活における「取り組み」についてたずねた。

(1) 佐賀市全体

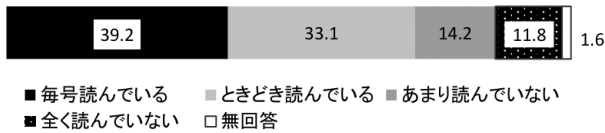
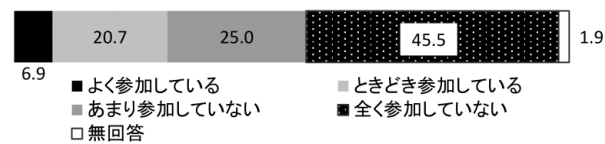
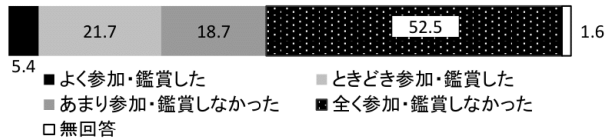
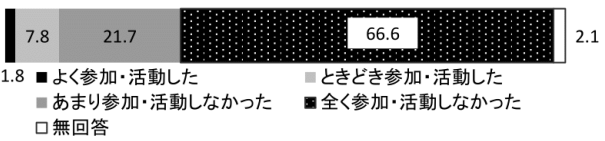
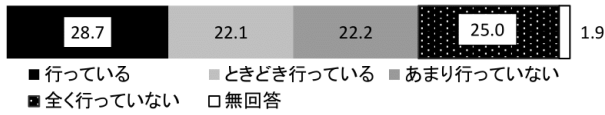
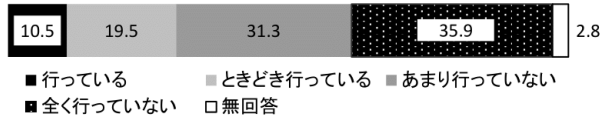
12項目の中で、「(4)健康診断の結果を、自分の健康管理に活かしていますか」、「(5)省資源、省エネ、節水、美化活動など環境問題に対して意識的に取り組んでいますか」、「(12)月2回(1日・15日)発行している「市報さが」を読んでいますか」の3項目については、取組割合が7割を超えている。

一方、「(1)日頃から災害に備えて、室内の地震対策や非常用持ち出し袋の準備などを行っていますか」、「(2)お住まいの地域で、子どもや高齢者に対して、見守りや声かけなどの福祉活動を行っていますか」、「(10)過去1年の間に、市内で、文化活動(美術、音楽、映画、演劇、茶道、華道など)に参加したり、鑑賞したりしましたか」、「(11)市民活動(まちづくりや地域の活動)などに参加していますか」の4項目については、取組割合が2割台にとどまっており、「(9)過去1年の間に、歴史関連のイベント等に参加したり、活動したりしましたか」については、1割未満となっている。



■日頃の生活における「取り組み」(佐賀市全体)

		肯定的意見合計		
		R3	R2	R1
(7)	仕事や学校以外で、何らかの知識や技術を身に付けるための取り組みを行っていますか。			
		30.0	30.0	27.9
(8)	日常的に(週1回以上)、運動・スポーツを行っていますか(ウォーキング等も含みます)。			
		50.8	54.8	50.6
(9)	過去1年の間に、歴史関連のイベント等に参加したり、活動したりしましたか。			
		9.6	14.9	24.6
(10)	過去1年の間に、市内で、文化活動(美術、音楽、映画、演劇、茶道、華道など)に参加したり、鑑賞したりしましたか。			
		27.1	35.7	41.5
(11)	市民活動(まちづくりや地域の活動)などに参加していますか。			
		27.6	24.3	33.1
(12)	月2回(1日・15日)発行している「市報さが」を読んでいますか。			
		72.3	72.9	75.0



(2) 地区別

地区別でみると、旧三瀬村における「(2) お住まいの地域で、子どもや高齢者に対して、見守りや声かけなどの福祉活動を行っていますか」、「(11) 市民活動（まちづくりや地域の活動）などに参加していますか」では他地区に比べ取組割合が高い。

また、12項目の取組割合の差が最も大きいものは「(2) お住まいの地域で、子どもや高齢者に対して、見守りや声かけなどの福祉活動を行っていますか」であり、「旧三瀬村」の57.9%に対して「旧大和町」は16.8%であり、41.1ポイントの差がみられる。

■日頃の生活における「取り組み」（肯定的意見の合計）

施策目標	肯定的意見合計(%)								
	佐賀市全体	地区別							
		旧佐賀市	旧諸富町	旧大和町	旧富士町	旧三瀬村	旧川副町	旧東与賀町	旧久保田町
(1) 日頃から災害に備えて、室内の地震対策や非常用持ち出し袋の準備などを行っていますか	26.9	28.3	24.8	21.4	32.0	29.8	20.5	23.5	28.6
(2) お住まいの地域で、子どもや高齢者に対して、見守りや声かけなどの福祉活動を行っていますか	29.6	31.2	25.8	16.8	36.0	57.9	27.1	30.6	34.6
(3) 3年以上継続して健康診断を受けていますか	68.1	66.9	65.0	82.0	76.0	82.5	53.3	76.6	67.9
(4) 健康診断の結果を、自分の健康管理に活かしていますか	72.3	71.5	68.0	83.8	70.7	82.5	63.9	71.4	75.0
(5) 省資源、省エネ、節水、美化活動など環境問題に対して意識的に取り組んでいますか	70.2	70.2	67.0	72.3	72.0	80.7	64.8	71.4	75.0
(6) 祭りや子ども会などの地域の行事や活動に参加していますか	36.6	37.0	45.3	26.6	54.7	59.7	34.5	38.8	39.3
(7) 仕事や学校以外で、何らかの知識や技術を身に付けるための取り組みを行っていますか	30.0	31.6	20.7	30.1	24.0	47.4	17.2	27.6	32.1
(8) 日常的に(週1回以上)、運動・スポーツを行っていますか(ウォーキング等も含みます)	50.8	51.4	55.7	56.1	46.7	42.1	39.3	44.9	48.8
(9) 過去1年の間に、歴史関連のイベント等に参加したり、活動したりしましたか	9.6	10.0	10.3	6.3	10.6	12.3	9.9	10.2	8.4
(10) 過去1年の間に、市内で、文化活動(美術、音楽、映画、演劇、茶道、華道など)に参加したり、鑑賞したりしましたか。	27.1	28.8	24.7	22.6	20.0	28.1	25.4	18.3	22.7
(11) 市民活動(まちづくりや地域の活動)などに参加していますか	27.6	27.3	32.0	21.4	36.0	56.2	29.5	34.7	29.8
(12) 月2回(1日・15日)発行している「市報さが」を読んでいますか	72.3	72.5	69.1	78.1	66.6	71.9	64.7	70.4	75.0

(注) 旧市町村間で最も割合の高いものを太字で、最も低いものを斜字で示している。

■日頃の生活における「取り組み」(旧佐賀市)



■日頃の生活における「取り組み」（旧諸富町）



■日頃の生活における「取り組み」(旧大和町)



■日頃の生活における「取り組み」(旧富士町)



■日頃の生活における「取り組み」(旧三瀬村)



■日頃の生活における「取り組み」(旧川副町)



■日頃の生活における「取り組み」(旧東与賀町)



■日頃の生活における「取り組み」（旧久保田町）



7. 施策の重要度と取組に対する満足度

総合計画で策定した36の施策項目ごとに定められたこれからの“まちづくり”の基本的な目標について、「施策の重要度」と「現状の満足度」をそれぞれ評価してもらった。

また、「現状の満足度」を向上させるために、36の施策ごとに選択肢を設け、「どのような取組が必要か」をたずねた。

なお、本報告書ではこれらの分析を行うにあたり、36の施策目標を以下の項目名で表記している。

■アンケートで質問した施策項目と施策目標

施策名	施策の成果目標
◆地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
【1】魅力ある観光の振興	歴史や自然、文化などの観光資源が効果的に整備され、魅力的な観光地として国内外から多くの観光客が訪れている。
【2】活力ある商工業の振興	商業・工業の売上げが確保され、健全な経営がなされている。
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	中心市街地は、魅力的に整備され、多くの歩行者で賑わっている。
【4】総合的な農業の振興	農業者の所得が確保され、安定した経営がなされている。また、農業振興地域において、整備された優良農地が保全されている。
【5】森林保全と林業の振興	林業の経営が安定的に継続されており、あわせて森林が適切に保全されている。
【6】特色ある水産業の振興	水産業者の所得が確保され、安定した経営がなされている。
◆災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	災害に対応するための消防防災体制が充実しており、市民の防災意識が高く、災害に対する備えができています。
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	河川等が適切に整備・管理され、多くの市民が水辺に親しみをもち、環境が整っている。
【9】地域で守る生活者の安全確保	市民は、日常生活において事故・事件に巻き込まれることなく、安心して生活を送っている。
【10】計画的な土地利用の推進	自然と都市が調和した計画的な土地利用が行われている。
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	市民は、公共交通機関を快適に利用でき、主要な場所へスムーズに移動することができる。
【12】道路ネットワークの充実	地域の拠点間や市内の道路を快適で安全に通行できる。
【13】安全で快適な住宅環境の充実	市民は、安全、快適で住みやすい居住空間を確保できている。
◆住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	市民は、自主的かつ継続的に地域の支え合い活動に参加し、地域の助け合いにより安心して暮らしている。
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	高齢者は、介護状態にならないように予防に努めながら、生きがいを持つことや社会参加することなどによって、住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしている。
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	障がい者は、必要な支援や社会参加の機会などが確保され、障がいのある無しに関わらず、互いに尊重しあい、地域社会においていきいきと生活している。
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	市民一人ひとりが、健康づくりと疾病予防に取り組み、健診等により病気の早期発見・早期治療につなげるとともに、安心して医療が受けられることにより、地域でいきいきと健康に暮らしている。
【18】自立を支える生活福祉の充実	市民は、失業や病気などで生活に困窮した場合であっても、最低限度の生活が保障されており、就労支援等によって自立した生活を送ることができるようになっている。

施策名	施策の成果目標
◆恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	市民や事業者、市民活動団体は、環境・エネルギー問題を意識し、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。
【20】持続可能な循環型社会の構築	市民や事業者は、リデュースや廃棄物の適切な分別等に取り組み、廃棄物の発生を抑制している。
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	市民一人ひとりが、生活環境の向上に取り組み、快適な生活を営んでいる。
【22】都市のみどりと美しい景観の創出	地域の自然、歴史、文化と人々の営みが調和し、快適なみどり空間と調和して美しい景観が形成されている。
◆ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
【23】安心して子育てできる環境の充実	子育て世代が、大きな不安や負担を感じることなく子育てに誇りと喜びを感じ、これから子どもを産み育てたいと思っている人が、出産や育児に不安を感じていない。
【24】就学前からの教育の充実	子どもたちは、楽しく学校に通い、意欲的に学んでいる。
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	全ての大人が子どもの育成に関心を持ち、かつ主体的に関わることで、子どもたちは、自らが社会の一員であると認識し、責任を自覚している。
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	市民は、身近なところで必要な知識や技術を学ぶことができ、学んだことを社会生活に活かしたり、生きがいを持って暮らしている。
【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている。
【28】未来につなげる文化の振興	市民が子どもの頃から文化芸術や地域の歴史遺産に親しむ環境が整っており、市民自ら文化芸術活動や歴史遺産の保存・継承活動に取り組んでいる。
◆互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
【29】参加と協働によるまちづくり	市民は、まちづくりの主体として積極的に市民活動を展開し、参加と協働によるまちづくりが行われている。
【30】情報共有の推進	効率的な情報発信と市民ニーズの積極的な把握によって、市政に市民の意向が適切に反映されている。
【31】人権尊重の確立	市民は、お互いの人権を侵害することなく、お互いの人権を尊重している。
【32】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	男性も女性も、お互いにその人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別に関わりなくその個性と能力を発揮できる社会となっている。
◆効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	限られた資源の適切な活用と効率的な行政経営の実践により、質の高い行政サービスを提供している。
【34】財政の健全性の確保	市の財政は、計画的、効果的に運営されている。
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	職員一人ひとりの資質が高く、効率的な執行体制になっている。
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	議会及び議員がその役割を果たすために必要な環境が整っている。

(1) 施策の重要度

①佐賀市全体

36施策のうち「重要である」の割合が最も高い施策は、「【7】総合的な防災・危機管理対策の充実」(66.5%)となっている。また、「重要である」と「ある程度重要である」を合わせた『重要度』の割合が高い施策は、「【8】安全で美しい河川環境の適切な管理」(91.6%)、「【9】地域で守る生活者の安全確保」(91.2%)、「【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携」(89.8%)が上位3施策となっている。

一方、「重要である」と「ある程度重要である」を合わせた『重要度』の割合が最も低い施策は、「【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実」(73.2%)、「【36】適正かつ効率的な議会活動への支援」(75.1%)、「【29】参加と協働によるまちづくり」(75.5%)が下位3施策となっている。

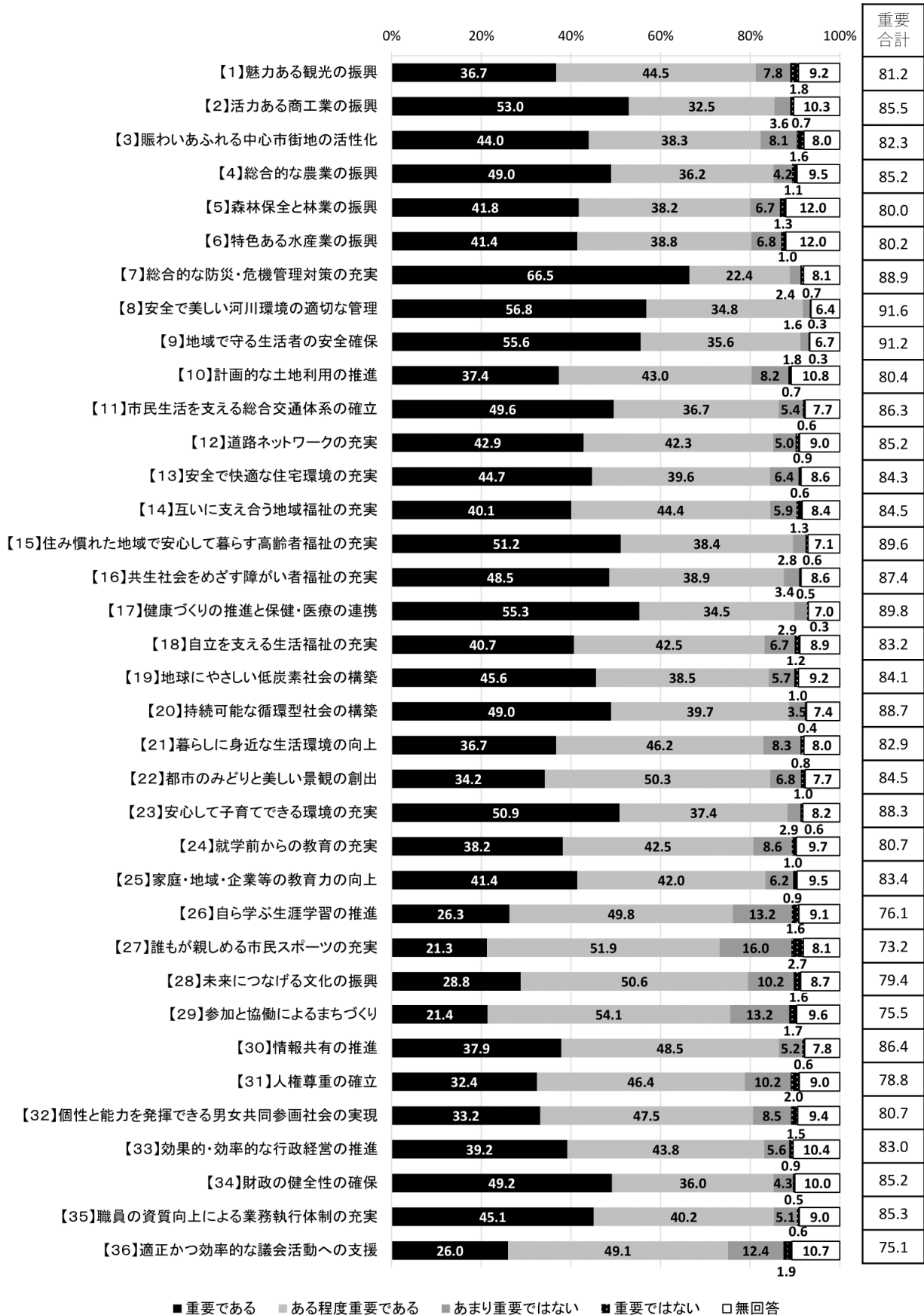
■施策の重要度（佐賀市全体）

(%)

施策目標	重要である	ある程度重要である	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	重要合計
【1】魅力ある観光の振興	36.7	44.5	7.8	1.8	9.2	81.2
【2】活力ある商工業の振興	53.0	32.5	3.6	0.7	10.3	85.5
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	44.0	38.3	8.1	1.6	8.0	82.3
【4】総合的な農業の振興	49.0	36.2	4.2	1.1	9.5	85.2
【5】森林保全と林業の振興	41.8	38.2	6.7	1.3	12.0	80.0
【6】特色ある水産業の振興	41.4	38.8	6.8	1.0	12.0	80.2
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	66.5	22.4	2.4	0.7	8.1	88.9
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	56.8	34.8	1.6	0.3	6.4	91.6
【9】地域で守る生活者の安全確保	55.6	35.6	1.8	0.3	6.7	91.2
【10】計画的な土地利用の推進	37.4	43.0	8.2	0.7	10.8	80.4
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	49.6	36.7	5.4	0.6	7.7	86.3
【12】道路ネットワークの充実	42.9	42.3	5.0	0.9	9.0	85.2
【13】安全で快適な住宅環境の充実	44.7	39.6	6.4	0.6	8.6	84.3
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	40.1	44.4	5.9	1.3	8.4	84.5
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	51.2	38.4	2.8	0.6	7.1	89.6
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	48.5	38.9	3.4	0.5	8.6	87.4
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	55.3	34.5	2.9	0.3	7.0	89.8
【18】自立を支える生活福祉の充実	40.7	42.5	6.7	1.2	8.9	83.2
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	45.6	38.5	5.7	1.0	9.2	84.1
【20】持続可能な循環型社会の構築	49.0	39.7	3.5	0.4	7.4	88.7
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	36.7	46.2	8.3	0.8	8.0	82.9
【22】都市のみどりと美しい景観の創出	34.2	50.3	6.8	1.0	7.7	84.5
【23】安心して子育てできる環境の充実	50.9	37.4	2.9	0.6	8.2	88.3
【24】就学前からの教育の充実	38.2	42.5	8.6	1.0	9.7	80.7
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	41.4	42.0	6.2	0.9	9.5	83.4
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	26.3	49.8	13.2	1.6	9.1	76.1
【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実	21.3	51.9	16.0	2.7	8.1	73.2
【28】未来につなげる文化の振興	28.8	50.6	10.2	1.6	8.7	79.4
【29】参加と協働によるまちづくり	21.4	54.1	13.2	1.7	9.6	75.5
【30】情報共有の推進	37.9	48.5	5.2	0.6	7.8	86.4
【31】人権尊重の確立	32.4	46.4	10.2	2.0	9.0	78.8
【32】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	33.2	47.5	8.5	1.5	9.4	80.7
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	39.2	43.8	5.6	0.9	10.4	83.0
【34】財政の健全性の確保	49.2	36.0	4.3	0.5	10.0	85.2
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	45.1	40.2	5.1	0.6	9.0	85.3
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	26.0	49.1	12.4	1.9	10.7	75.1

(注) 各施策間で割合の高い上位3項目を太字で、低い項目を斜字で示している。

■ 施策の重要度（佐賀市全体）



②地区別

地区別でみると、旧大和町は36施策中18施策で『重要度』の割合が最も高い。

また、旧三瀬村における「【26】自ら学ぶ生涯学習の推進」は他地区に比べ『重要度』の割合が高い。

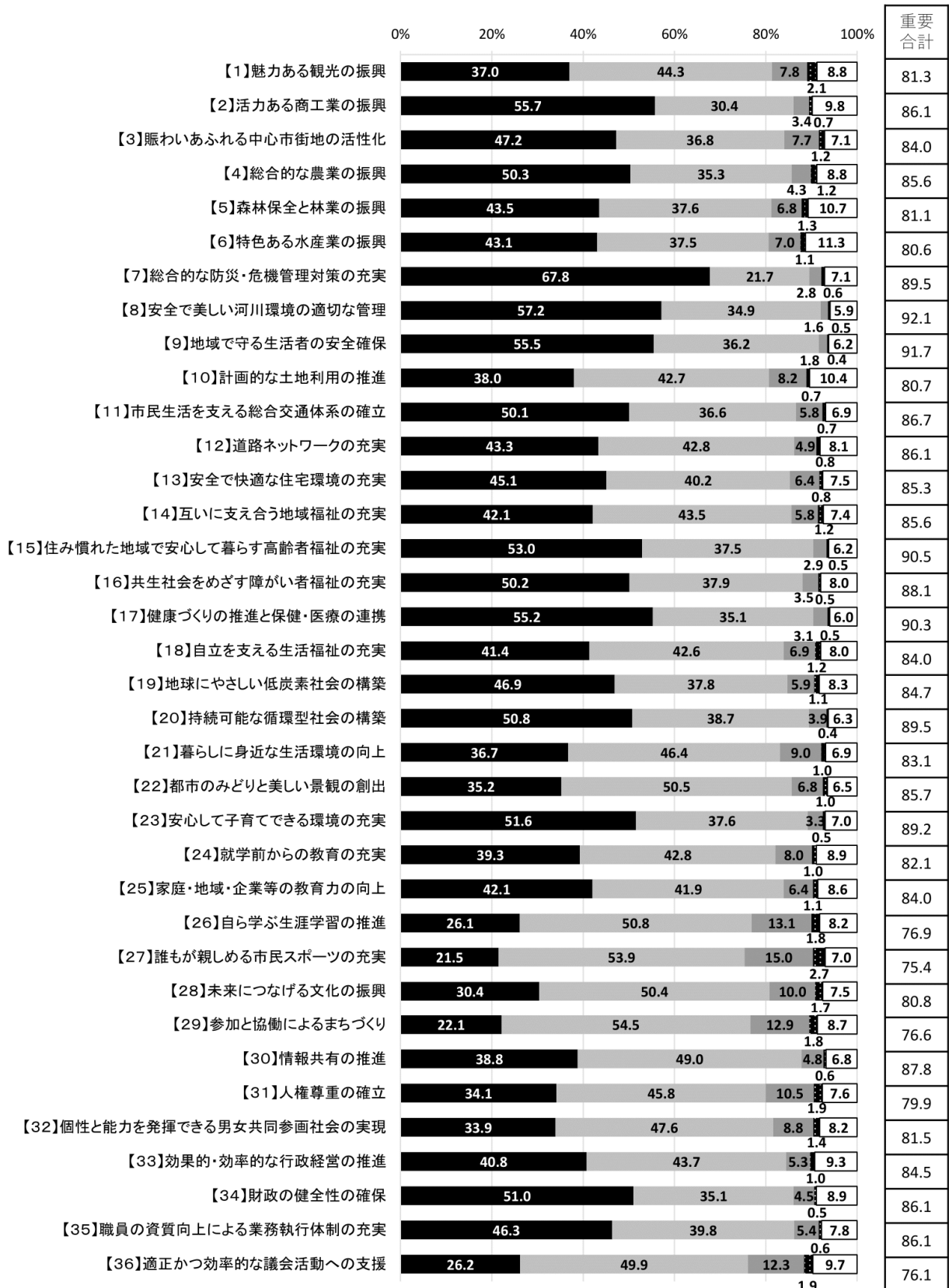
一方、旧富士町は36施策中14施策で『重要度』の割合が最も低くなっている。

■施策の重要度（重要度の合計）

施策目標	重要会計(%)								
	佐賀市全体	地区別							
		旧佐賀市	旧諸富町	旧大和町	旧富士町	旧三瀬村	旧川副町	旧東与賀町	旧久保田町
【1】魅力ある観光の振興	81.2	81.3	79.4	82.6	78.7	80.7	80.3	79.6	79.8
【2】活力ある商工業の振興	85.5	86.1	82.4	87.2	82.6	80.7	83.6	81.6	78.6
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	82.3	84.0	74.2	79.8	72.0	73.7	83.6	76.5	72.6
【4】総合的な農業の振興	85.2	85.6	78.3	87.9	82.6	85.9	82.8	82.6	83.3
【5】森林保全と林業の振興	80.0	81.1	74.3	84.4	78.7	84.2	66.4	77.6	76.2
【6】特色ある水産業の振興	80.2	80.6	79.4	80.4	72.0	77.2	78.7	81.6	77.4
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	88.9	89.5	83.5	90.8	86.7	86.0	85.3	88.8	84.6
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	91.6	92.1	84.5	93.6	88.0	87.7	90.2	91.9	89.2
【9】地域で守る生活者の安全確保	91.2	91.7	84.5	92.5	84.0	86.0	89.4	91.9	89.3
【10】計画的な土地利用の推進	80.4	80.7	82.4	82.6	78.7	75.4	72.9	82.7	76.2
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	86.3	86.7	81.4	89.6	86.7	86.0	82.8	85.7	82.1
【12】道路ネットワークの充実	85.2	86.1	72.2	87.3	81.4	82.4	80.3	88.8	79.8
【13】安全で快適な住宅環境の充実	84.3	85.3	78.4	88.4	76.0	79.0	75.4	85.7	76.2
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	84.5	85.6	76.3	84.9	85.3	79.0	77.0	85.7	79.7
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	89.6	90.5	83.5	89.6	88.0	87.7	86.9	89.8	79.8
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	87.4	88.1	83.6	88.5	85.4	84.2	84.4	86.7	84.6
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	89.8	90.3	85.6	92.5	82.7	87.7	84.4	92.8	85.8
【18】自立を支える生活福祉の充実	83.2	84.0	74.2	86.2	78.6	77.2	79.5	80.6	82.1
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	84.1	84.7	78.4	87.3	82.6	82.4	77.1	86.8	78.6
【20】持続可能な循環型社会の構築	88.7	89.5	79.4	91.9	85.4	86.0	83.6	88.8	83.3
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	82.9	83.1	77.4	89.0	76.0	85.9	79.5	81.7	76.2
【22】都市のみどりや美しい景観の創出	84.5	85.7	78.4	88.5	72.0	84.3	73.7	82.6	79.7
【23】安心して子育てできる環境の充実	88.3	89.2	80.5	89.0	85.3	89.5	82.0	86.7	86.9
【24】就学前からの教育の充実	80.7	82.1	73.2	82.1	77.3	84.2	69.6	76.6	80.9
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	83.4	84.0	77.4	87.3	78.7	87.7	77.8	82.7	79.8
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	76.1	76.9	71.2	76.9	74.7	84.2	68.8	79.6	72.6
【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実	73.2	75.4	69.1	70.5	62.6	77.2	62.3	68.4	67.8
【28】未来につなげる文化の振興	79.4	80.8	74.2	78.6	76.0	75.4	72.1	74.5	79.8
【29】参加と協働によるまちづくり	75.5	76.6	71.2	75.2	70.7	73.7	71.3	75.5	66.6
【30】情報共有の推進	86.4	87.8	79.3	83.8	78.6	80.7	78.7	88.8	85.7
【31】人権尊重の確立	78.8	79.9	75.2	77.5	70.7	79.0	72.1	80.6	76.1
【32】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	80.7	81.5	74.3	82.7	69.4	77.2	77.1	80.7	76.2
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	83.0	84.5	77.3	82.1	70.7	77.2	77.1	85.7	77.4
【34】財政の健全性の確保	85.2	86.1	80.4	86.7	76.0	79.0	78.6	85.7	83.4
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	85.3	86.1	76.3	87.9	76.0	78.9	78.7	87.8	84.6
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	75.1	76.1	68.1	75.7	62.6	73.7	70.5	76.6	71.4

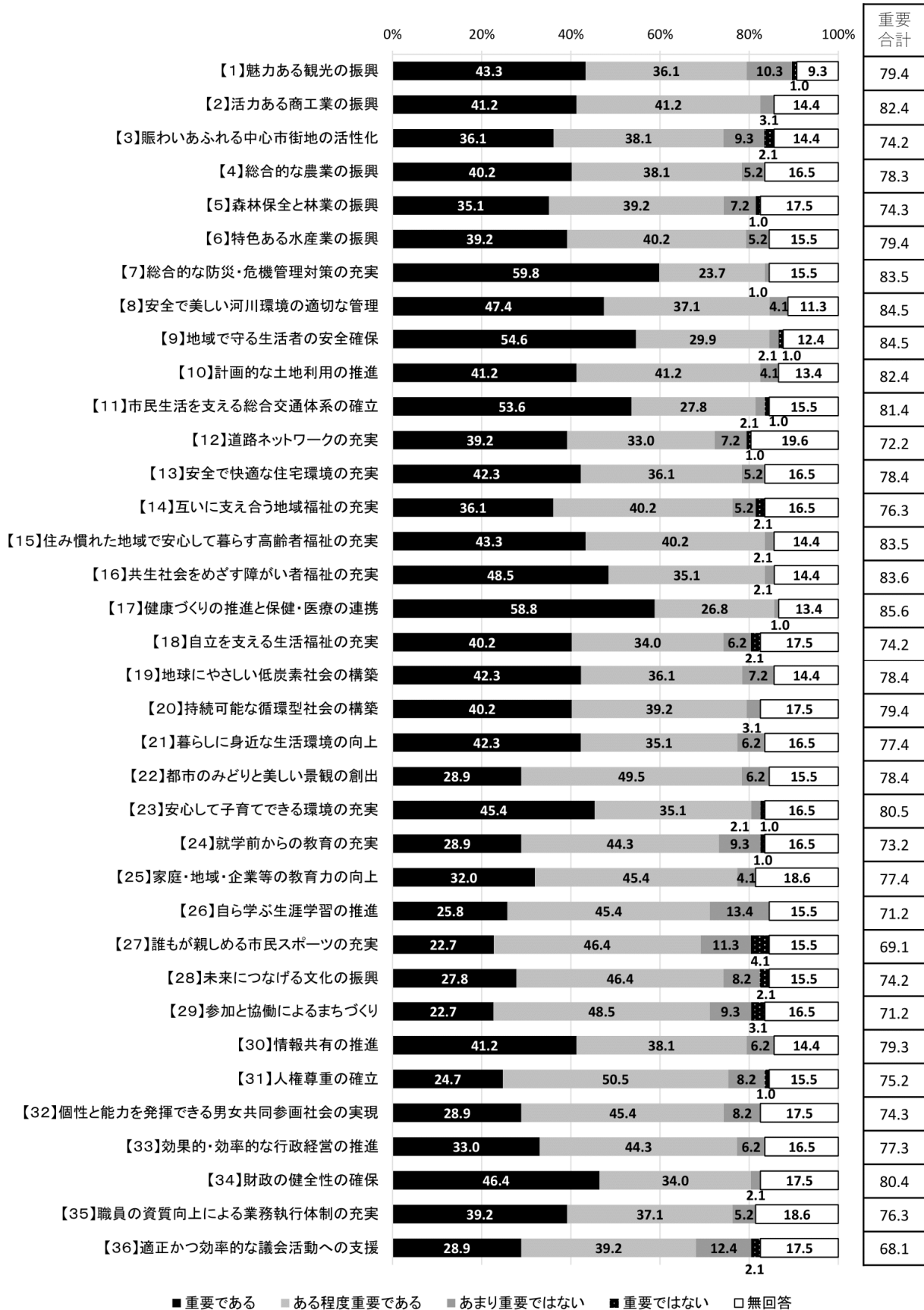
(注) 旧市町村間で最も割合の高いものを太字で、最も低いものを斜字で示している。

■ 施策の重要度 (旧佐賀市)

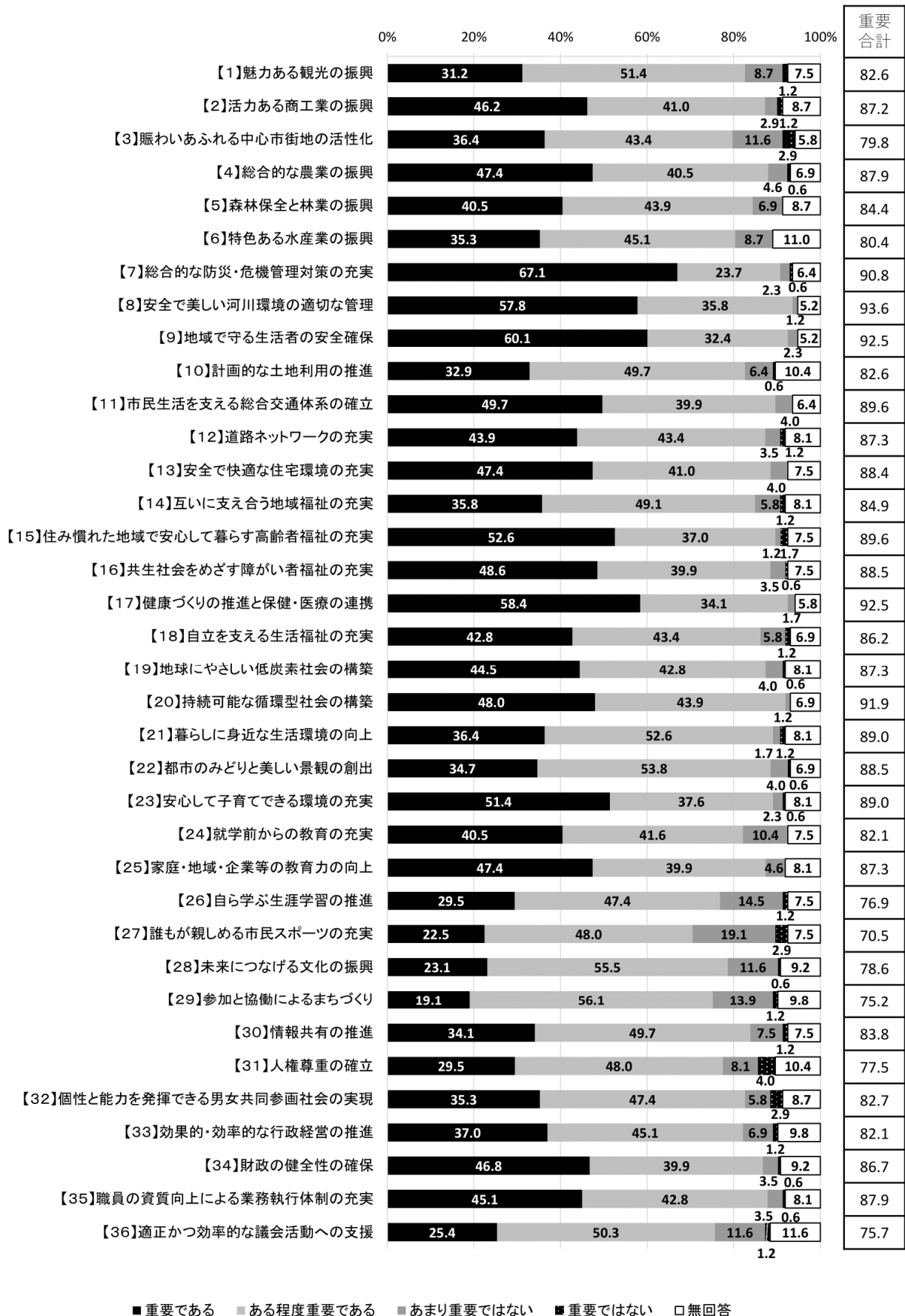


■重要である ■ある程度重要である ■あまり重要ではない ■重要ではない □無回答

■施策の重要度（旧諸富町）

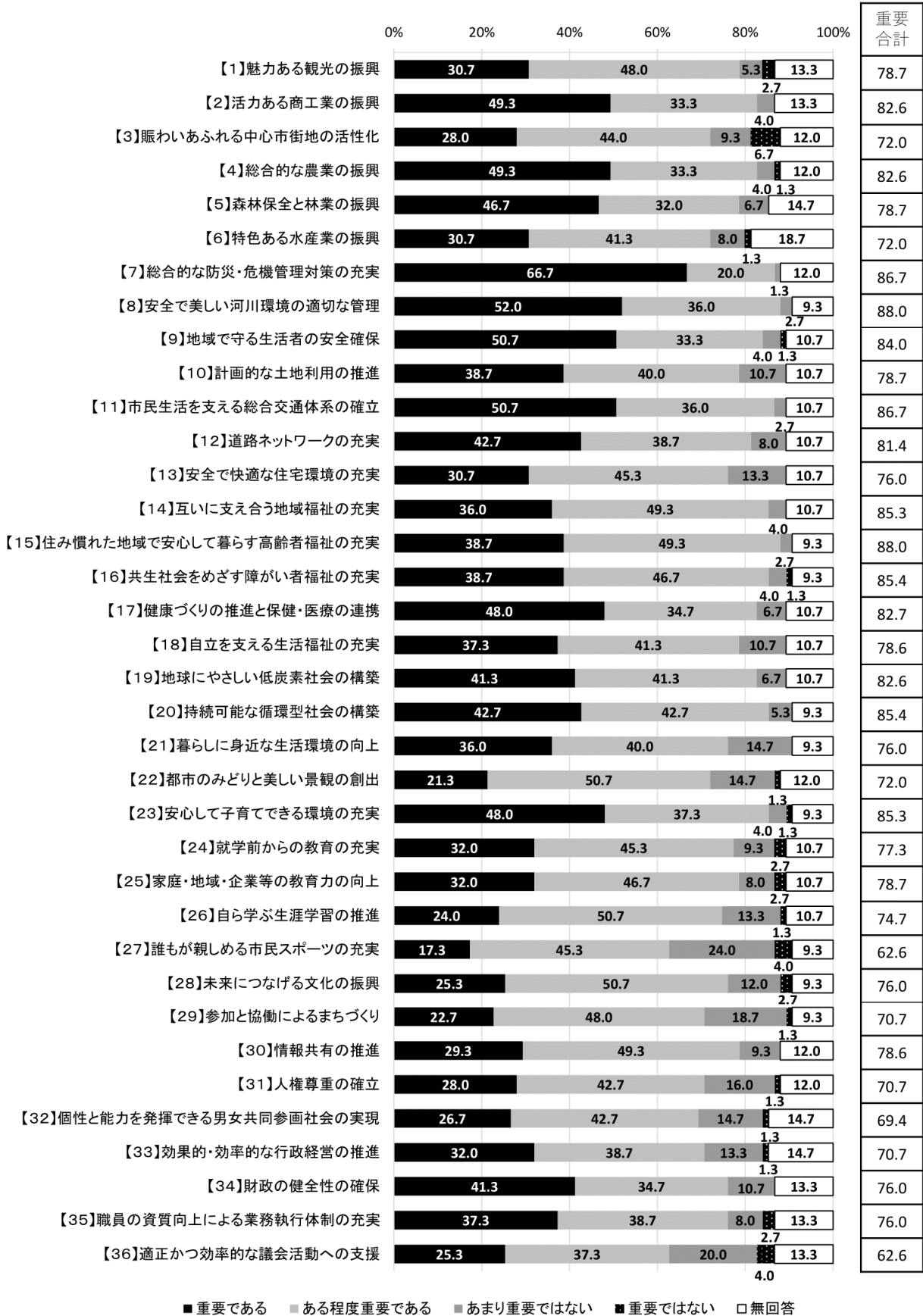


■ 施策の重要度 (旧大和町)

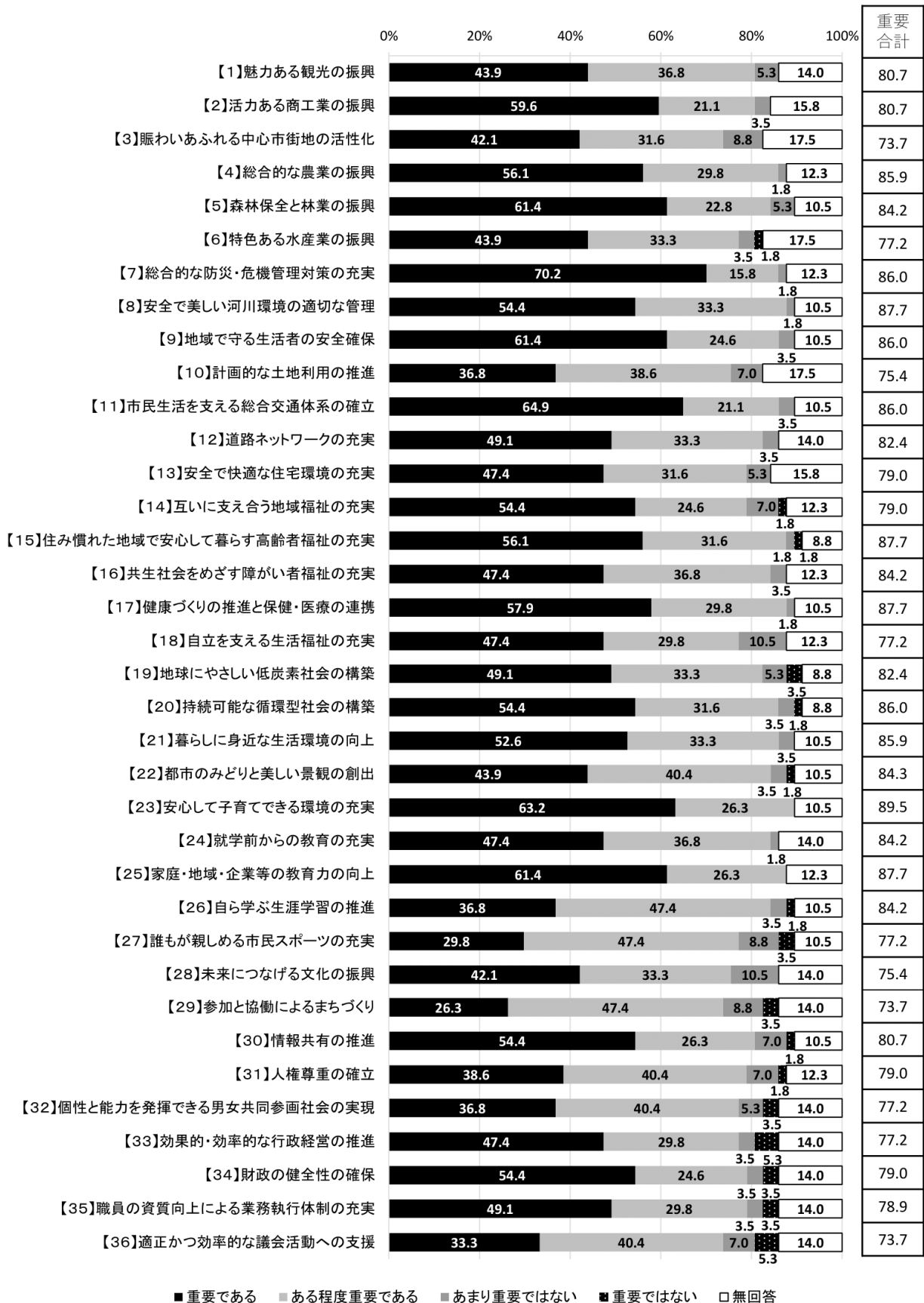


■ 重要である ■ ある程度重要である ■ あまり重要ではない ■ 重要ではない □ 無回答

■施策の重要度（旧富士町）

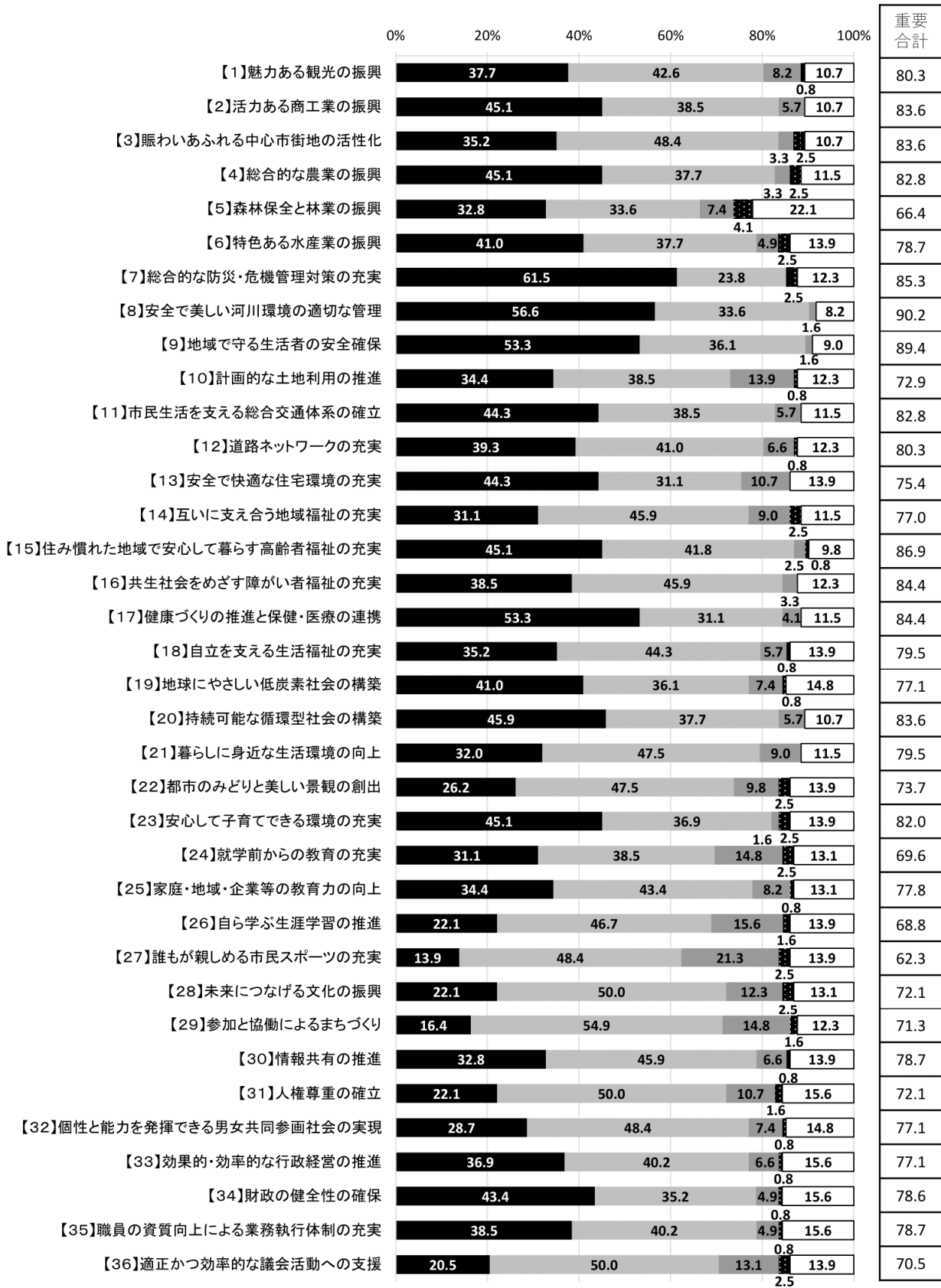


■ 施策の重要度 (旧三瀬村)



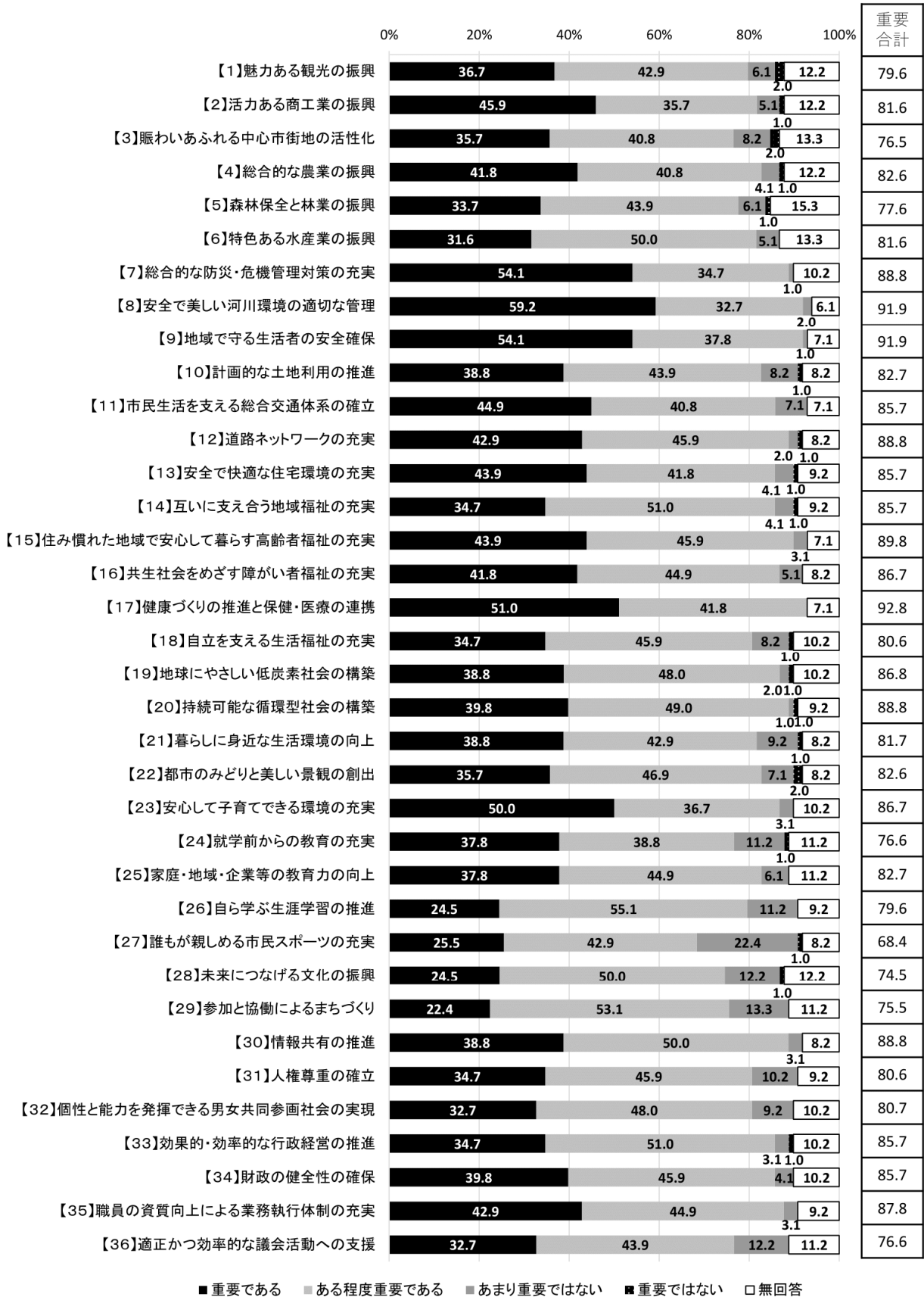
■重要である ■ある程度重要である ■あまり重要ではない ■重要ではない □無回答

■施策の重要度（旧川副町）



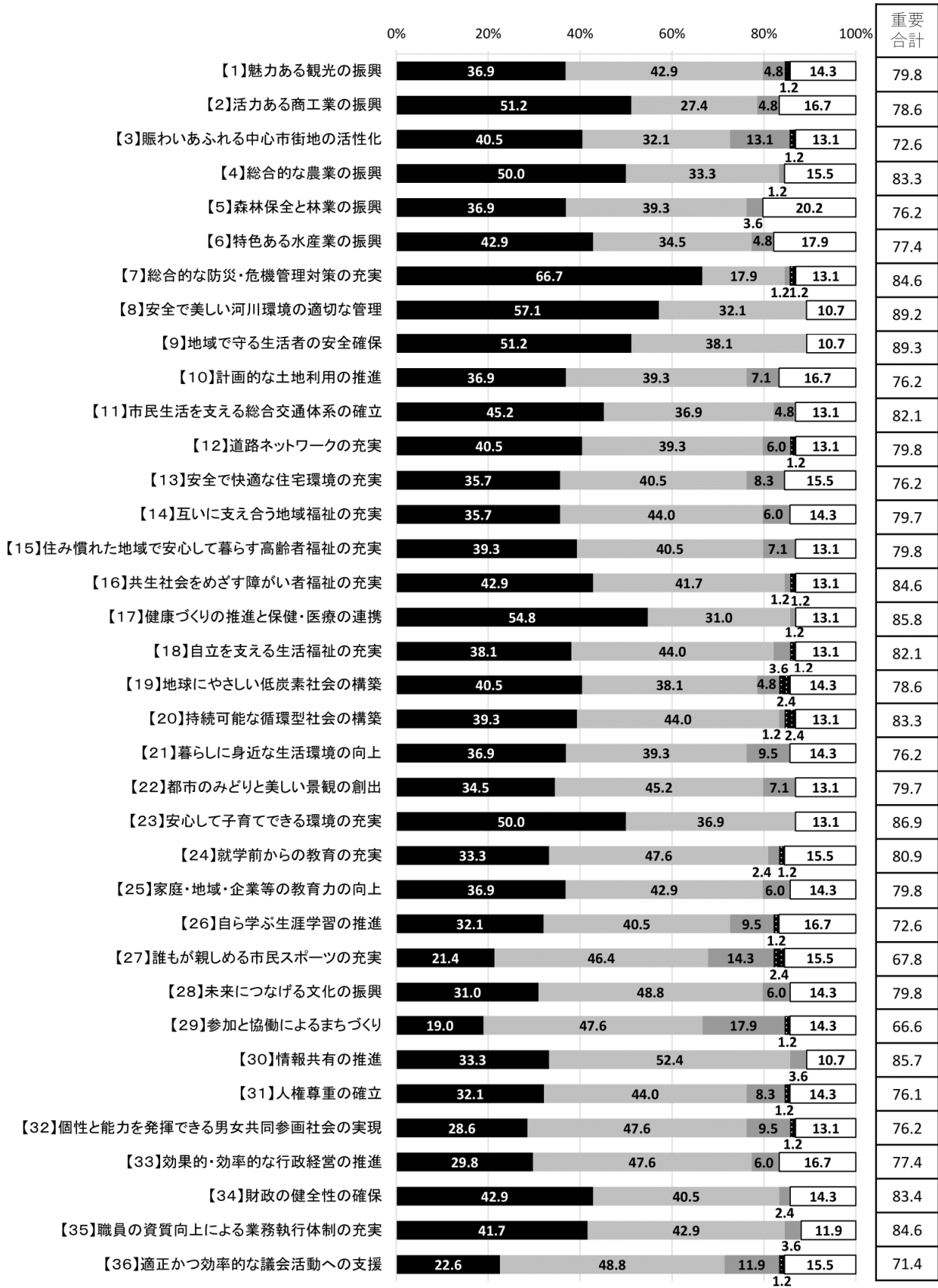
■重要である ■ある程度重要である ■あまり重要ではない ■重要ではない □無回答

■施策の重要度（旧東与賀町）



■重要である ■ある程度重要である ■あまり重要ではない ■重要ではない □無回答

■施策の重要度（旧久保田町）



■重要である ■ある程度重要である ■あまり重要ではない ■重要ではない □無回答

(2) 現状の満足度

①佐賀市全体

36施策のうち「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足度』の割合が最も高い施策は、「【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携」(64.7%)、「【22】都市のみどりと美しい景観の創出」(60.6%)、「【9】地域で守る生活者の安全確保」(60.0%)が上位3施策となっている。

一方、「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足度』の割合が最も低い施策は、「【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化」(28.4%)、「【2】活力ある商工業の振興」(34.5%)、「【11】市民生活を支える総合交通体系の確立」(35.2%)が下位3施策となっている。

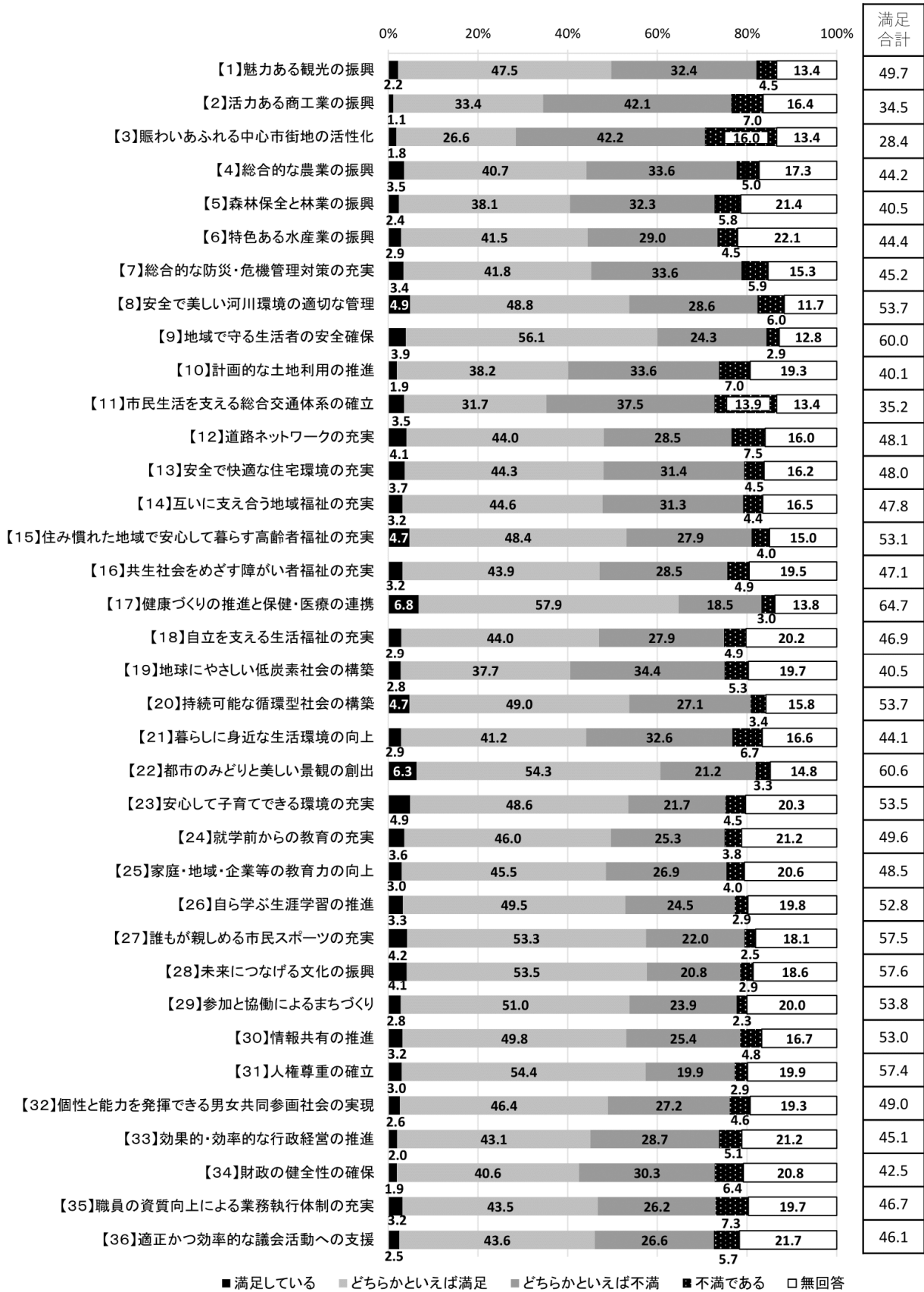
■現状の満足度（佐賀市全体）

(%)

施策目標	満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満である	無回答	満足合計
【1】魅力ある観光の振興	2.2	47.5	32.4	4.5	13.4	49.7
【2】活力ある商工業の振興	1.1	33.4	42.1	7.0	16.4	34.5
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	1.8	26.6	42.2	16.0	13.4	28.4
【4】総合的な農業の振興	3.5	40.7	33.6	5.0	17.3	44.2
【5】森林保全と林業の振興	2.4	38.1	32.3	5.8	21.4	40.5
【6】特色ある水産業の振興	2.9	41.5	29.0	4.5	22.1	44.4
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	3.4	41.8	33.6	5.9	15.3	45.2
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	4.9	48.8	28.6	6.0	11.7	53.7
【9】地域で守る生活者の安全確保	3.9	56.1	24.3	2.9	12.8	60.0
【10】計画的な土地利用の推進	1.9	38.2	33.6	7.0	19.3	40.1
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	3.5	31.7	37.5	13.9	13.4	35.2
【12】道路ネットワークの充実	4.1	44.0	28.5	7.5	16.0	48.1
【13】安全で快適な住宅環境の充実	3.7	44.3	31.4	4.5	16.2	48.0
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	3.2	44.6	31.3	4.4	16.5	47.8
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	4.7	48.4	27.9	4.0	15.0	53.1
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	3.2	43.9	28.5	4.9	19.5	47.1
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	6.8	57.9	18.5	3.0	13.8	64.7
【18】自立を支える生活福祉の充実	2.9	44.0	27.9	4.9	20.2	46.9
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	2.8	37.7	34.4	5.3	19.7	40.5
【20】持続可能な循環型社会の構築	4.7	49.0	27.1	3.4	15.8	53.7
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	2.9	41.2	32.6	6.7	16.6	44.1
【22】都市のみどりと美しい景観の創出	6.3	54.3	21.2	3.3	14.8	60.6
【23】安心して子育てできる環境の充実	4.9	48.6	21.7	4.5	20.3	53.5
【24】就学前からの教育の充実	3.6	46.0	25.3	3.8	21.2	49.6
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	3.0	45.5	26.9	4.0	20.6	48.5
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	3.3	49.5	24.5	2.9	19.8	52.8
【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実	4.2	53.3	22.0	2.5	18.1	57.5
【28】未来につなげる文化の振興	4.1	53.5	20.8	2.9	18.6	57.6
【29】参加と協働によるまちづくり	2.8	51.0	23.9	2.3	20.0	53.8
【30】情報共有の推進	3.2	49.8	25.4	4.8	16.7	53.0
【31】人権尊重の確立	3.0	54.4	19.9	2.9	19.9	57.4
【32】個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現	2.6	46.4	27.2	4.6	19.3	49.0
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	2.0	43.1	28.7	5.1	21.2	45.1
【34】財政の健全性の確保	1.9	40.6	30.3	6.4	20.8	42.5
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	3.2	43.5	26.2	7.3	19.7	46.7
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	2.5	43.6	26.6	5.7	21.7	46.1

(注) 各施策間で割合の高い上位3項目を太字で、低い項目を斜字で示している。

■現状の満足度（佐賀市全体）



②地区別

地区別でみると、旧三瀬村は36施策中14施策で『満足度』の割合が最も高い。中でも、「【4】総合的な農業の振興」、「【7】総合的な防災・危機管理対策の充実」、「【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実」は、他地区に比べ『満足度』の割合が高い。

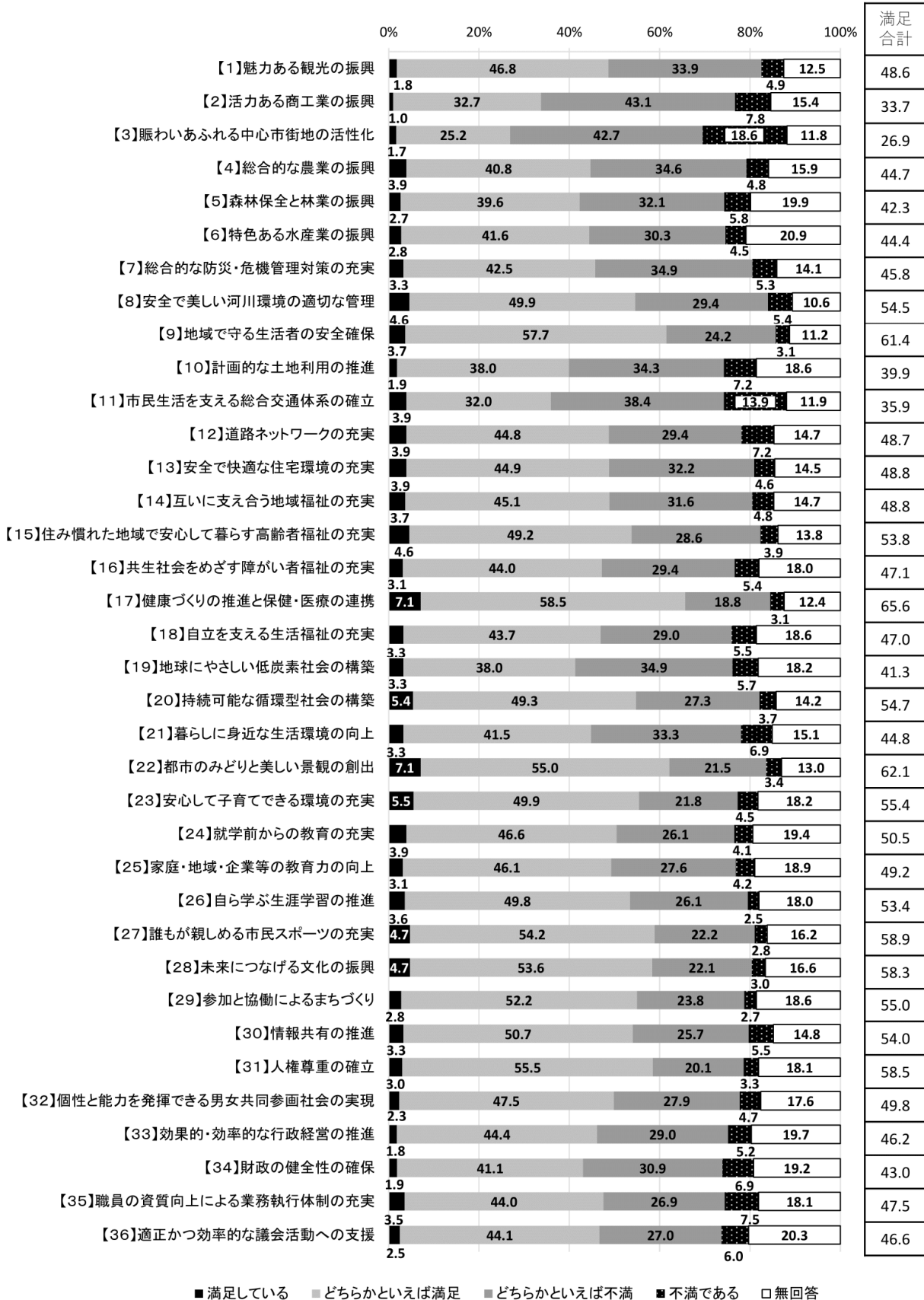
一方、旧富士町は36施策中19施策で『満足度』の割合が最も低くなっている。

■現状の満足度（満足合計）

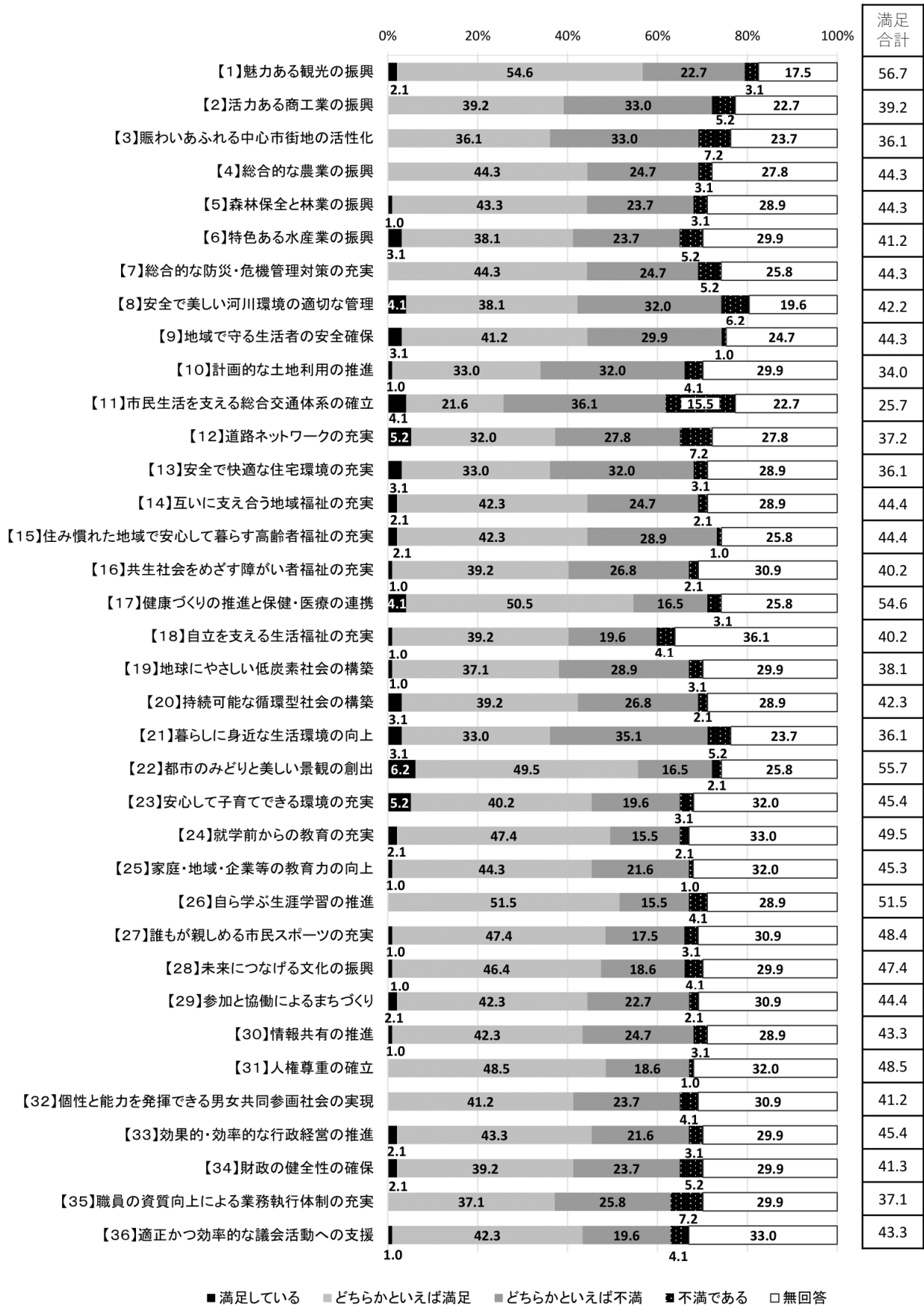
施策目標	満足合計(%)								
	佐賀市全体	地区別							
	旧佐賀市	旧諸富町	旧大和町	旧富士町	旧三瀬村	旧川副町	旧東与賀町	旧久保田町	
【1】魅力ある観光の振興	49.7	48.6	56.7	55.5	40.0	50.9	47.5	49.0	56.0
【2】活力ある商工業の振興	34.5	33.7	39.2	37.5	28.0	33.3	35.2	37.7	35.7
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	28.4	26.9	36.1	30.6	25.3	36.9	36.8	28.6	31.0
【4】総合的な農業の振興	44.2	44.7	44.3	46.3	28.0	54.4	37.7	41.8	48.9
【5】森林保全と林業の振興	40.5	42.3	44.3	37.0	18.6	40.3	34.4	37.7	33.3
【6】特色ある水産業の振興	44.4	44.4	41.2	48.6	30.7	49.1	43.4	42.9	46.5
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	45.2	45.8	44.3	47.4	32.0	57.9	37.7	49.0	40.5
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	53.7	54.5	42.2	56.7	52.0	56.2	41.0	52.1	65.5
【9】地域で守る生活者の安全確保	60.0	61.4	44.3	61.9	56.0	64.9	50.0	64.3	57.2
【10】計画的な土地利用の推進	40.1	39.9	34.0	45.1	34.6	35.1	36.9	42.9	45.3
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	35.2	35.9	25.7	40.4	24.0	36.9	32.8	27.6	34.5
【12】道路ネットワークの充実	48.1	48.7	37.2	50.9	40.0	42.2	50.0	42.9	48.8
【13】安全で快適な住宅環境の充実	48.0	48.8	36.1	52.0	41.4	38.6	42.6	48.0	47.6
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	47.8	48.8	44.4	53.1	33.3	56.1	36.1	43.9	44.1
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	53.1	53.8	44.4	56.1	52.0	64.9	50.8	38.7	56.0
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	47.1	47.1	40.2	52.0	41.3	54.4	45.1	44.9	45.3
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	64.7	65.6	54.6	68.2	56.0	66.7	63.9	59.2	54.7
【18】自立を支える生活福祉の充実	46.9	47.0	40.2	53.2	42.7	59.6	40.1	50.0	46.4
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	40.5	41.3	38.1	39.3	36.0	45.6	37.7	40.8	35.7
【20】持続可能な循環型社会の構築	53.7	54.7	42.3	53.8	48.0	54.4	49.2	59.2	47.6
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	44.1	44.8	36.1	46.9	44.0	43.9	40.2	41.8	41.7
【22】都市のみどりと美しい景観の創出	60.6	62.1	55.7	59.5	57.4	63.2	53.2	55.1	58.3
【23】安心して子育てできる環境の充実	53.5	55.4	45.4	52.0	42.6	54.4	44.3	51.0	48.9
【24】就学前からの教育の充実	49.6	50.5	49.5	45.7	42.7	50.9	46.7	50.0	52.4
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	48.5	49.2	45.3	47.4	36.0	47.4	47.5	51.0	47.6
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	52.8	53.4	51.5	53.8	41.4	54.4	49.1	52.0	52.4
【27】誰もが観しめる市民スポーツの充実	57.5	58.9	48.4	56.7	53.3	56.1	50.9	53.0	58.4
【28】未来につなげる文化の振興	57.6	58.3	47.4	60.1	50.6	54.4	54.1	59.2	56.0
【29】参加と協働によるまちづくり	53.8	55.0	44.4	57.3	42.6	57.9	43.4	54.1	52.4
【30】情報共有の推進	53.0	54.0	43.3	54.3	42.7	49.1	46.7	59.2	52.4
【31】人権尊重の確立	57.4	58.5	48.5	60.1	48.0	57.9	48.3	55.1	57.2
【32】個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現	49.0	49.8	41.2	50.2	42.6	49.1	44.2	44.9	50.0
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	45.1	46.2	45.4	43.9	33.4	40.4	34.4	51.0	42.9
【34】財政の健全性の確保	42.5	43.0	41.3	41.6	32.0	36.9	37.7	46.9	44.1
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	46.7	47.5	37.1	48.5	38.7	45.6	42.6	46.9	46.4
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	46.1	46.6	43.3	48.0	37.4	52.6	38.5	44.9	47.7

(注) 旧市町村間で最も割合の高いものを太字で、最も低いものを斜字で示している。

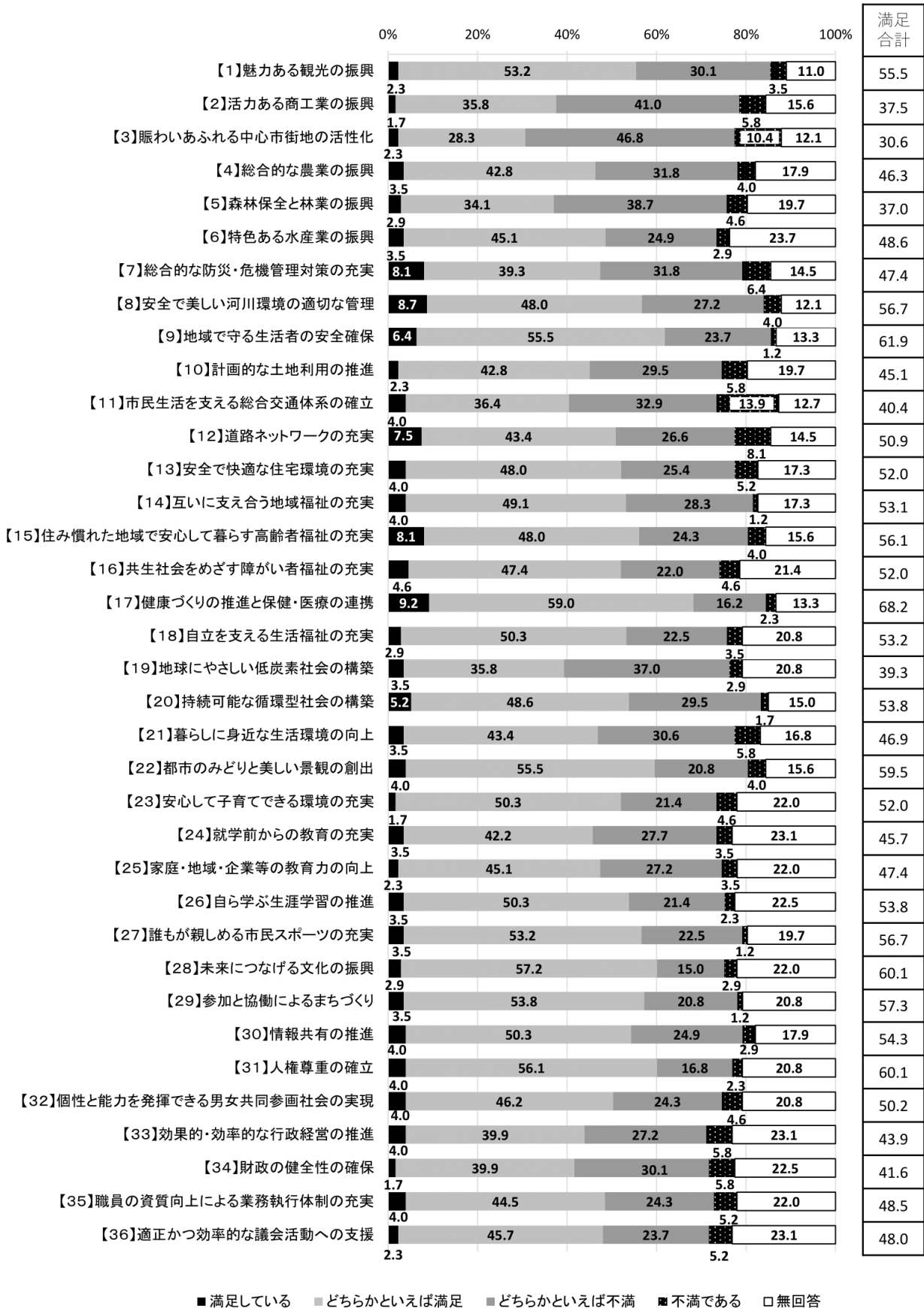
■現状の満足度（旧佐賀市）



■現状の満足度（旧諸富町）

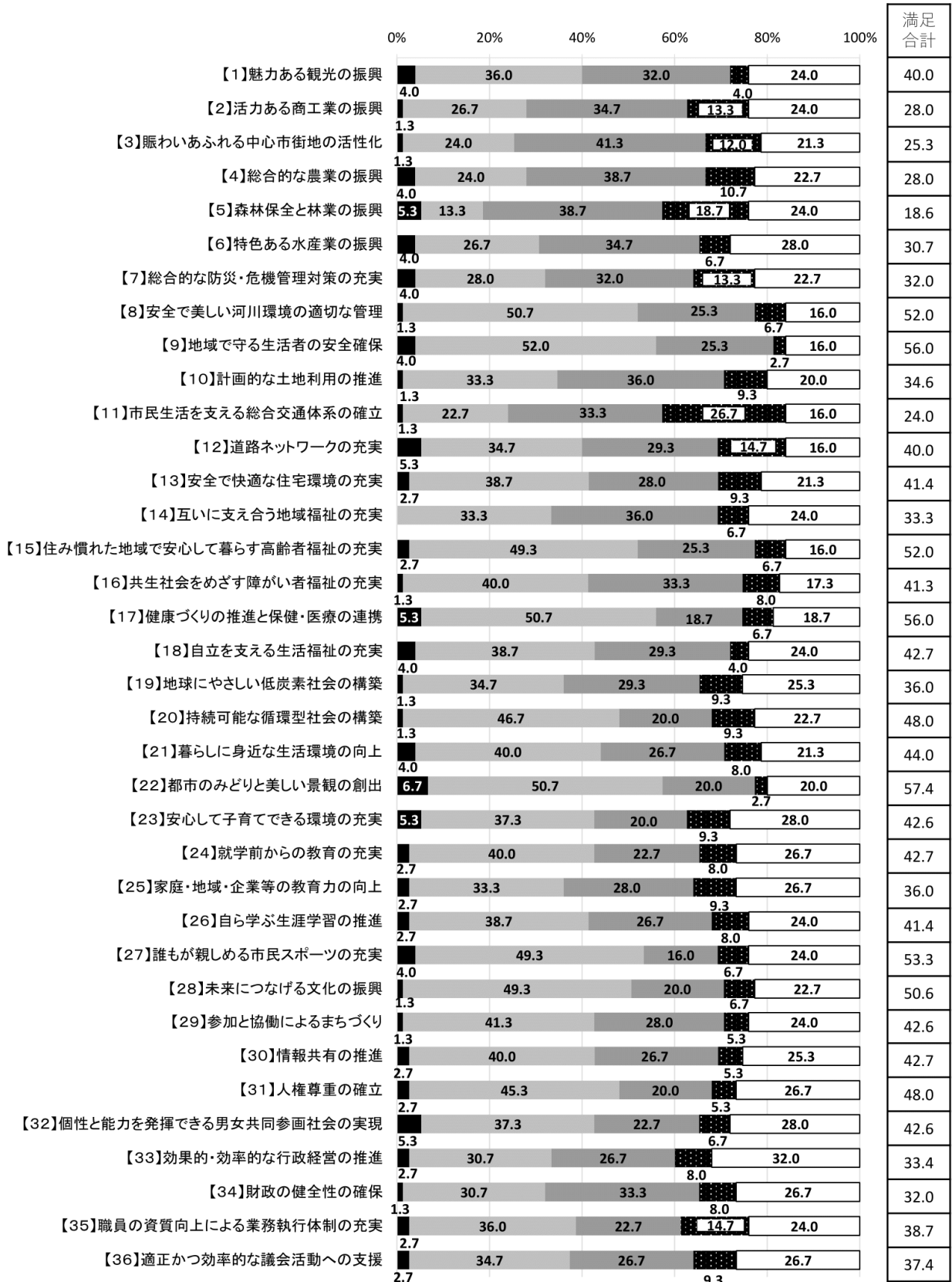


■現状の満足度（旧大和町）



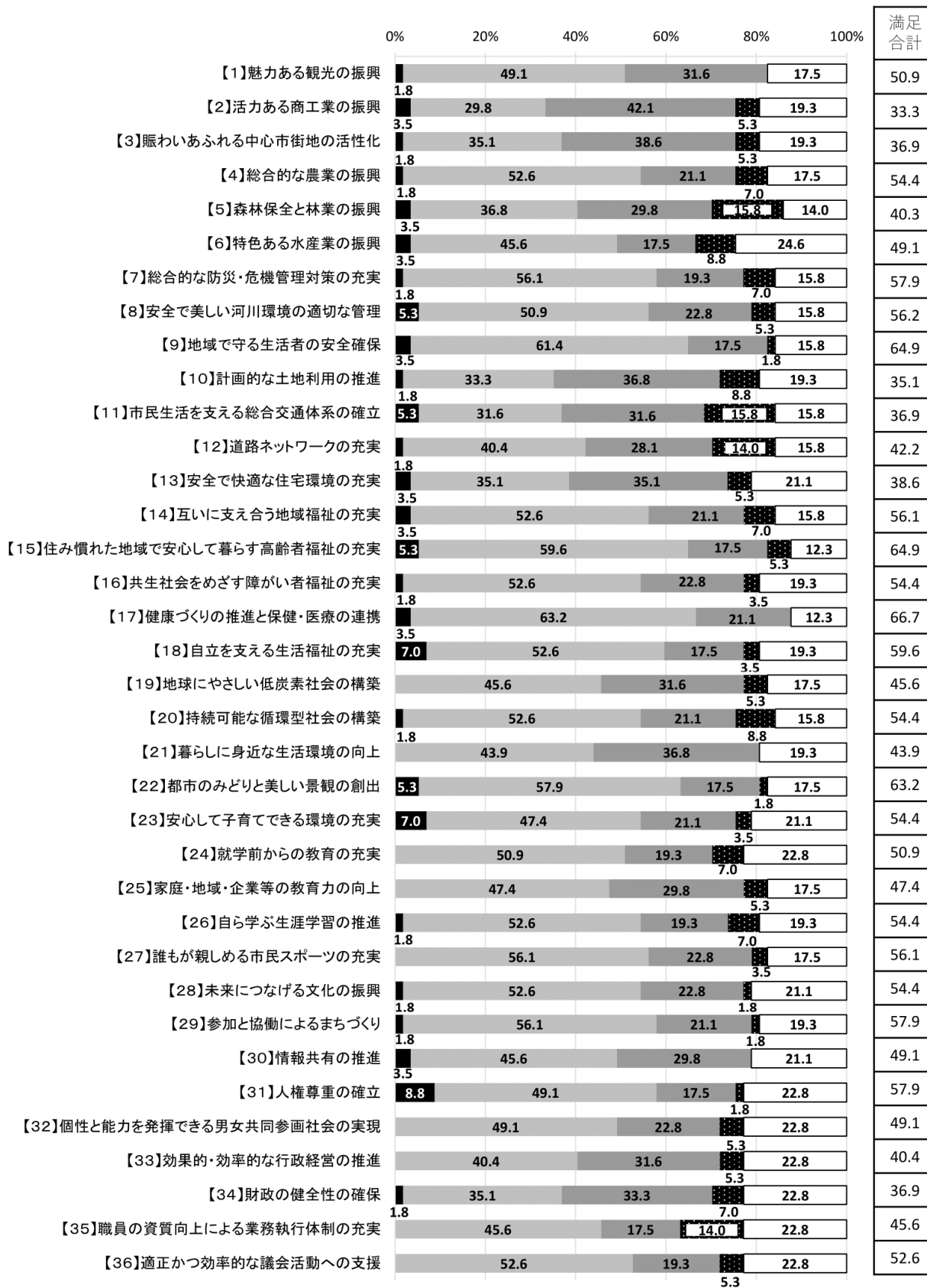
■ 満足している ■ どちらかといえば満足 ■ どちらかといえば不満 ■ 不満である □ 無回答

■現状の満足度（旧富士町）



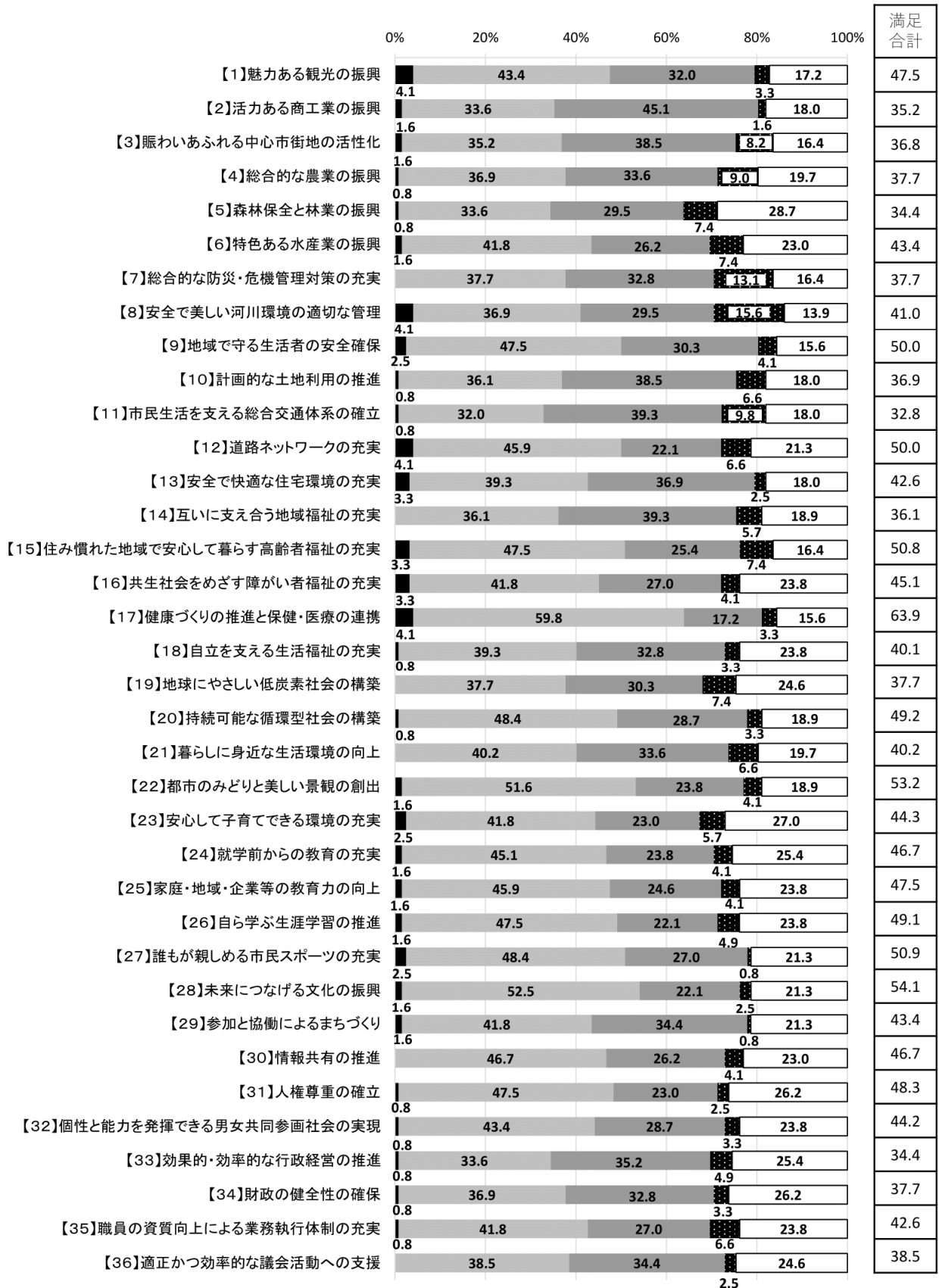
■満足している ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満である □無回答

■現状の満足度（旧三瀬村）



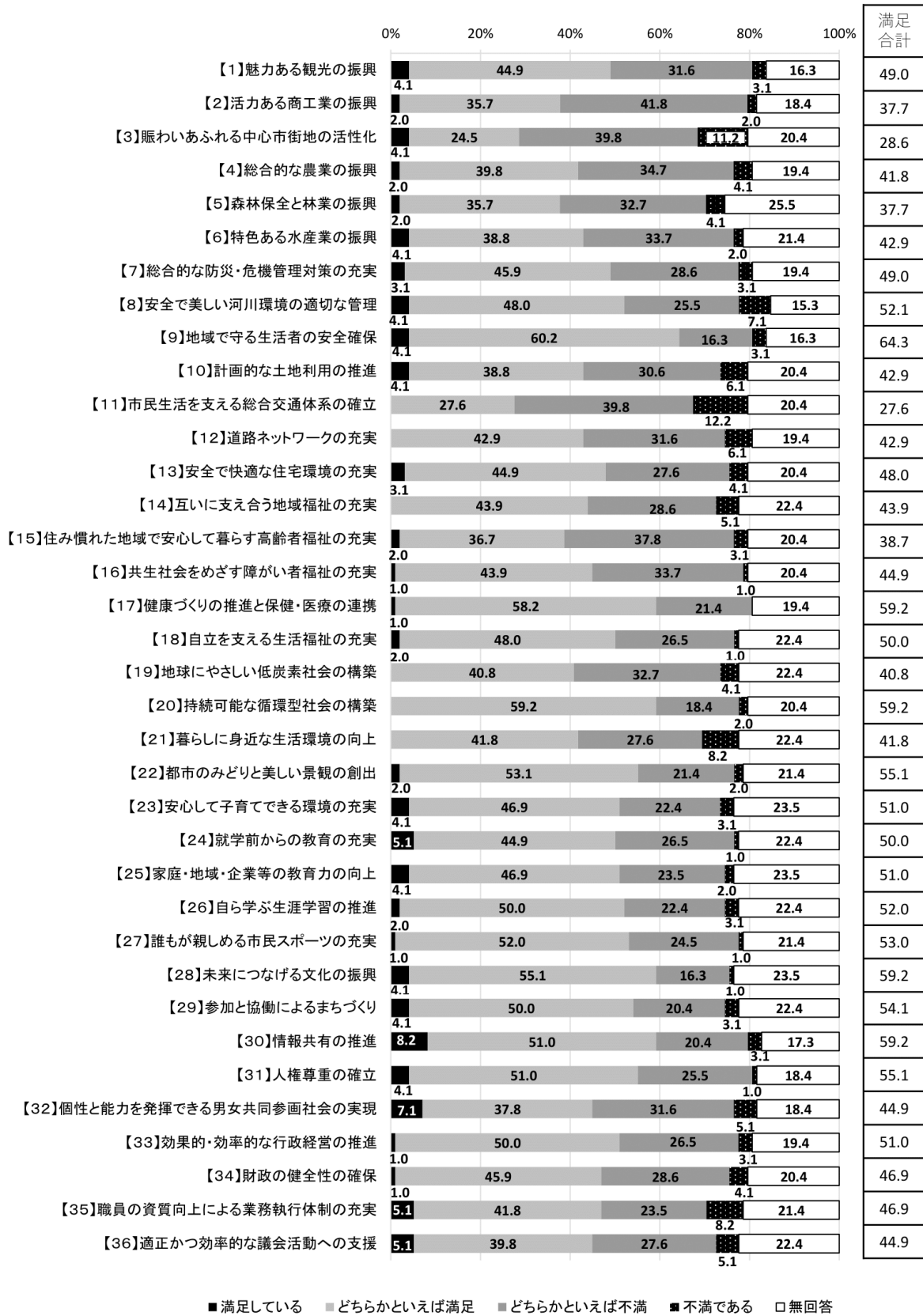
■満足している ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満である □無回答

■現状の満足度（旧川副町）

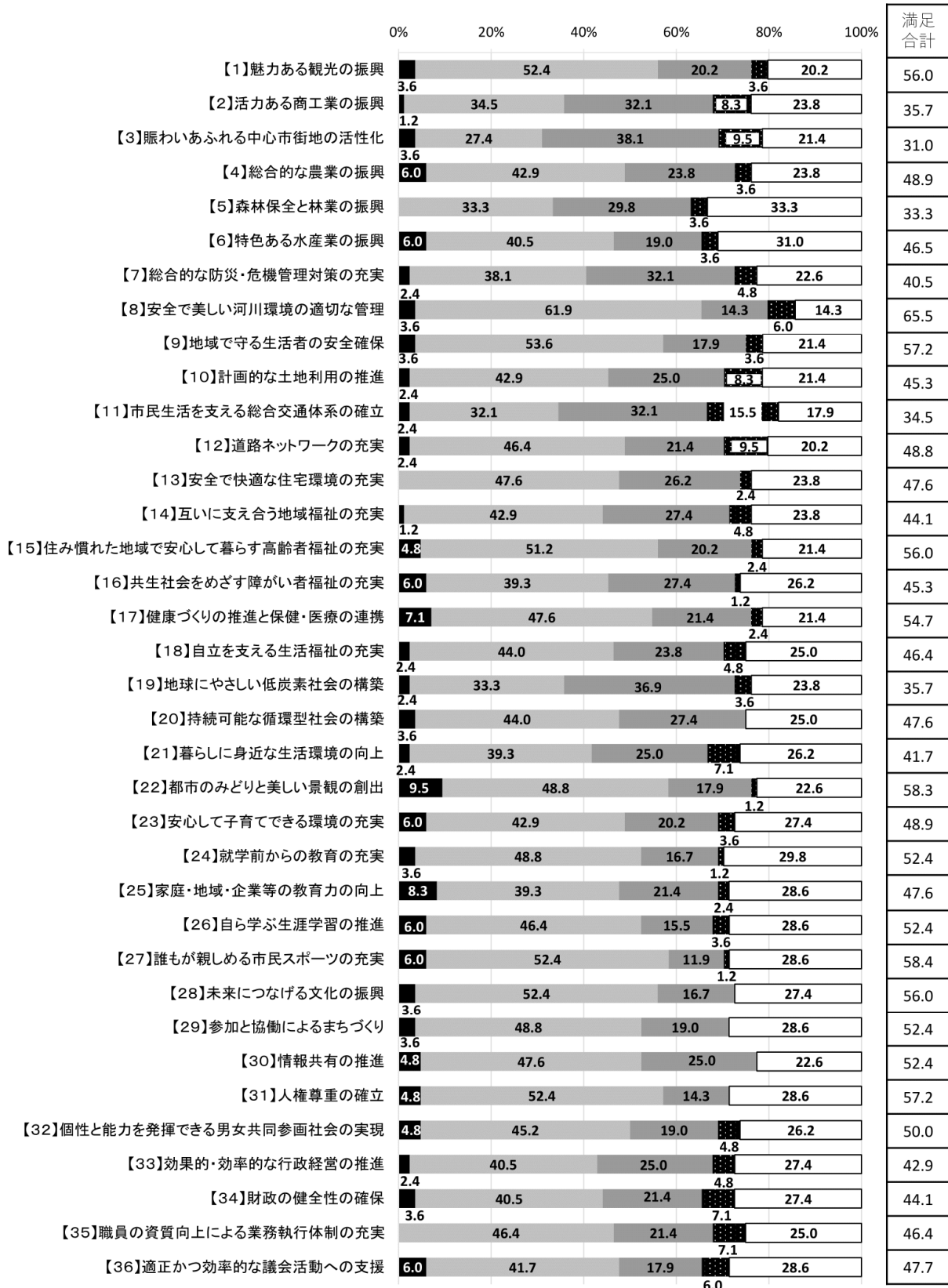


■満足している ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満である □無回答

■現状の満足度（旧東与賀町）



■現状の満足度（旧久保田町）

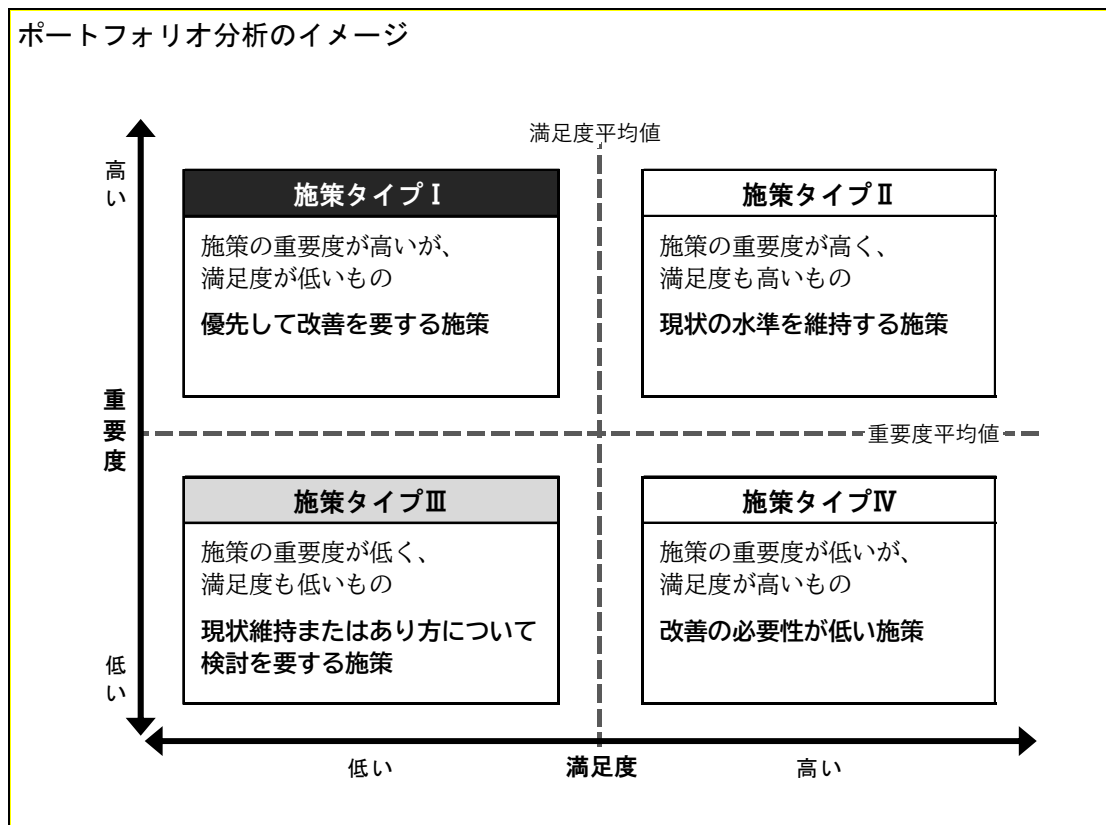


■満足している ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満である □無回答

(3) ポートフォリオ分析による施策項目の優先性

施策項目の優先性を検討するために、各項目の「重要度」の平均値と「満足度」の平均値から、ポートフォリオ分析を行った。

ポートフォリオ分析とは、「満足度」を横軸、「重要度」を縦軸にとり、各項目の分布状況を示した散布図を4つの領域に分類したものである。2本の補助軸は「満足度」の全項目（36項目）の平均値と、「重要度」の全項目（36項目）の平均値を示している。



「満足度」と「重要度」の平均値は以下のような配点をし、無回答を除外して平均値を算出している。平均値が高いと重要度や満足度が高いということになる。

■ 「重要度」、「満足度」得点化にあたっての配点

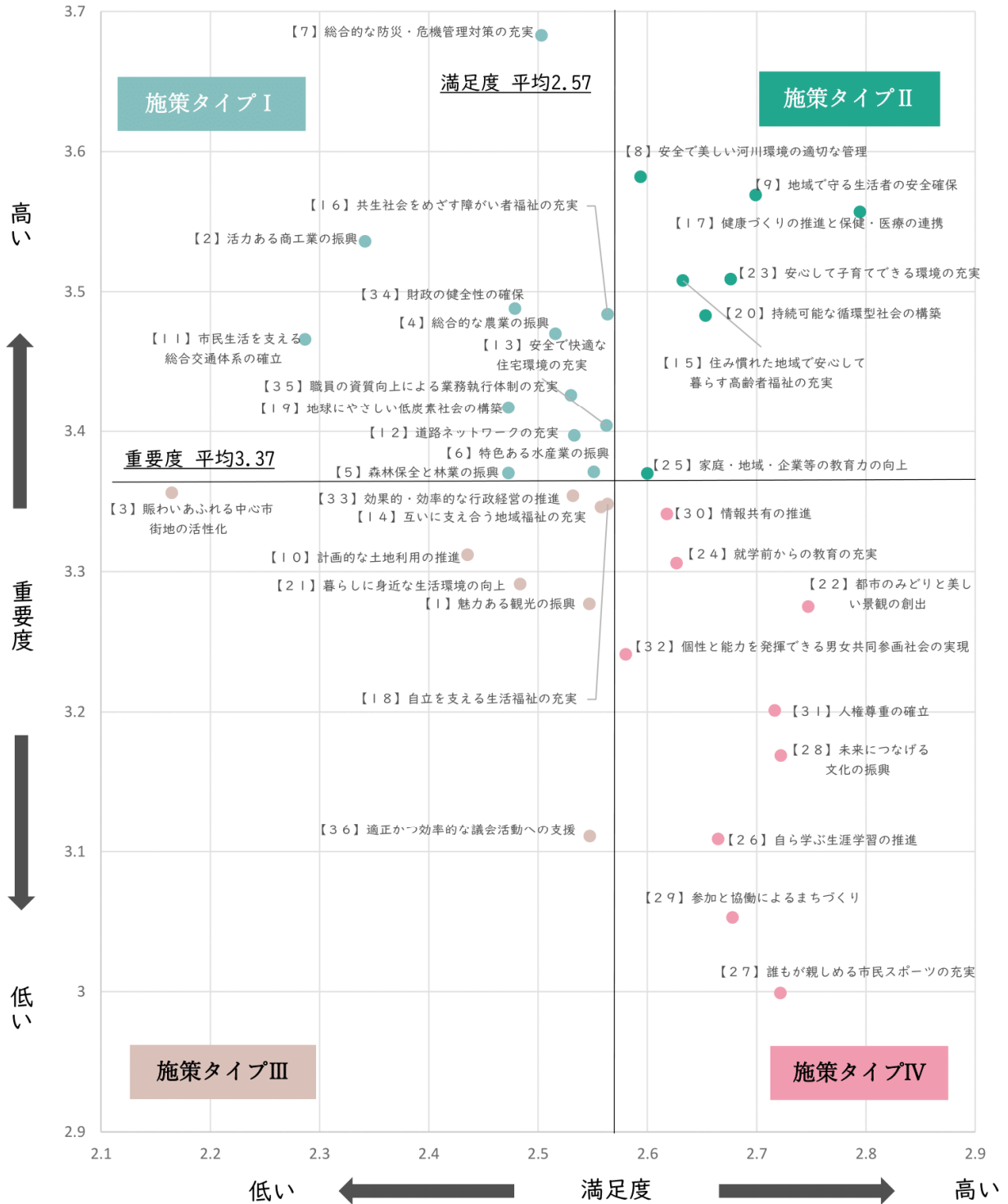
満足度		重要度	
満足している	4点	重要である	4点
どちらかといえば満足	3点	ある程度重要である	3点
どちらかといえば不満	2点	あまり重要ではない	2点
不満である	1点	重要ではない	1点

① 佐賀市全体

重要度は高いが満足度が低い施策タイプⅠには、「【11】市民生活を支える総合交通体系の確立」など12施策が該当している。

また、重要度が高く満足度も高い施策タイプⅡには「【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携」など7施策が入っている。

■ポートフォリオ分析（佐賀市全体）



■ポータルフォリオ分析による施策項目の優先性（佐賀市全体）

	重要度 得点					満足度 得点					タイプ			
	R3	順位	R2	R1	H30	R3	順位	R2	R1	H30	R3	R2	R1	H30
	【1】魅力ある観光の振興	3.28	(28)	3.34	3.37	3.35	2.55	(23)	2.48	2.53	2.51	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ
【2】活力ある商工業の振興	3.54	(5)	3.56	3.57	3.56	2.34	(34)	2.33	2.29	2.23	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	3.36	(20)	3.43	3.46	3.43	2.16	(36)	2.14	2.12	2.06	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
【4】総合的な農業の振興	3.47	(11)	3.49	3.44	3.43	2.52	(27)	2.52	2.51	2.45	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
【5】森林保全と林業の振興	3.37	(18)	3.39	3.30	3.35	2.47	(32)	2.46	2.48	2.42	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
【6】特色ある水産業の振興	3.37	(17)	3.41	3.35	3.36	2.55	(21)	2.54	2.52	2.46	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	3.68	(1)	3.75	3.69	3.67	2.50	(28)	2.48	2.50	2.49	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	3.58	(2)	3.65	3.59	3.56	2.59	(15)	2.57	2.61	2.58	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
【9】地域で守る生活者の安全確保	3.57	(3)	3.58	3.59	3.59	2.70	(6)	2.70	2.68	2.60	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
【10】計画的な土地利用の推進	3.31	(25)	3.33	3.34	3.40	2.44	(33)	2.46	2.43	2.32	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	3.47	(12)	3.53	3.57	3.52	2.29	(35)	2.26	2.23	2.17	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
【12】道路ネットワークの充実	3.40	(16)	3.48	3.44	3.46	2.53	(24)	2.47	2.49	2.43	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
【13】安全で快適な住宅環境の充実	3.40	(15)	3.42	3.43	3.43	2.56	(19)	2.58	2.55	2.48	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	3.35	(23)	3.35	3.37	3.38	2.56	(20)	2.54	2.55	2.45	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	3.51	(7)	3.51	3.52	3.52	2.63	(11)	2.62	2.59	2.51	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	3.48	(9)	3.48	3.44	3.46	2.56	(18)	2.58	2.57	2.50	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	3.56	(4)	3.55	3.55	3.56	2.79	(1)	2.82	2.82	2.78	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
【18】自立を支える生活福祉の充実	3.35	(22)	3.31	3.28	3.33	2.56	(17)	2.63	2.55	2.51	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	3.42	(14)	3.39	3.32	3.30	2.47	(31)	2.55	2.58	2.58	Ⅰ	Ⅰ	Ⅳ	Ⅳ
【20】持続可能な循環型社会の構築	3.48	(10)	3.45	3.40	3.41	2.65	(10)	2.72	2.71	2.74	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	3.29	(27)	3.30	3.26	3.30	2.48	(29)	2.48	2.52	2.43	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
【22】都市のみどりや美しい景観の創出	3.28	(29)	3.31	3.30	3.32	2.75	(2)	2.76	2.79	2.74	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
【23】安心して子育てできる環境の充実	3.51	(6)	3.52	3.55	3.54	2.68	(8)	2.69	2.63	2.56	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
【24】就学前からの教育の充実	3.31	(26)	3.30	3.31	3.33	2.63	(12)	2.66	2.62	2.54	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	3.37	(19)	3.36	3.39	3.41	2.60	(14)	2.59	2.57	2.51	Ⅱ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅰ
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	3.11	(34)	3.14	3.13	3.15	2.66	(9)	2.69	2.70	2.66	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実	3.00	(36)	3.02	3.02	3.04	2.72	(4)	2.73	2.72	2.69	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
【28】未来につなげる文化の振興	3.17	(32)	3.20	3.17	3.18	2.72	(3)	2.72	2.77	2.71	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
【29】参加と協働によるまちづくり	3.05	(35)	3.07	3.09	3.07	2.68	(7)	2.67	2.70	2.63	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
【30】情報共有の推進	3.34	(24)	3.33	3.28	3.32	2.62	(13)	2.64	2.66	2.60	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
【31】人権尊重の確立	3.20	(31)	3.18	3.14	3.13	2.72	(5)	2.73	2.74	2.71	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
【32】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	3.24	(30)	3.23	3.20	3.22	2.58	(16)	2.63	2.61	2.54	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	3.35	(21)	3.38	3.32	3.36	2.53	(25)	2.57	2.59	2.51	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ
【34】財政の健全性の確保	3.49	(8)	3.53	3.50	3.53	2.48	(30)	2.49	2.51	2.44	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	3.43	(13)	3.44	3.42	3.46	2.53	(26)	2.54	2.52	2.48	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	3.11	(33)	3.16	3.12	3.15	2.55	(22)	2.52	2.54	2.51	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
平均値	3.37		3.39	3.37	3.38	2.57		2.57	2.57	2.51				

（注）小数点第3位を四捨五入した結果、同位になったものに関しては四捨五入前の数値で順位付け・比較をしている。

▼施策タイプについて

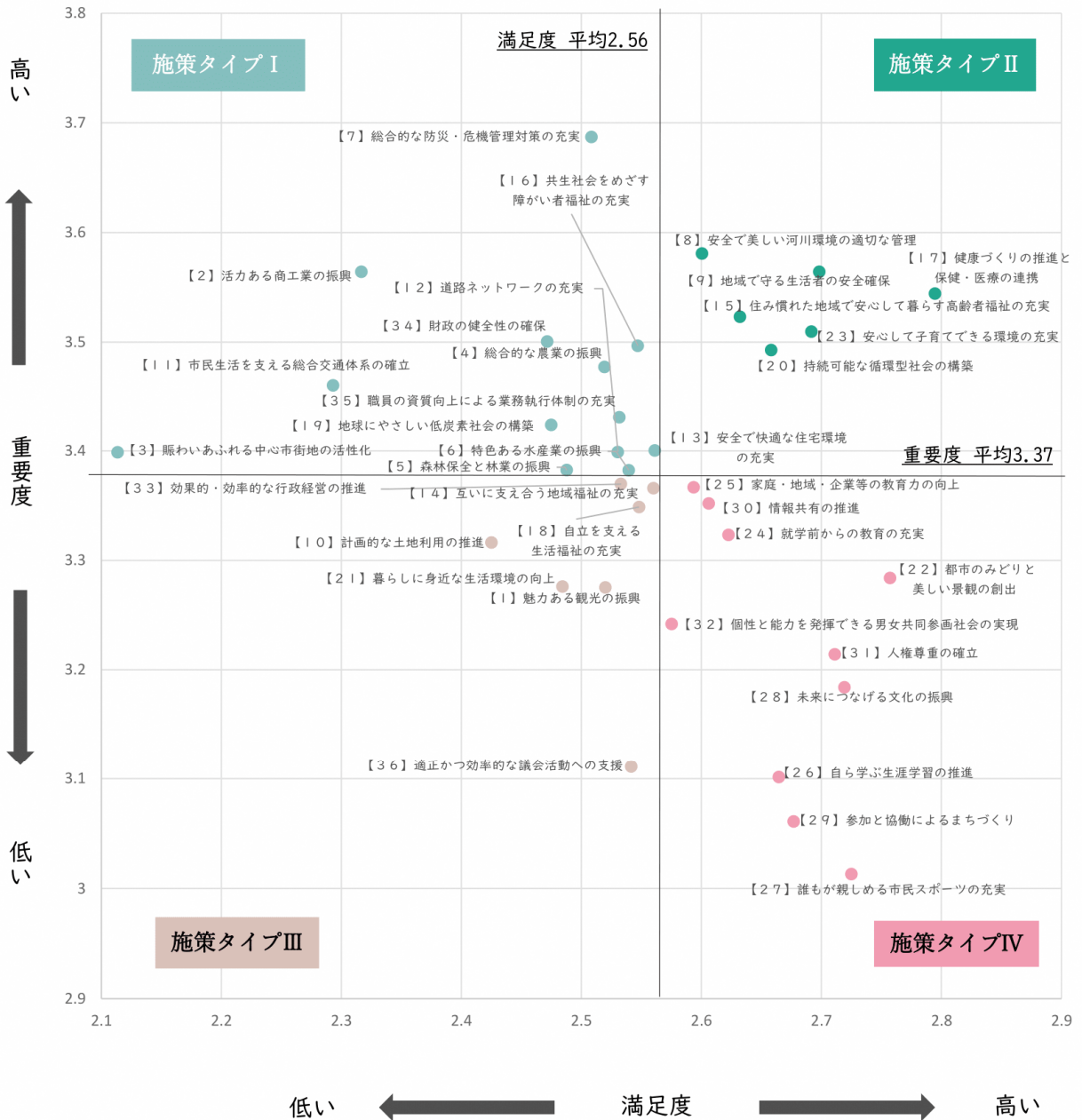
タイプ	重要度	満足度	分類
施策タイプⅠ	高	低	優先して改善を要する施策
施策タイプⅡ	高	高	現状の水準を維持する施策
施策タイプⅢ	低	低	現状維持またはあり方について検討を要する施策
施策タイプⅣ	低	高	改善の必要性が低い施策

②地区別

・旧佐賀市

重要度は高いが満足度が低い施策タイプⅠには、満足度が最も低い「【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化」など13施策が該当している。

■ポートフォリオ分析（旧佐賀市）



■ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（旧佐賀市）

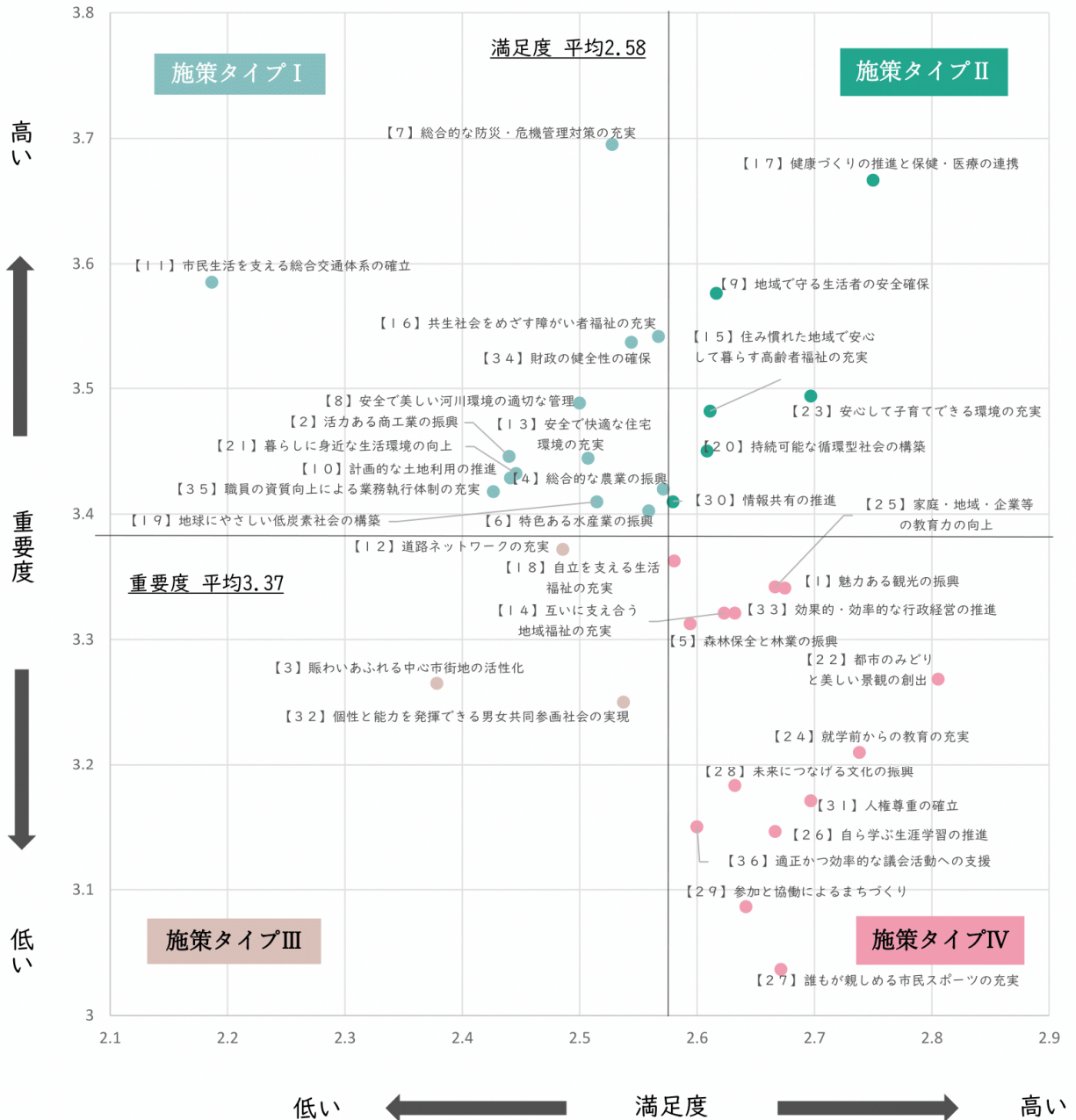
	重要度 得点		満足度 得点		施策 タイプ
	R3	順位	R3	順位	
【1】魅力ある観光の振興	3.28	(29)	2.52	(26)	Ⅲ
【2】活力ある商工業の振興	3.56	(4)	2.32	(34)	I
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	3.40	(17)	2.11	(36)	I
【4】総合的な農業の振興	3.48	(11)	2.52	(27)	I
【5】森林保全と林業の振興	3.38	(18)	2.49	(29)	I
【6】特色ある水産業の振興	3.38	(19)	2.54	(22)	I
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	3.69	(1)	2.51	(28)	I
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	3.58	(2)	2.60	(14)	Ⅱ
【9】地域で守る生活者の安全確保	3.56	(3)	2.70	(6)	Ⅱ
【10】計画的な土地利用の推進	3.32	(26)	2.43	(33)	Ⅲ
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	3.46	(12)	2.29	(35)	I
【12】道路ネットワークの充実	3.40	(16)	2.53	(25)	I
【13】安全で快適な住宅環境の充実	3.40	(15)	2.56	(17)	I
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	3.37	(22)	2.56	(18)	Ⅲ
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	3.52	(6)	2.63	(11)	Ⅱ
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	3.50	(9)	2.55	(20)	I
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	3.54	(5)	2.79	(1)	Ⅱ
【18】自立を支える生活福祉の充実	3.35	(24)	2.55	(19)	Ⅲ
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	3.42	(14)	2.47	(31)	I
【20】持続可能な循環型社会の構築	3.49	(10)	2.66	(10)	Ⅱ
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	3.28	(28)	2.48	(30)	Ⅲ
【22】都市のみどりと美しい景観の創出	3.28	(27)	2.76	(2)	Ⅳ
【23】安心して子育てできる環境の充実	3.51	(7)	2.69	(7)	Ⅱ
【24】就学前からの教育の充実	3.32	(25)	2.62	(12)	Ⅳ
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	3.37	(21)	2.59	(15)	Ⅳ
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	3.10	(34)	2.66	(9)	Ⅳ
【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実	3.01	(36)	2.73	(3)	Ⅳ
【28】未来につなげる文化の振興	3.18	(32)	2.72	(4)	Ⅳ
【29】参加と協働によるまちづくり	3.06	(35)	2.68	(8)	Ⅳ
【30】情報共有の推進	3.35	(23)	2.61	(13)	Ⅳ
【31】人権尊重の確立	3.21	(31)	2.71	(5)	Ⅳ
【32】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	3.24	(30)	2.58	(16)	Ⅳ
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	3.37	(20)	2.53	(23)	Ⅲ
【34】財政の健全性の確保	3.50	(8)	2.47	(32)	I
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	3.43	(13)	2.53	(24)	I
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	3.11	(33)	2.54	(21)	Ⅲ
平均値	3.37		2.56		

（注）小数点第3位を四捨五入した結果、同位になったものに関しては四捨五入前の数値で順位付け・比較をしている。

・旧諸富町

重要度は高いが満足度が低い施策タイプⅠには、満足度が最も低い「【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立」など13施策が該当している。

■ポートフォリオ分析（旧諸富町）



■ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（旧諸富町）

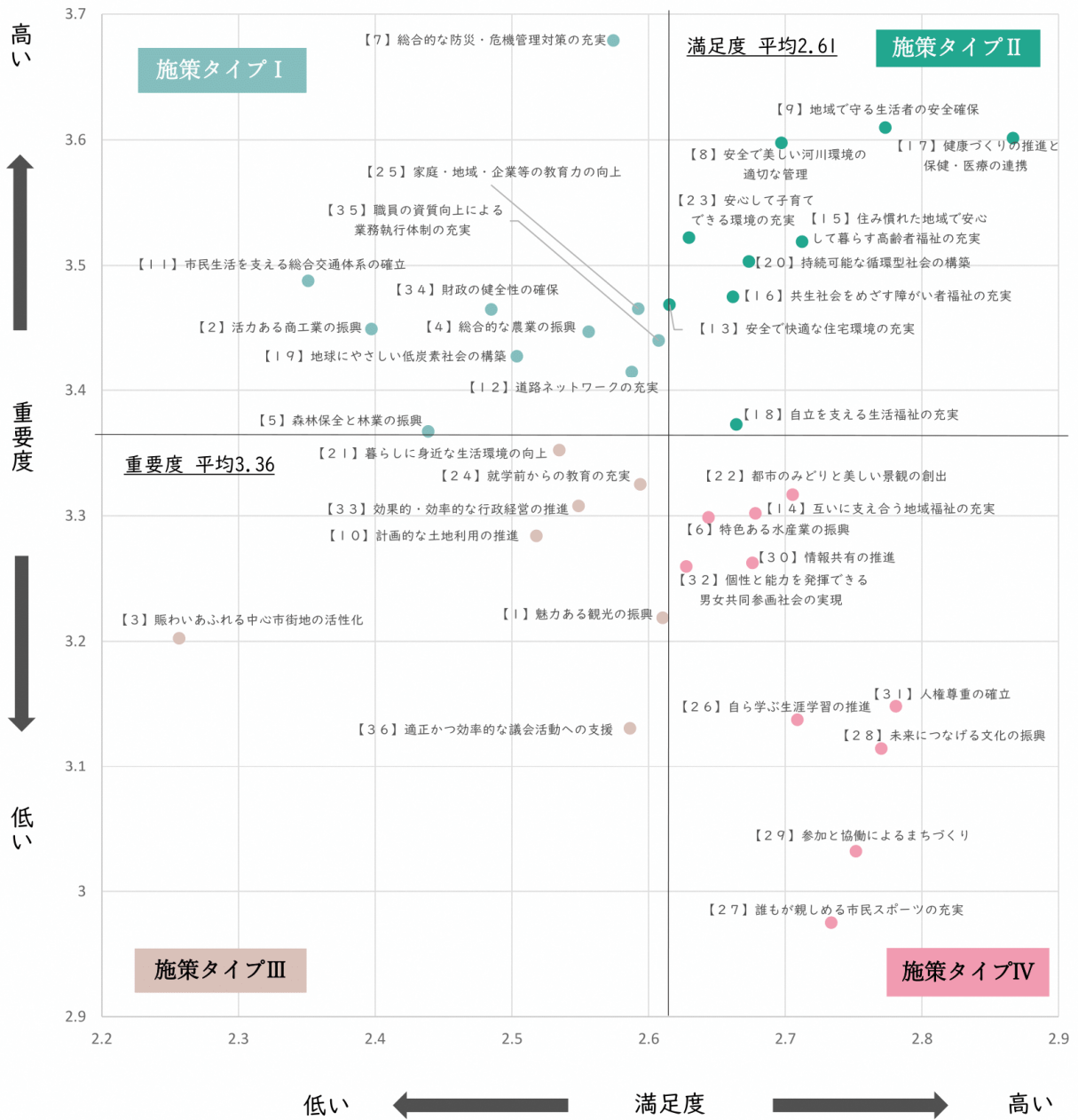
	重要度 得点		満足度 得点		施策 タイプ
	R2	順位	R2	順位	
【1】魅力ある観光の振興	3.34	(23)	2.68	(6)	IV
【2】活力ある商工業の振興	3.45	(11)	2.44	(33)	I
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	3.27	(28)	2.38	(35)	III
【4】総合的な農業の振興	3.42	(15)	2.57	(21)	I
【5】森林保全と林業の振興	3.31	(26)	2.59	(18)	IV
【6】特色ある水産業の振興	3.40	(19)	2.56	(23)	I
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	3.70	(1)	2.53	(26)	I
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	3.49	(8)	2.50	(29)	I
【9】地域で守る生活者の安全確保	3.58	(4)	2.62	(14)	II
【10】計画的な土地利用の推進	3.43	(14)	2.44	(32)	I
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	3.59	(3)	2.19	(36)	I
【12】道路ネットワークの充実	3.37	(20)	2.49	(30)	III
【13】安全で快適な住宅環境の充実	3.44	(12)	2.51	(28)	I
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	3.32	(24)	2.62	(13)	IV
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	3.48	(9)	2.61	(15)	II
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	3.54	(5)	2.57	(22)	I
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	3.67	(2)	2.75	(2)	II
【18】自立を支える生活福祉の充実	3.36	(21)	2.58	(19)	IV
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	3.41	(17)	2.51	(27)	I
【20】持続可能な循環型社会の構築	3.45	(10)	2.61	(16)	II
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	3.43	(13)	2.45	(31)	I
【22】都市のみどりと美しい景観の創出	3.27	(27)	2.81	(1)	IV
【23】安心して子育てできる環境の充実	3.49	(7)	2.70	(4)	II
【24】就学前からの教育の充実	3.21	(30)	2.74	(3)	IV
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	3.34	(22)	2.67	(8)	IV
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	3.15	(34)	2.67	(8)	IV
【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実	3.04	(36)	2.67	(7)	IV
【28】未来につなげる文化の振興	3.18	(31)	2.63	(11)	IV
【29】参加と協働によるまちづくり	3.09	(35)	2.64	(10)	IV
【30】情報共有の推進	3.41	(17)	2.58	(20)	II
【31】人権尊重の確立	3.17	(32)	2.70	(4)	IV
【32】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	3.25	(29)	2.54	(25)	III
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	3.32	(24)	2.63	(11)	IV
【34】財政の健全性の確保	3.54	(6)	2.54	(24)	I
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	3.42	(16)	2.43	(34)	I
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	3.15	(33)	2.60	(17)	IV
平均値	3.37		2.58		

（注）小数点第3位を四捨五入した結果、同位になったものに関しては四捨五入前の数値で順位付け・比較をしている。

・旧大和町

重要度は高いが満足度が低い施策タイプⅠには、「【11】市民生活を支える総合交通体系の確立」など10施策が該当している。

■ポートフォリオ分析（旧大和町）



■ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（旧大和町）

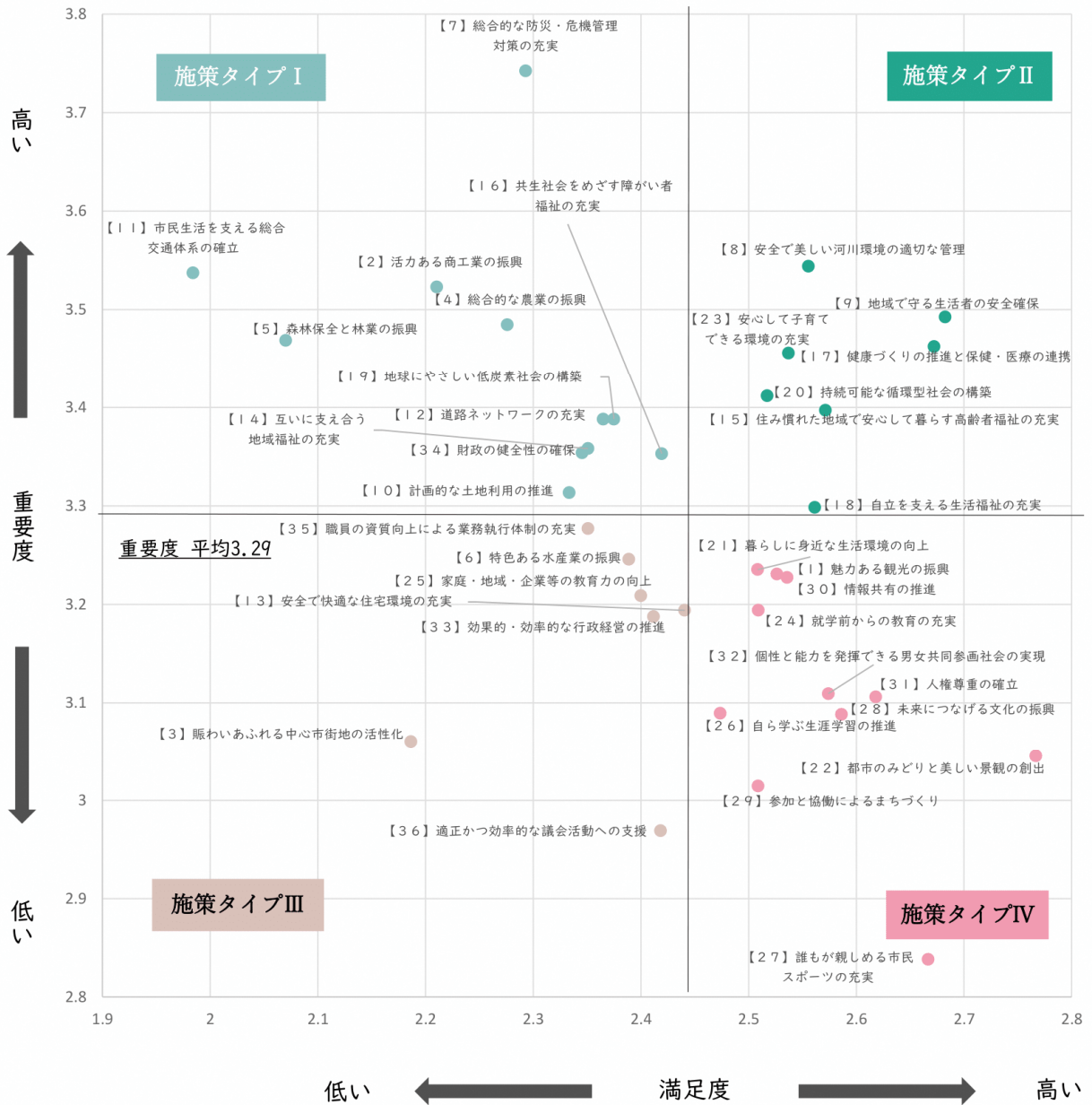
	重要度 得点		満足度 得点		施策 タイプ
	R3	順位	R3	順位	
【1】魅力ある観光の振興	3.22	(29)	2.61	(20)	Ⅲ
【2】活力ある商工業の振興	3.45	(13)	2.40	(34)	Ⅰ
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	3.20	(30)	2.26	(36)	Ⅲ
【4】総合的な農業の振興	3.45	(14)	2.56	(27)	Ⅰ
【5】森林保全と林業の振興	3.37	(19)	2.44	(33)	Ⅰ
【6】特色ある水産業の振興	3.30	(25)	2.64	(16)	Ⅳ
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	3.68	(1)	2.57	(26)	Ⅰ
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	3.60	(4)	2.70	(10)	Ⅱ
【9】地域で守る生活者の安全確保	3.61	(2)	2.77	(3)	Ⅱ
【10】計画的な土地利用の推進	3.28	(26)	2.52	(30)	Ⅲ
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	3.49	(8)	2.35	(35)	Ⅰ
【12】道路ネットワークの充実	3.42	(17)	2.59	(24)	Ⅰ
【13】安全で快適な住宅環境の充実	3.47	(10)	2.62	(19)	Ⅱ
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	3.30	(24)	2.68	(11)	Ⅳ
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	3.52	(6)	2.71	(7)	Ⅱ
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	3.48	(9)	2.66	(15)	Ⅱ
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	3.60	(3)	2.87	(1)	Ⅱ
【18】自立を支える生活福祉の充実	3.37	(18)	2.66	(14)	Ⅱ
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	3.43	(16)	2.50	(31)	Ⅰ
【20】持続可能な循環型社会の構築	3.50	(7)	2.67	(13)	Ⅱ
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	3.35	(20)	2.53	(29)	Ⅲ
【22】都市のみどりと美しい景観の創出	3.32	(22)	2.71	(9)	Ⅳ
【23】安心して子育てできる環境の充実	3.52	(5)	2.63	(17)	Ⅱ
【24】就学前からの教育の充実	3.33	(21)	2.59	(22)	Ⅲ
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	3.47	(11)	2.59	(23)	Ⅰ
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	3.14	(32)	2.71	(8)	Ⅳ
【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実	2.98	(36)	2.73	(6)	Ⅳ
【28】未来につなげる文化の振興	3.11	(34)	2.77	(4)	Ⅳ
【29】参加と協働によるまちづくり	3.03	(35)	2.75	(5)	Ⅳ
【30】情報共有の推進	3.26	(27)	2.68	(12)	Ⅳ
【31】人権尊重の確立	3.15	(31)	2.78	(2)	Ⅳ
【32】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	3.26	(28)	2.63	(18)	Ⅳ
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	3.31	(23)	2.55	(28)	Ⅲ
【34】財政の健全性の確保	3.46	(12)	2.49	(32)	Ⅰ
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	3.44	(15)	2.61	(21)	Ⅰ
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	3.13	(33)	2.59	(25)	Ⅲ
平均値	3.36		2.61		

（注）小数点第3位を四捨五入した結果、同位になったものに関しては四捨五入前の数値で順位付け・比較をしている。

・旧富士町

重要度は高いが満足度が低い施策タイプⅠには、満足度が最も低い「【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立」など11施策が該当している。

■ポートフォリオ分析（旧富士町）



■ポर्टフォリオ分析による施策項目の優先性（旧富士町）

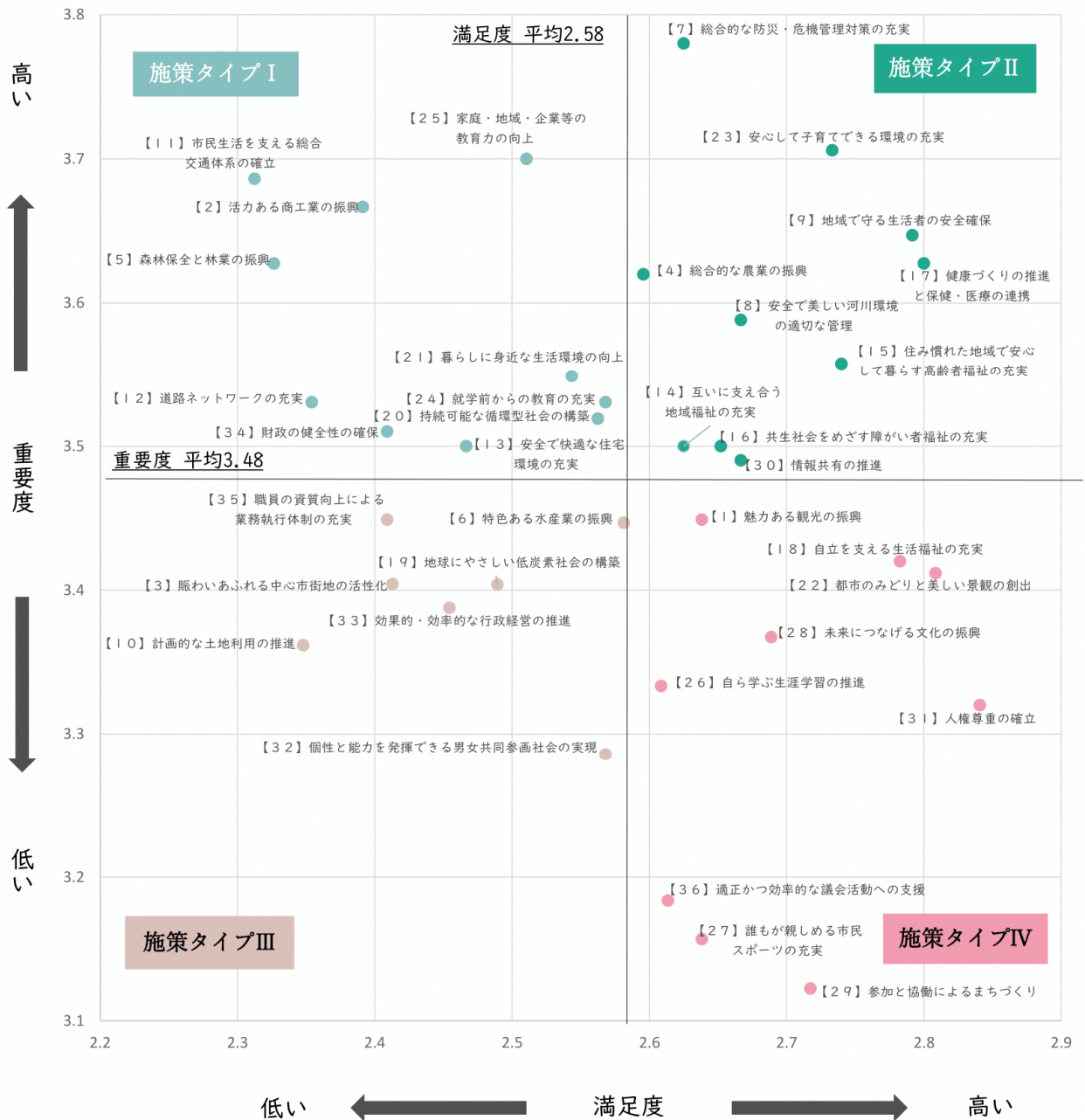
	重要度 得点		満足度 得点		施策 タイプ
	R3	順位	R3	順位	
【1】魅力ある観光の振興	3.23	(22)	2.53	(13)	IV
【2】活力ある商工業の振興	3.52	(4)	2.21	(33)	I
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	3.06	(32)	2.19	(34)	III
【4】総合的な農業の振興	3.48	(6)	2.28	(32)	I
【5】森林保全と林業の振興	3.47	(7)	2.07	(35)	I
【6】特色ある水産業の振興	3.25	(20)	2.39	(24)	III
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	3.74	(1)	2.29	(31)	I
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	3.54	(2)	2.56	(10)	II
【9】地域で守る生活者の安全確保	3.49	(5)	2.68	(2)	II
【10】計画的な土地利用の推進	3.31	(17)	2.33	(30)	I
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	3.54	(3)	1.98	(36)	I
【12】道路ネットワークの充実	3.39	(12)	2.37	(26)	I
【13】安全で快適な住宅環境の充実	3.19	(25)	2.44	(19)	III
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	3.36	(14)	2.35	(27)	I
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	3.40	(11)	2.57	(8)	II
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	3.35	(16)	2.42	(20)	I
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	3.46	(8)	2.67	(3)	II
【18】自立を支える生活福祉の充実	3.30	(18)	2.56	(9)	II
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	3.39	(12)	2.38	(25)	I
【20】持続可能な循環型社会の構築	3.41	(10)	2.52	(14)	II
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	3.24	(21)	2.51	(17)	IV
【22】都市のみどりと美しい景観の創出	3.05	(33)	2.77	(1)	IV
【23】安心して子育てできる環境の充実	3.46	(9)	2.54	(11)	II
【24】就学前からの教育の充実	3.19	(25)	2.51	(15)	IV
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	3.21	(24)	2.40	(23)	III
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	3.09	(30)	2.47	(18)	IV
【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実	2.84	(36)	2.67	(4)	IV
【28】未来につなげる文化の振興	3.09	(31)	2.59	(6)	IV
【29】参加と協働によるまちづくり	3.01	(34)	2.51	(16)	IV
【30】情報共有の推進	3.23	(23)	2.54	(12)	IV
【31】人権尊重の確立	3.11	(29)	2.62	(5)	IV
【32】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	3.11	(28)	2.57	(7)	IV
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	3.19	(27)	2.41	(22)	III
【34】財政の健全性の確保	3.35	(15)	2.35	(29)	I
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	3.28	(19)	2.35	(27)	III
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	2.97	(35)	2.42	(21)	III
平均値	3.29		2.44		

（注）小数点第3位を四捨五入した結果、同位になったものに関しては四捨五入前の数値で順位付け・比較をしている。

・旧三瀬村

重要度は高いが満足度が低い施策タイプⅠには、満足度が最も低い「【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立」など10施策が該当している。

■ポートフォリオ分析（旧三瀬村）



■ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（旧三瀬村）

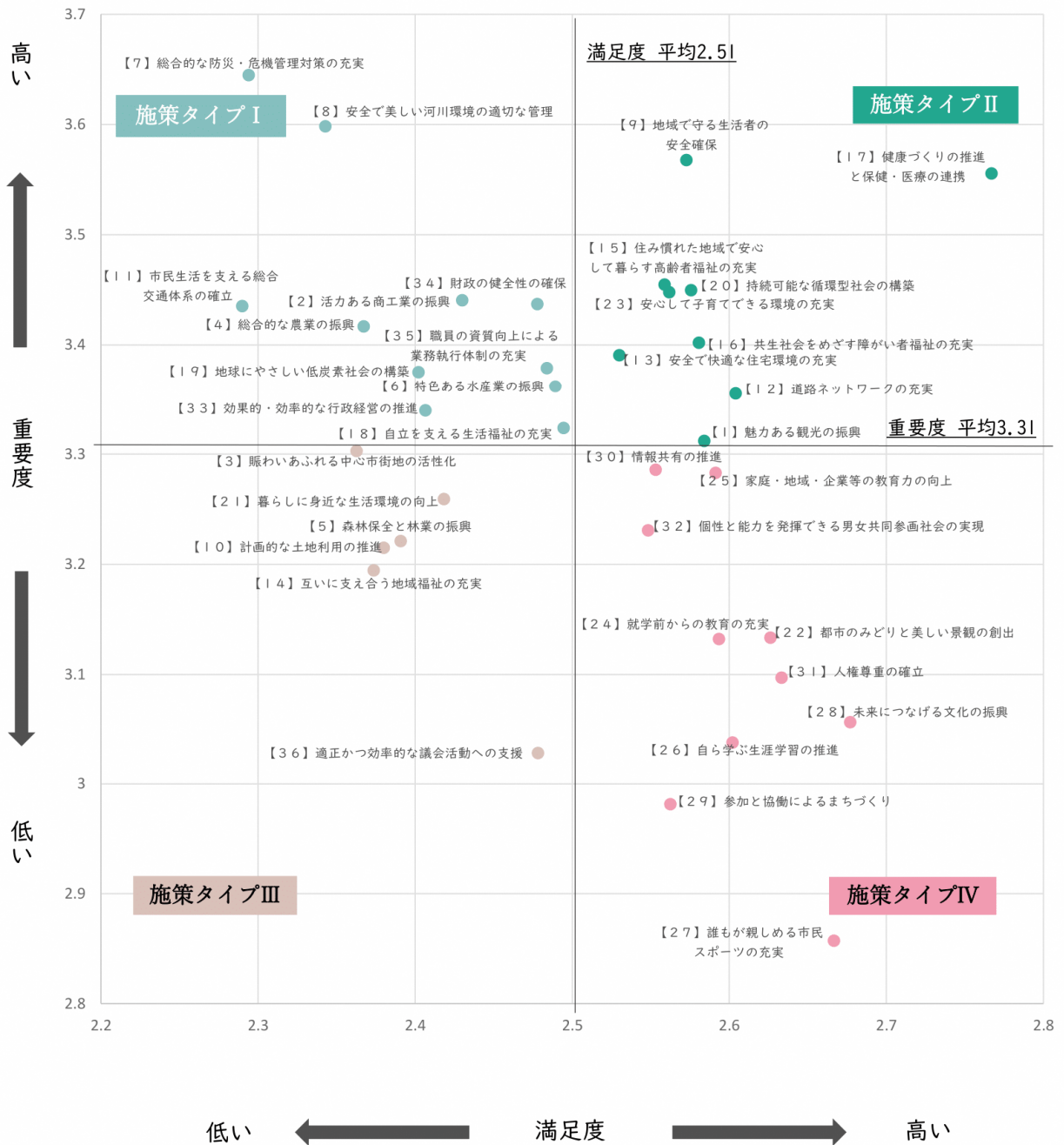
	重要度 得点		満足度 得点		施策 タイプ
	R3	順位	R3	順位	
【1】魅力ある観光の振興	3.45	(21)	2.64	(13)	IV
【2】活力ある商工業の振興	3.67	(5)	2.39	(32)	I
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	3.40	(26)	2.41	(29)	III
【4】総合的な農業の振興	3.62	(9)	2.60	(19)	II
【5】森林保全と林業の振興	3.63	(7)	2.33	(35)	I
【6】特色ある水産業の振興	3.45	(23)	2.58	(20)	III
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	3.78	(1)	2.63	(15)	II
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	3.59	(10)	2.67	(10)	II
【9】地域で守る生活者の安全確保	3.65	(6)	2.79	(4)	II
【10】計画的な土地利用の推進	3.36	(30)	2.35	(34)	III
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	3.69	(4)	2.31	(36)	I
【12】道路ネットワークの充実	3.53	(13)	2.35	(33)	I
【13】安全で快適な住宅環境の充実	3.50	(17)	2.47	(27)	I
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	3.50	(17)	2.63	(15)	II
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	3.56	(11)	2.74	(6)	II
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	3.50	(17)	2.65	(12)	II
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	3.63	(7)	2.80	(3)	II
【18】自立を支える生活福祉の充実	3.42	(24)	2.78	(5)	IV
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	3.40	(27)	2.49	(26)	III
【20】持続可能な循環型社会の構築	3.52	(15)	2.56	(23)	I
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	3.55	(12)	2.54	(24)	I
【22】都市のみどりと美しい景観の創出	3.41	(25)	2.81	(2)	IV
【23】安心して子育てできる環境の充実	3.71	(2)	2.73	(7)	II
【24】就学前からの教育の充実	3.53	(13)	2.57	(21)	I
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	3.70	(3)	2.51	(25)	I
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	3.33	(31)	2.61	(18)	IV
【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実	3.16	(35)	2.64	(13)	IV
【28】未来につなげる文化の振興	3.37	(29)	2.69	(9)	IV
【29】参加と協働によるまちづくり	3.12	(36)	2.72	(8)	IV
【30】情報共有の推進	3.49	(20)	2.67	(10)	II
【31】人権尊重の確立	3.32	(32)	2.84	(1)	IV
【32】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	3.29	(33)	2.57	(21)	III
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	3.39	(28)	2.45	(28)	III
【34】財政の健全性の確保	3.51	(16)	2.41	(30)	I
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	3.45	(21)	2.41	(30)	III
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	3.18	(34)	2.61	(17)	IV
平均値	3.48		2.58		

(注) 小数点第3位を四捨五入した結果、同位になったものに関しては四捨五入前の数値で順位付け・比較をしている。

・旧川副町

重要度は高いが満足度が低い施策タイプⅠには、満足度が最も低い「【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立」など11施策が該当している。

■ポートフォリオ分析（旧川副町）



■ポर्टフォリオ分析による施策項目の優先性（旧川副町）

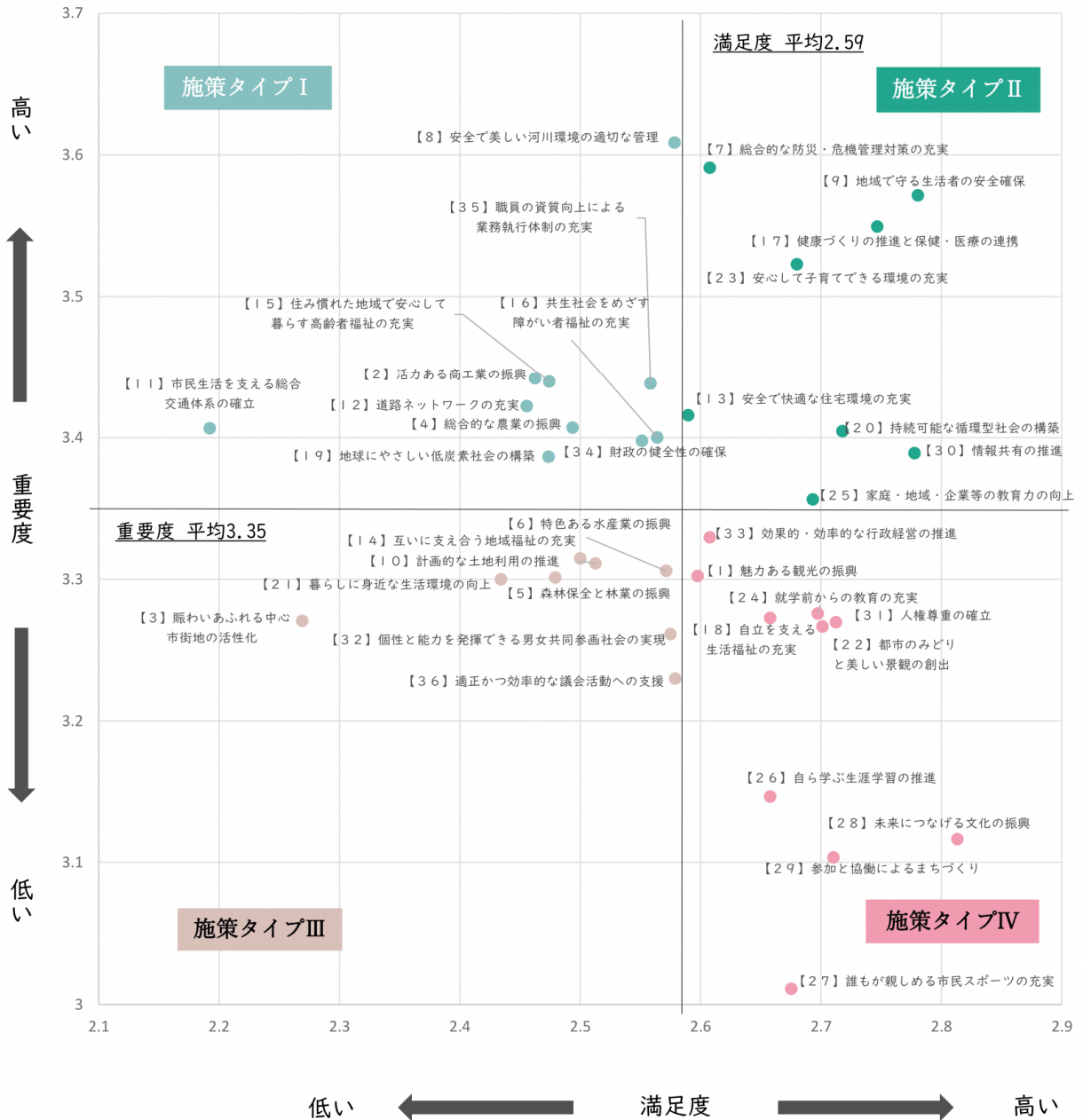
	重要度 得点		満足度 得点		施策 タイプ
	R3	順位	R3	順位	
【1】魅力ある観光の振興	3.31	(20)	2.58	(10)	II
【2】活力ある商工業の振興	3.44	(8)	2.43	(25)	I
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	3.30	(21)	2.36	(33)	III
【4】総合的な農業の振興	3.42	(11)	2.37	(32)	I
【5】森林保全と林業の振興	3.22	(26)	2.39	(29)	III
【6】特色ある水産業の振興	3.36	(16)	2.49	(21)	I
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	3.64	(1)	2.29	(35)	I
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	3.60	(2)	2.34	(34)	I
【9】地域で守る生活者の安全確保	3.57	(3)	2.57	(13)	II
【10】計画的な土地利用の推進	3.21	(27)	2.38	(30)	III
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	3.44	(10)	2.29	(36)	I
【12】道路ネットワークの充実	3.36	(17)	2.60	(6)	II
【13】安全で快適な住宅環境の充実	3.39	(13)	2.53	(19)	II
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	3.19	(28)	2.37	(31)	III
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	3.45	(5)	2.56	(16)	II
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	3.40	(12)	2.58	(11)	II
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	3.56	(4)	2.77	(1)	II
【18】自立を支える生活福祉の充実	3.32	(19)	2.49	(20)	I
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	3.38	(15)	2.40	(28)	I
【20】持続可能な循環型社会の構築	3.45	(6)	2.58	(12)	II
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	3.26	(24)	2.42	(26)	III
【22】都市のみどりと美しい景観の創出	3.13	(29)	2.63	(5)	IV
【23】安心して子育てできる環境の充実	3.45	(7)	2.56	(15)	II
【24】就学前からの教育の充実	3.13	(30)	2.59	(8)	IV
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	3.28	(23)	2.59	(9)	IV
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	3.04	(33)	2.60	(7)	IV
【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実	2.86	(36)	2.67	(3)	IV
【28】未来につなげる文化の振興	3.06	(32)	2.68	(2)	IV
【29】参加と協働によるまちづくり	2.98	(35)	2.56	(14)	IV
【30】情報共有の推進	3.29	(22)	2.55	(17)	IV
【31】人権尊重の確立	3.10	(31)	2.63	(4)	IV
【32】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	3.23	(25)	2.55	(18)	IV
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	3.34	(18)	2.41	(27)	I
【34】財政の健全性の確保	3.44	(9)	2.48	(24)	I
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	3.38	(14)	2.48	(22)	I
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	3.03	(34)	2.48	(23)	III
平均値	3.31		2.51		

（注）小数点第3位を四捨五入した結果、同位になったものに関しては四捨五入前の数値で順位付け・比較をしている。

・旧東与賀町

重要度は高いが満足度が低い施策タイプⅠには、満足度が最も低い「【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立」など10施策が該当している。

■ポートフォリオ分析（旧東与賀町）



■ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（旧東与賀町）

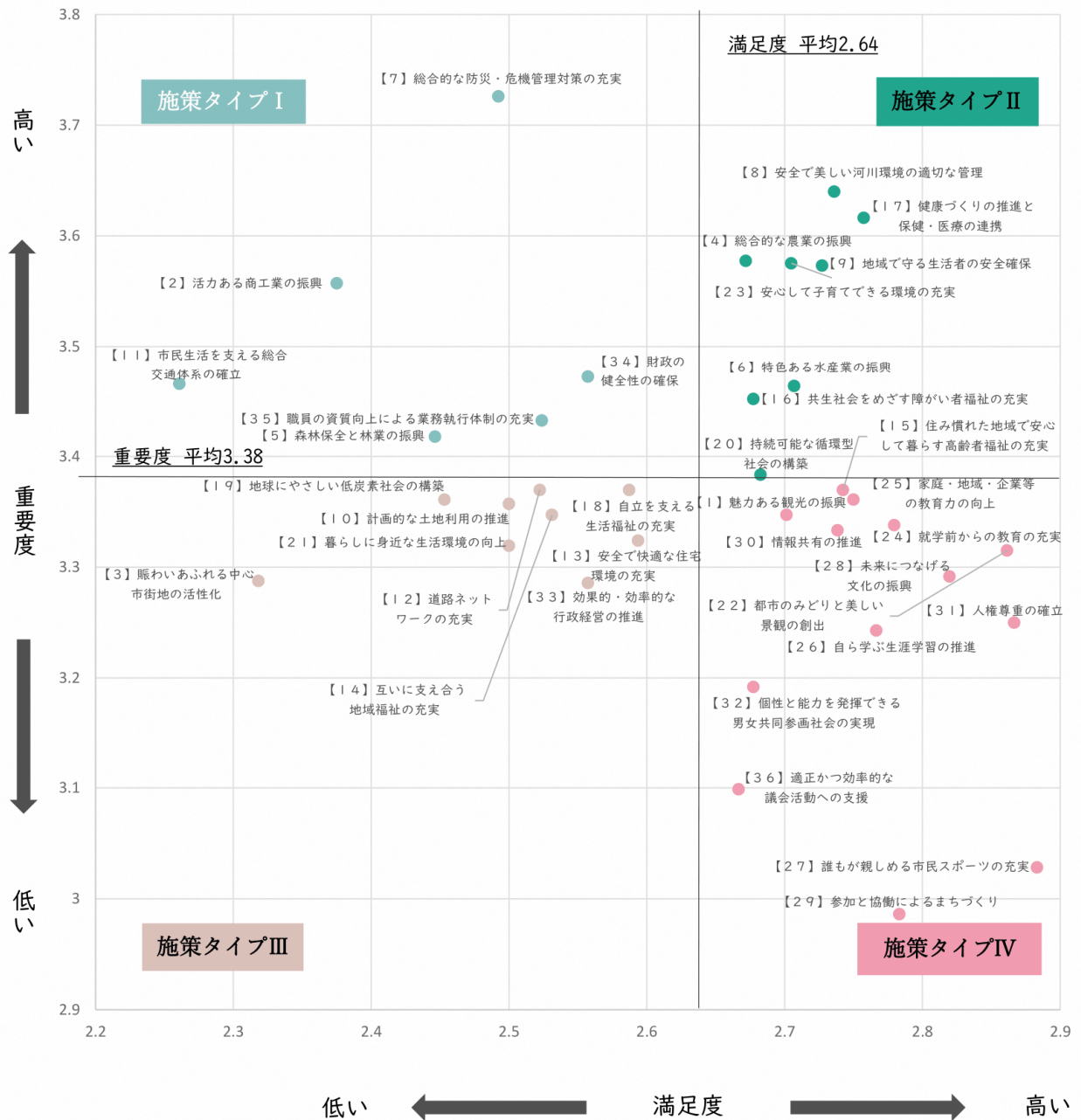
	重要度 得点		満足度 得点		施策 タイプ
	R3	順位	R3	順位	
【1】魅力ある観光の振興	3.30	(23)	2.60	(17)	IV
【2】活力ある商工業の振興	3.44	(6)	2.46	(32)	I
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	3.27	(28)	2.27	(35)	III
【4】総合的な農業の振興	3.41	(11)	2.49	(28)	I
【5】森林保全と林業の振興	3.30	(24)	2.48	(29)	III
【6】特色ある水産業の振興	3.31	(22)	2.57	(22)	III
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	3.59	(2)	2.61	(15)	II
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	3.61	(1)	2.58	(20)	I
【9】地域で守る生活者の安全確保	3.57	(3)	2.78	(2)	II
【10】計画的な土地利用の推進	3.31	(21)	2.51	(26)	III
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	3.41	(12)	2.19	(36)	I
【12】道路ネットワークの充実	3.42	(9)	2.46	(33)	I
【13】安全で快適な住宅環境の充実	3.42	(10)	2.59	(18)	II
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	3.31	(20)	2.50	(27)	III
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	3.44	(7)	2.47	(30)	I
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	3.40	(14)	2.56	(23)	I
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	3.55	(4)	2.75	(4)	II
【18】自立を支える生活福祉の充実	3.27	(27)	2.66	(13)	IV
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	3.39	(17)	2.47	(31)	I
【20】持続可能な循環型社会の構築	3.40	(13)	2.72	(5)	II
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	3.30	(25)	2.43	(34)	III
【22】都市のみどりと美しい景観の創出	3.27	(30)	2.70	(8)	IV
【23】安心して子育てできる環境の充実	3.52	(5)	2.68	(11)	II
【24】就学前からの教育の充実	3.28	(26)	2.70	(9)	IV
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	3.36	(18)	2.69	(10)	II
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	3.15	(33)	2.66	(13)	IV
【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実	3.01	(36)	2.68	(12)	IV
【28】未来につなげる文化の振興	3.12	(34)	2.81	(1)	IV
【29】参加と協働によるまちづくり	3.10	(35)	2.71	(7)	IV
【30】情報共有の推進	3.39	(16)	2.78	(3)	II
【31】人権尊重の確立	3.27	(29)	2.71	(6)	IV
【32】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	3.26	(31)	2.58	(21)	III
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	3.33	(19)	2.61	(15)	IV
【34】財政の健全性の確保	3.40	(15)	2.55	(25)	I
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	3.44	(8)	2.56	(24)	I
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	3.23	(32)	2.58	(19)	III
平均値	3.35		2.59		

（注）小数点第3位を四捨五入した結果、同位になったものに関しては四捨五入前の数値で順位付け・比較をしている。

・旧久保田町

重要度は高いが満足度が低い施策タイプⅠには、満足度が最も低い「【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立」など6施策が該当している。

■ポートフォリオ分析（旧久保田町）



■ポートフォリオ分析による施策項目の優先性（旧久保田町）

	重要度 得点		満足度 得点		施策 タイプ
	R3	順位	R3	順位	
【1】魅力ある観光の振興	3.35	(21)	2.70	(16)	IV
【2】活力ある商工業の振興	3.56	(7)	2.38	(34)	I
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	3.29	(29)	2.32	(35)	III
【4】総合的な農業の振興	3.58	(4)	2.67	(20)	II
【5】森林保全と林業の振興	3.42	(13)	2.45	(33)	I
【6】特色ある水産業の振興	3.46	(10)	2.71	(14)	II
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	3.73	(1)	2.49	(31)	I
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	3.64	(2)	2.74	(12)	II
【9】地域で守る生活者の安全確保	3.57	(6)	2.73	(13)	II
【10】計画的な土地利用の推進	3.36	(20)	2.50	(29)	III
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	3.47	(9)	2.26	(36)	I
【12】道路ネットワークの充実	3.37	(15)	2.52	(28)	III
【13】安全で快適な住宅環境の充実	3.32	(25)	2.59	(22)	III
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	3.35	(21)	2.53	(26)	III
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	3.37	(15)	2.74	(10)	IV
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	3.45	(11)	2.68	(18)	II
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	3.62	(3)	2.76	(8)	II
【18】自立を支える生活福祉の充実	3.37	(15)	2.59	(23)	III
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	3.36	(18)	2.45	(32)	III
【20】持続可能な循環型社会の構築	3.38	(14)	2.68	(17)	II
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	3.32	(26)	2.50	(29)	III
【22】都市のみどりと美しい景観の創出	3.32	(27)	2.86	(3)	IV
【23】安心して子育てできる環境の充実	3.58	(5)	2.70	(15)	II
【24】就学前からの教育の充実	3.34	(23)	2.78	(6)	IV
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	3.36	(18)	2.75	(9)	IV
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	3.24	(32)	2.77	(7)	IV
【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実	3.03	(35)	2.88	(1)	IV
【28】未来につなげる文化の振興	3.29	(28)	2.82	(4)	IV
【29】参加と協働によるまちづくり	2.99	(36)	2.78	(5)	IV
【30】情報共有の推進	3.33	(24)	2.74	(11)	IV
【31】人権尊重の確立	3.25	(31)	2.87	(2)	IV
【32】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現	3.19	(33)	2.68	(18)	IV
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	3.29	(30)	2.56	(24)	III
【34】財政の健全性の確保	3.47	(8)	2.56	(24)	I
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	3.43	(12)	2.52	(27)	I
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	3.10	(34)	2.67	(21)	IV
平均値	3.38		2.64		

（注）小数点第3位を四捨五入した結果、同位になったものに関しては四捨五入前の数値で順位付け・比較をしている。

(4) 施策項目の対策必要度

施策項目の優先性を検討する資料として、対策必要度を算出した。「現状の不満度」と「重要度」を乗じた値の大小により、各項目の対策優先度を求めて優先順位をつけた。

「不満度」は、ポートフォリオ分析の「満足度」が低いほど得点が高くなるようにした。

「重要度」はポートフォリオ分析と同様の値を用いた。この2つの値を乗じた値が大きいものを「対策必要度」とし、不満や重要度の大きい項目の値が高くなるように設定した。

■対策必要度の算出方法

対策必要度	=	不満度		×	重要度	
		満足している	1点		重要である	4点
		どちらかといえば満足	2点		ある程度重要である	3点
		どちらかといえば不満	3点		あまり重要ではない	2点
		不満である	4点		重要ではない	1点

対策必要度の高い施策としては、「【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化」、「【11】市民生活を支える総合交通体系の確立」、「【2】活力ある商工業の振興」、「【7】総合的な防災・危機管理対策の充実」、「【34】財政の健全性の確保」が上位5施策となっている。

一方、対策必要度の低い施策項目をみると、「【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実」、「【29】参加と協働によるまちづくり」、「【28】未来につなげる文化の振興」、「【26】自ら学ぶ生涯学習の推進」、「【31】人権尊重の確立」が下位5施策となっている。

■ 対策必要度の推移（佐賀市全体）

施策目標	対策必要度		0.00	2.00	4.00	6.00	8.00	10.00
	得点	順位						
【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化	9.51	(1)						
【11】市民生活を支える総合交通体系の確立	9.41	(2)						
【2】活力ある商工業の振興	9.40	(3)						
【7】総合的な防災・危機管理対策の充実	9.20	(4)						
【34】財政の健全性の確保	8.79	(5)						
【19】地球にやさしい低炭素社会の構築	8.64	(6)						
【4】総合的な農業の振興	8.62	(7)						
【8】安全で美しい河川環境の適切な管理	8.62	(8)						
【5】森林保全と林業の振興	8.52	(9)						
【10】計画的な土地利用の推進	8.49	(10)						
【16】共生社会をめざす障がい者福祉の充実	8.49	(11)						
【35】職員の資質向上による業務執行体制の充実	8.46	(12)						
【12】道路ネットワークの充実	8.38	(13)						
【15】住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	8.31	(14)						
【13】安全で快適な住宅環境の充実	8.30	(15)						
【21】暮らしに身近な生活環境の向上	8.28	(16)						
【33】効果的・効率的な行政経営の推進	8.28	(17)						
【6】特色ある水産業の振興	8.26	(18)						
【9】地域で守る生活者の安全確保	8.21	(19)						
【20】持続可能な循環型社会の構築	8.17	(20)						
【14】互いに支え合う地域福祉の充実	8.17	(21)						
【18】自立を支える生活福祉の充実	8.16	(22)						
【23】安心して子育てできる環境の充実	8.15	(23)						
【25】家庭・地域・企業等の教育力の向上	8.09	(24)						
【1】魅力ある観光の振興	8.04	(25)						
【30】情報共有の推進	7.96	(26)						
【24】就学前からの教育の充実	7.85	(27)						
【17】健康づくりの推進と保健・医療の連携	7.84	(28)						
【32】個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現	7.84	(29)						
【36】適正かつ効率的な議会活動への支援	7.63	(30)						
【22】都市のみどりと美しい景観の創出	7.38	(31)						
【31】人権尊重の確立	7.31	(32)						
【26】自ら学ぶ生涯学習の推進	7.26	(33)						
【28】未来につなげる文化の振興	7.22	(34)						
【29】参加と協働によるまちづくり	7.09	(35)						
【27】誰もが親しめる市民スポーツの充実	6.83	(36)						
平均値	8.20							

対策必要度の高い施策上位 10 施策を地区別で見ると、旧川副町を除くすべての地区で「【3】賑わいあふれる中心市街地の活性化」もしくは「【11】市民生活を支える総合交通体系の確立」が 2 位以内にあげられている。

なお、旧川副町では「【7】総合的な防災・危機管理対策の充実」が 1 位、「【8】安全で美しい河川環境の適切な管理」が 2 位となっている。

■旧市町村ごとの施策項目の上位 10 位

	佐賀市全体	旧佐賀市	旧諸富町	旧大和町	旧富士町	旧三瀬村	旧川副町	旧東与賀町	旧久保田町
1 位	【3】 賑わいあふれる中心市街地の活性化	【3】 賑わいあふれる中心市街地の活性化	【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立	【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立	【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立	【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立	【7】 総合的な防災・危機管理対策の充実	【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立	【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立
2 位	【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立	【2】 活力ある商工業の振興	【7】 総合的な防災・危機管理対策の充実	【2】 活力ある商工業の振興	【5】 森林保全と林業の振興	【5】 森林保全と林業の振興	【8】 安全で美しい河川環境の適切な管理	【3】 賑わいあふれる中心市街地の活性化	【7】 総合的な防災・危機管理対策の充実
3 位	【2】 活力ある商工業の振興	【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立	【2】 活力ある商工業の振興	【7】 総合的な防災・危機管理対策の充実	【7】 総合的な防災・危機管理対策の充実	【2】 活力ある商工業の振興	【11】 市民生活を支える総合交通体系の確立	【8】 安全で美しい河川環境の適切な管理	【2】 活力ある商工業の振興
4 位	【7】 総合的な防災・危機管理対策の充実	【7】 総合的な防災・危機管理対策の充実	【35】 職員の資質向上による業務執行体制の充実	【3】 賑わいあふれる中心市街地の活性化	【2】 活力ある商工業の振興	【12】 道路ネットワークの充実	【4】 総合的な農業の振興	【2】 活力ある商工業の振興	【3】 賑わいあふれる中心市街地の活性化
5 位	【34】 財政の健全性の確保	【34】 財政の健全性の確保	【10】 計画的な土地利用の推進	【34】 財政の健全性の確保	【4】 総合的な農業の振興	【25】 家庭・地域・企業等の教育力の向上	【2】 活力ある商工業の振興	【12】 道路ネットワークの充実	【5】 森林保全と林業の振興
6 位	【19】 地球にやさしい低炭素社会の構築	【19】 地球にやさしい低炭素社会の構築	【21】 暮らしに身近な生活環境の向上	【5】 森林保全と林業の振興	【34】 財政の健全性の確保	【34】 財政の健全性の確保	【19】 地球にやさしい低炭素社会の構築	【15】 住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実	【19】 地球にやさしい低炭素社会の構築
7 位	【4】 総合的な農業の振興	【4】 総合的な農業の振興	【8】 安全で美しい河川環境の適切な管理	【19】 地球にやさしい低炭素社会の構築	【12】 道路ネットワークの充実	【7】 総合的な防災・危機管理対策の充実	【3】 賑わいあふれる中心市街地の活性化	【7】 総合的な防災・危機管理対策の充実	【35】 職員の資質向上による業務執行体制の充実
8 位	【8】 安全で美しい河川環境の適切な管理	【8】 安全で美しい河川環境の適切な管理	【34】 財政の健全性の確保	【4】 総合的な農業の振興	【14】 互いに支え合う地域福祉の充実	【35】 職員の資質向上による業務執行体制の充実	【9】 地域で守る生活者の安全確保	【19】 地球にやさしい低炭素社会の構築	【34】 財政の健全性の確保
9 位	【5】 森林保全と林業の振興	【16】 共生社会をめざす障がい者福祉の充実	【16】 共生社会をめざす障がい者福祉の充実	【23】 安心して子育てできる環境の充実	【19】 地球にやさしい低炭素社会の構築	【10】 計画的な土地利用の推進	【34】 財政の健全性の確保	【4】 総合的な農業の振興	【10】 計画的な土地利用の推進
10 位	【10】 計画的な土地利用の推進	【10】 計画的な土地利用の推進	【13】 安全で快適な住宅環境の充実	【25】 家庭・地域・企業等の教育力の向上	【10】 計画的な土地利用の推進	【13】 安全で快適な住宅環境の充実	【33】 効果的・効率的な行政経営の推進	【21】 暮らしに身近な生活環境の向上	【4】 総合的な農業の振興

8.1日にかかる家事(育児・介護を含む)の時間について

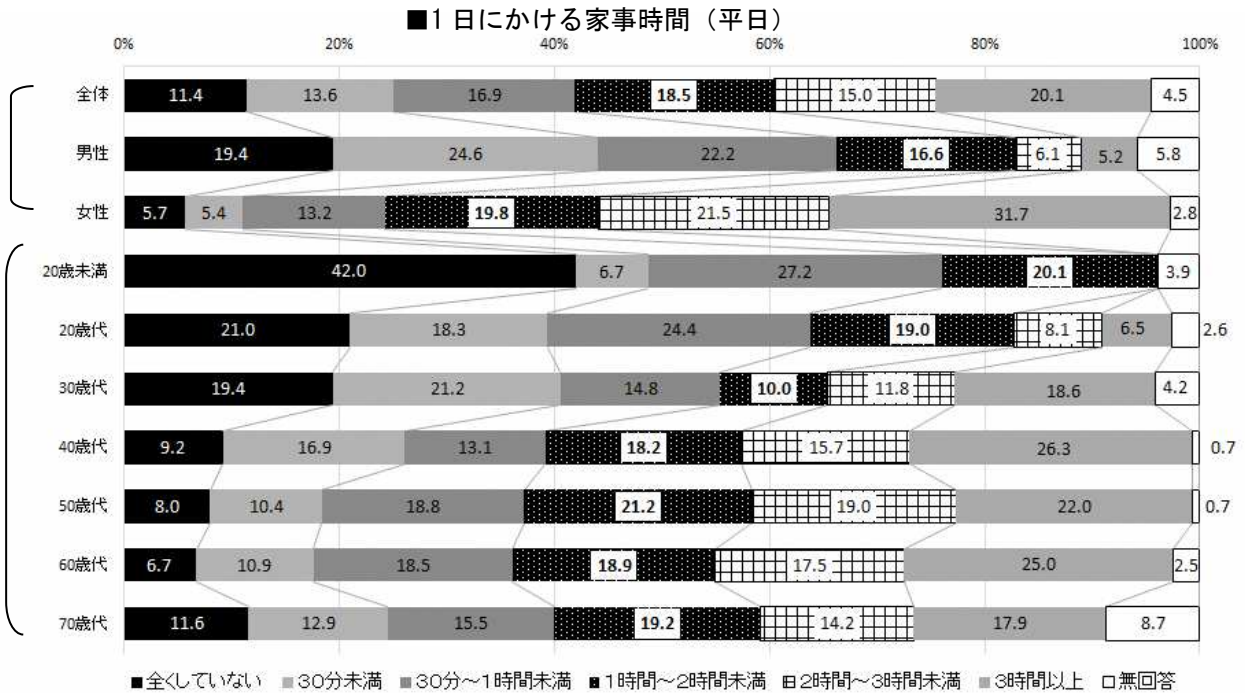
1日にかかる家事(育児・介護を含む)の時間についてたずねた。

(1) 平日にかかる家事時間

全体で見ると、3時間以上が他の選択肢に比べてわずかに割合が高いものの、ほとんど差が見られなかった。

性別で見ると、男性では「全くしていない」と答えた割合が女性の割合よりも3倍以上高く、女性では「3時間以上」と答えた割合が男性の割合の6倍以上高くなっている。

年齢別で見ると、該当者が少ないが20歳未満で「全くしていない」と答える人が多く、「全くしていない」と「30分未満」を合わせるとおよそ半数に及ぶ。



		合計	全くしていない	30分未満	30分~1時間未満	1時間~2時間未満	2時間~3時間未満	3時間以上	無回答
全体		11,474	1,312	1,564	1,942	2,122	1,716	2,304	512
		100.0%	11.4%	13.6%	16.9%	18.5%	15.0%	20.1%	4.5%
性別	男性	4,747	923	1,168	1,053	790	291	245	277
		100.0%	19.4%	24.6%	22.2%	16.6%	6.1%	5.2%	5.8%
	女性	6,417	364	349	847	1,267	1,379	2,033	178
	100.0%	5.7%	5.4%	13.2%	19.8%	21.5%	31.7%	2.8%	
	無回答	310	26	47	42	64	46	27	57
		100.0%	8.3%	15.3%	13.6%	20.7%	14.8%	8.8%	18.5%
年齢別	20歳未満	148	62	10	40	30	-	-	6
		100.0%	42.0%	6.7%	27.2%	20.1%	-	-	3.9%
	20歳代	761	160	139	186	145	62	49	20
		100.0%	21.0%	18.3%	24.4%	19.0%	8.1%	6.5%	2.6%
	30歳代	1,045	203	221	154	105	123	195	44
		100.0%	19.4%	21.2%	14.8%	10.0%	11.8%	18.6%	4.2%
	40歳代	1,484	136	251	194	270	234	390	10
		100.0%	9.2%	16.9%	13.1%	18.2%	15.7%	26.3%	0.7%
	50歳代	1,493	119	155	281	317	283	328	10
	100.0%	8.0%	10.4%	18.8%	21.2%	19.0%	22.0%	0.7%	
60歳代	2,480	165	270	458	469	434	621	62	
	100.0%	6.7%	10.9%	18.5%	18.9%	17.5%	25.0%	2.5%	
70歳以上	4,023	467	517	623	771	572	722	351	
	100.0%	11.6%	12.9%	15.5%	19.2%	14.2%	17.9%	8.7%	
	無回答	40	-	-	7	16	8	-	10
	100.0%	-	-	16.8%	39.2%	19.4%	-	24.7%	

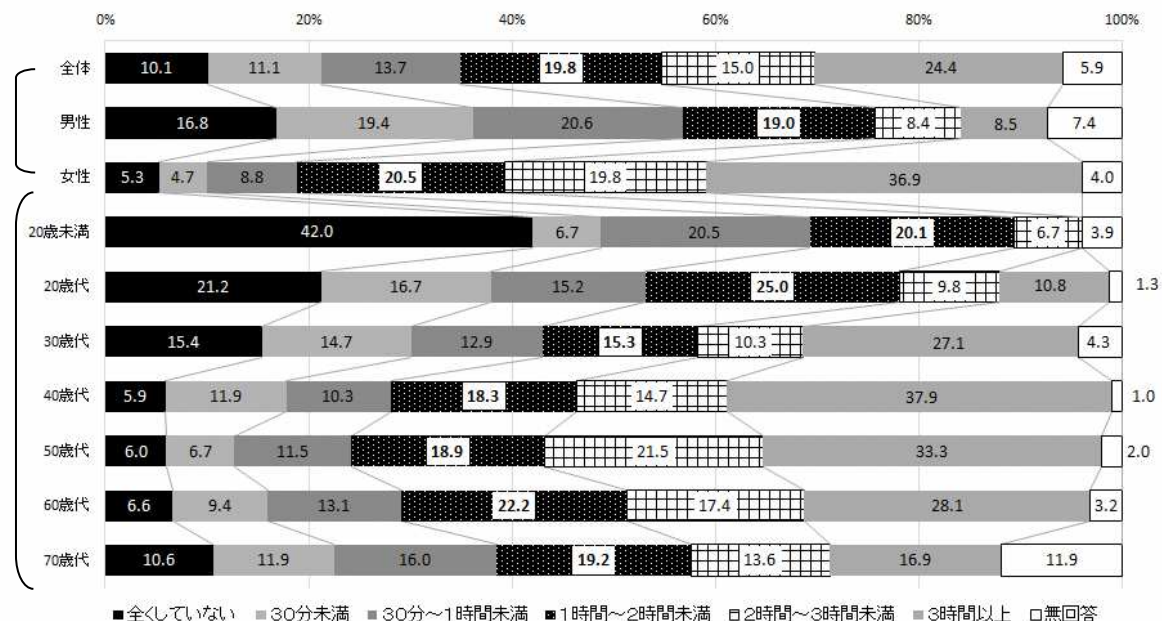
(2) 休日における家事時間

全体で見ると、3時間以上が他の選択肢に比べてわずかに割合が高いものの、ほとんど差が見られなかった。

性別で見ると、男性では「全くしていない」と答えた割合が女性の割合よりも3倍以上高く、女性では「3時間以上」と答えた割合が男性の割合の4倍以上高くなっている。

年齢別で見ると該当者が少ないが20歳未満では「全くしていない」と答える人が多く、40歳代では「3時間以上」と答えた人が比較的多い。

■1日にかかる家事時間(休日)



	合計	全くしていない	30分未満	30分~1時間	1時間~2時間	2時間~3時間	3時間以上	無回答		
									割合	割合
全体	11,474	1,153	1,276	1,576	2,278	1,719	2,799	672		
		100.0%	10.1%	11.1%	13.7%	19.8%	15.0%	24.4%	5.9%	
性別	男性	4,747	797	920	976	903	398	403	351	
			100.0%	16.8%	19.4%	20.6%	19.0%	8.4%	8.5%	7.4%
	女性	6,417	341	303	564	1,318	1,271	2,366	254	
			100.0%	5.3%	4.7%	8.8%	20.5%	19.8%	36.9%	4.0%
年齢別	無回答	310	16	53	36	57	50	30	67	
			100.0%	5.1%	17.2%	11.8%	18.3%	16.3%	9.8%	21.7%
	20歳未満	148	62	10	30	30	10	-	6	
			100.0%	42.0%	6.7%	20.5%	20.1%	6.7%	-	3.9%
	20歳代	761	161	127	116	190	75	82	10	
			100.0%	21.2%	16.7%	15.2%	25.0%	9.8%	10.8%	1.3%
	30歳代	1,045	161	153	135	160	108	283	45	
			100.0%	15.4%	14.7%	12.9%	15.3%	10.3%	27.1%	4.3%
	40歳代	1,484	88	176	153	272	218	562	15	
			100.0%	5.9%	11.9%	10.3%	18.3%	14.7%	37.9%	1.0%
50歳代	1,493	89	100	172	282	322	497	30		
		100.0%	6.0%	6.7%	11.5%	18.9%	21.5%	33.3%	2.0%	
60歳代	2,480	164	232	326	550	432	696	79		
		100.0%	6.6%	9.4%	13.1%	22.2%	17.4%	28.1%	3.2%	
70歳以上	4,023	427	478	644	770	547	679	478		
		100.0%	10.6%	11.9%	16.0%	19.2%	13.6%	16.9%	11.9%	
無回答	40	-	-	-	22	8	-	10		
		100.0%	-	-	-	56.0%	19.4%	-	24.7%	

9. 新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症についてたずねた。

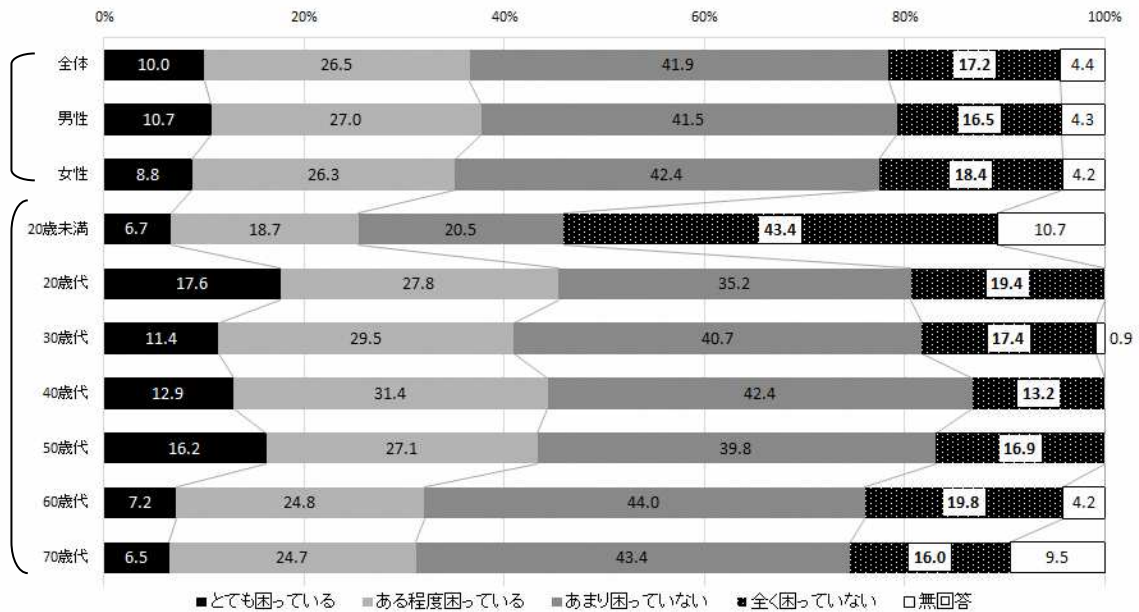
(1) 仕事や収入について

全体で見ると、「とても困っている」(10.0%)と「ある程度困っている」(26.5%)を合わせた『困っている』(36.5%)人は3割強となっている。

性別で見ると、男女とも全体結果とほぼ同様の回答傾向を示している。

年齢別で見ると20歳代～50歳代では「とても困っている」と「ある程度困っている」を合わせた『困っている』人が5割弱を占めているのに対し、該当者が少ないが20歳未満、60歳代、70歳代では2～3割に留まっている。

■仕事や収入について



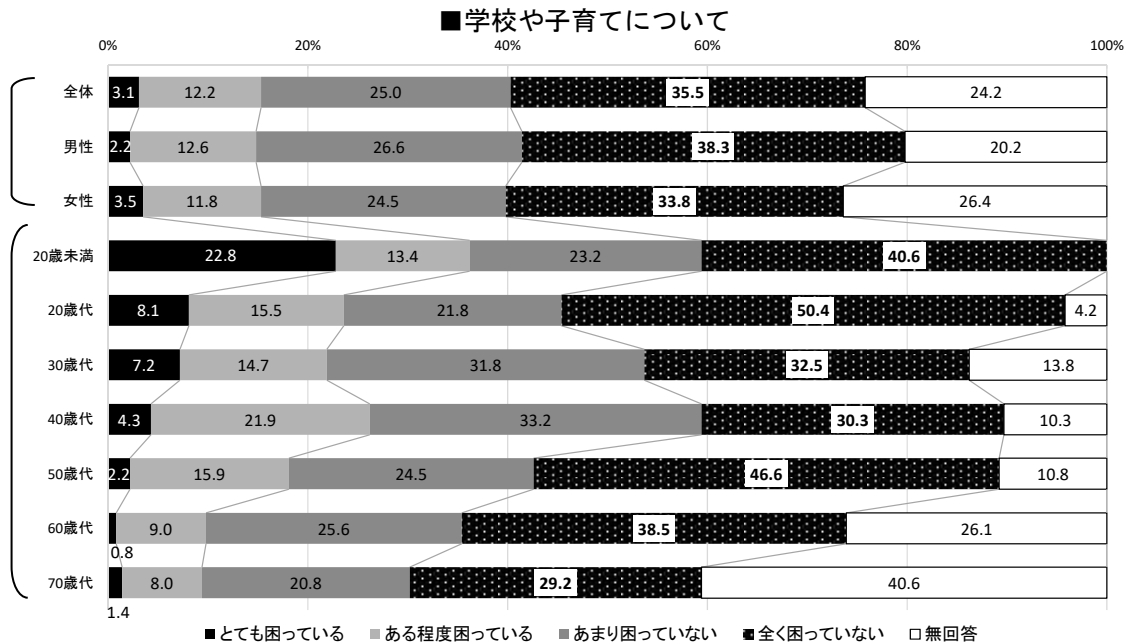
		合計	とても困っている	ある程度困っている	あまり困っていない	全く困っていない	無回答
全体		11,474	1,144	3,038	4,805	1,976	510
		100.0%	10.0%	26.5%	41.9%	17.2%	4.4%
性別	男性	4,747	507	1,282	1,970	784	205
		100.0%	10.7%	27.0%	41.5%	16.5%	4.3%
	女性	6,417	562	1,687	2,719	1,182	267
		100.0%	8.8%	26.3%	42.4%	18.4%	4.2%
無回答		310	76	69	116	10	38
		100.0%	24.6%	22.4%	37.5%	3.2%	12.4%
年齢別	20歳未満	148	10	28	30	64	16
		100.0%	6.7%	18.7%	20.5%	43.4%	10.7%
	20歳代	761	134	212	268	148	-
		100.0%	17.6%	27.8%	35.2%	19.4%	-
	30歳代	1,045	119	308	425	182	10
		100.0%	11.4%	29.5%	40.7%	17.4%	0.9%
	40歳代	1,484	192	466	630	196	-
		100.0%	12.9%	31.4%	42.4%	13.2%	-
	50歳代	1,493	242	405	594	252	-
		100.0%	16.2%	27.1%	39.8%	16.9%	-
60歳代	2,480	178	616	1,092	490	104	
	100.0%	7.2%	24.8%	44.0%	19.8%	4.2%	
70歳以上	4,023	260	994	1,746	643	380	
	100.0%	6.5%	24.7%	43.4%	16.0%	9.5%	
無回答		40	10	10	20	-	-
		100.0%	24.7%	24.7%	50.7%	-	-

(2) 学校や子育てについて

全体で見ると、「全く困っていない」(35.5%)の割合が最も高く、次いで「あまり困っていない」(25.0%)、「ある程度困っている」(12.2%)、「とても困っている」(3.1%)となっている。

性別で見ると、男女とも全体結果とほぼ同様の回答傾向を示している。

年齢別で見ると該当者が少ないが20歳未満で「とても困っている」(22.8%)と答えた人が多く、比較的年齢が低いほど「とても困っている」と回答する傾向にある。



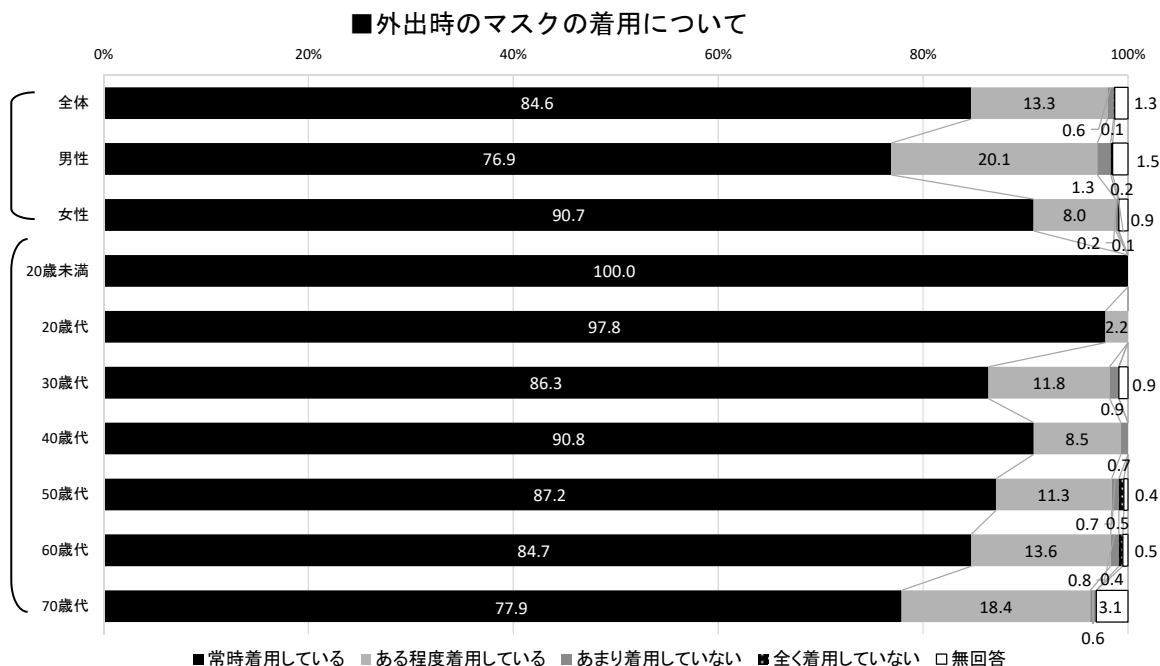
		合計	とても困っている	ある程度困っている	あまり困っていない	全く困っていない	無回答
全体		11,474	352	1,395	2,871	4,073	2,782
		100.0%	3.1%	12.2%	25.0%	35.5%	24.2%
性別	男性	4,747	105	600	1,265	1,817	960
		100.0%	2.2%	12.6%	26.6%	38.3%	20.2%
	女性	6,417	226	755	1,573	2,171	1,693
		100.0%	3.5%	11.8%	24.5%	33.8%	26.4%
無回答		310	22	40	33	85	129
		100.0%	7.0%	13.1%	10.6%	27.6%	41.7%
年齢別	20歳未満	148	34	20	34	60	-
		100.0%	22.8%	13.4%	23.2%	40.6%	-
	20歳代	761	61	118	166	384	32
		100.0%	8.1%	15.5%	21.8%	50.4%	4.2%
	30歳代	1,045	75	154	333	340	144
		100.0%	7.2%	14.7%	31.8%	32.5%	13.8%
	40歳代	1,484	64	324	492	450	153
		100.0%	4.3%	21.9%	33.2%	30.3%	10.3%
	50歳代	1,493	32	237	366	696	161
	100.0%	2.2%	15.9%	24.5%	46.6%	10.8%	
60歳代	2,480	20	223	635	955	647	
	100.0%	0.8%	9.0%	25.6%	38.5%	26.1%	
70歳以上	4,023	56	320	838	1,175	1,634	
	100.0%	1.4%	8.0%	20.8%	29.2%	40.6%	
無回答		40	10	-	6	14	11
		100.0%	24.7%	-	14.5%	34.3%	26.5%

(3) 外出時のマスクの着用について

全体で見ると、「常時着用している」(84.6%)の割合が最も高く、次いで「ある程度着用している」(13.3%)、「あまり着用していない」(0.6%)、「全く着用していない」(0.1%)となっている。

性別で見ると男性では「ある程度着用している」と答えた割合が女性の割合よりも2倍以上、高くなっている。

年齢別で見ると、70歳代で「ある程度着用している」(18.4%)と回答した人が多いものの、どの年齢においても「常時着用している」と「ある程度着用している」を合わせた『着用している』と答えた割合が9割強を占めており、該当者が少ないが20歳未満では「常時着用している」が100.0%となっている。



		合計	常時着用している	ある程度着用している	あまり着用していない	全く着用していない	無回答
全体		11,474	9,704	1,525	74	17	154
		100.0%	84.6%	13.3%	0.6%	0.1%	1.3%
性別	男性	4,747	3,651	954	62	10	71
		100.0%	76.9%	20.1%	1.3%	0.2%	1.5%
	女性	6,417	5,823	516	12	7	59
		100.0%	90.7%	8.0%	0.2%	0.1%	0.9%
	無回答	310	231	55	-	-	24
		100.0%	74.5%	17.9%	-	-	7.6%
年齢別	20歳未満	148	148	-	-	-	-
		100.0%	100.0%	-	-	-	-
	20歳代	761	744	17	-	-	-
		100.0%	97.8%	2.2%	-	-	-
	30歳代	1,045	902	123	10	-	10
		100.0%	86.3%	11.8%	0.9%	-	0.9%
	40歳代	1,484	1,348	126	10	-	-
		100.0%	90.8%	8.5%	0.7%	-	-
	50歳代	1,493	1,302	169	10	7	6
		100.0%	87.2%	11.3%	0.7%	0.5%	0.4%
60歳代	2,480	2,101	338	19	10	12	
	100.0%	84.7%	13.6%	0.8%	0.4%	0.5%	
70歳以上	4,023	3,133	738	25	-	126	
	100.0%	77.9%	18.4%	0.6%	-	3.1%	
	無回答	40	26	14	-	-	-
		100.0%	65.7%	34.3%	-	-	-

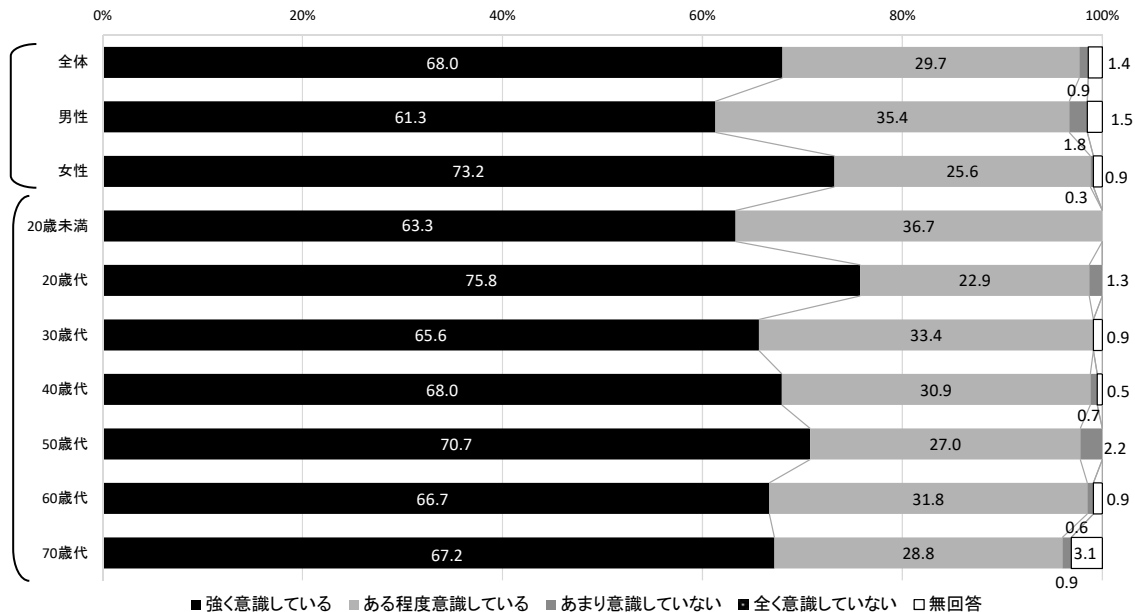
(4) 3密対策、衛生（消毒、手洗いなど）意識について

全体で見ると、「強く意識している」(68.0%)の割合が最も高く、次いで「ある程度意識している」(29.7%)、「あまり意識していない」(0.9%)となっている。

性別で見ると、女性では「強く意識している」と答えた割合が男性よりも11.9ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、20歳代で「強く意識している」(75.8%)と回答した人が多いものの、どの年代においても「強く意識している」と「ある程度意識している」を合わせた『意識している』と答えた割合が9割強を占めており、該当者が少ないが20歳未満では『意識している』が100.0%となっている。

■ 3密対策、衛生（消毒、手洗いなど）意識について



■ 強く意識している ■ ある程度意識している ■ あまり意識していない ■ 全く意識していない □ 無回答

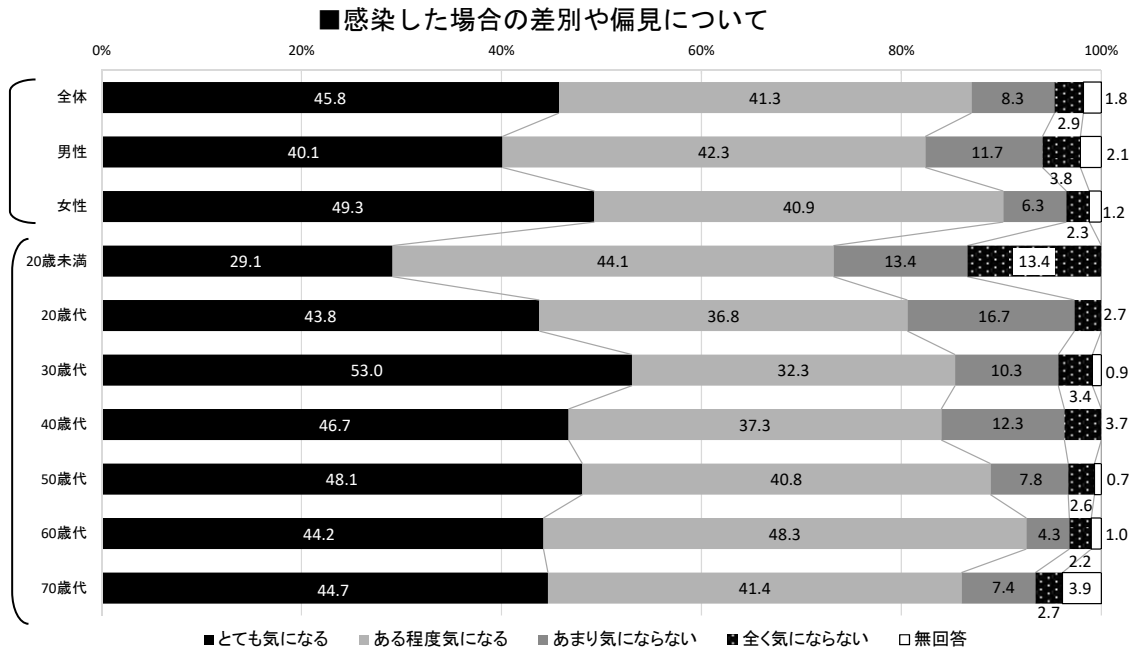
		合計	強く意識している	ある程度意識している	あまり意識していない	全く意識していない	無回答
全体		11,474	7,801	3,406	103	-	165
		100.0%	68.0%	29.7%	0.9%	-	1.4%
性別	男性	4,747	2,910	1,682	84	-	71
		100.0%	61.3%	35.4%	1.8%	-	1.5%
	女性	6,417	4,696	1,642	19	-	60
		100.0%	73.2%	25.6%	0.3%	-	0.9%
無回答		310	195	81	-	-	34
		100.0%	62.9%	26.3%	-	-	10.8%
年齢別	20歳未満	148	93	54	-	-	-
		100.0%	63.3%	36.7%	-	-	-
	20歳代	761	577	174	10	-	-
		100.0%	75.8%	22.9%	1.3%	-	-
	30歳代	1,045	686	349	-	-	10
		100.0%	65.6%	33.4%	-	-	0.9%
	40歳代	1,484	1,009	458	10	-	7
		100.0%	68.0%	30.9%	0.7%	-	0.5%
	50歳代	1,493	1,056	403	34	-	-
		100.0%	70.7%	27.0%	2.2%	-	-
	60歳代	2,480	1,654	789	15	-	22
		100.0%	66.7%	31.8%	0.6%	-	0.9%
70歳以上	4,023	2,705	1,157	35	-	126	
	100.0%	67.2%	28.8%	0.9%	-	3.1%	
無回答		40	21	20	-	-	-
		100.0%	51.1%	48.9%	-	-	-

(5) 感染した場合の差別や偏見について

全体で見ると、「とても気になる」(45.8%)の割合が最も高く、次いで「ある程度気になる」(41.3%)、「あまり気にならない」(8.3%)、「全く気にならない」(2.9%)となっている。

性別で見ると、女性では「とても気になる」と答えた割合が男性よりも9.2ポイント高い一方で、「あまり気にならない」と答えた割合は男性よりも5.4ポイント低くなっている。

年齢別で見ると、60歳代で「とても気になる」(44.2%)と「ある程度気になる」(48.3%)を合わせた『気になる』の割合が92.5%と高くなっている。



		合計	とても 気になる	ある 程度 気にな る	あ ま り 気 に な ら ない	い 全 く 気 に な ら な い	無 回 答
全体		11,474	5,250	4,734	956	331	203
性別	男性	4,747	1,905	2,007	554	183	99
		100.0%	40.1%	42.3%	11.7%	3.8%	2.1%
	女性	6,417	3,165	2,622	402	149	80
		100.0%	49.3%	40.9%	6.3%	2.3%	1.2%
無回答		310	181	105	-	-	24
		100.0%	58.4%	33.9%	-	-	7.6%
年齢別	20歳未満	148	43	65	20	20	-
		100.0%	29.1%	44.1%	13.4%	13.4%	-
	20歳代	761	333	280	127	21	-
		100.0%	43.8%	36.8%	16.7%	2.7%	-
	30歳代	1,045	553	338	108	36	10
		100.0%	53.0%	32.3%	10.3%	3.4%	0.9%
	40歳代	1,484	693	554	183	55	-
		100.0%	46.7%	37.3%	12.3%	3.7%	-
	50歳代	1,493	719	609	117	39	10
		100.0%	48.1%	40.8%	7.8%	2.6%	0.7%
60歳代	2,480	1,096	1,199	105	54	26	
	100.0%	44.2%	48.3%	4.3%	2.2%	1.0%	
70歳以上	4,023	1,797	1,666	296	107	157	
	100.0%	44.7%	41.4%	7.4%	2.7%	3.9%	
無回答		40	17	23	-	-	-
		100.0%	41.4%	58.6%	-	-	-

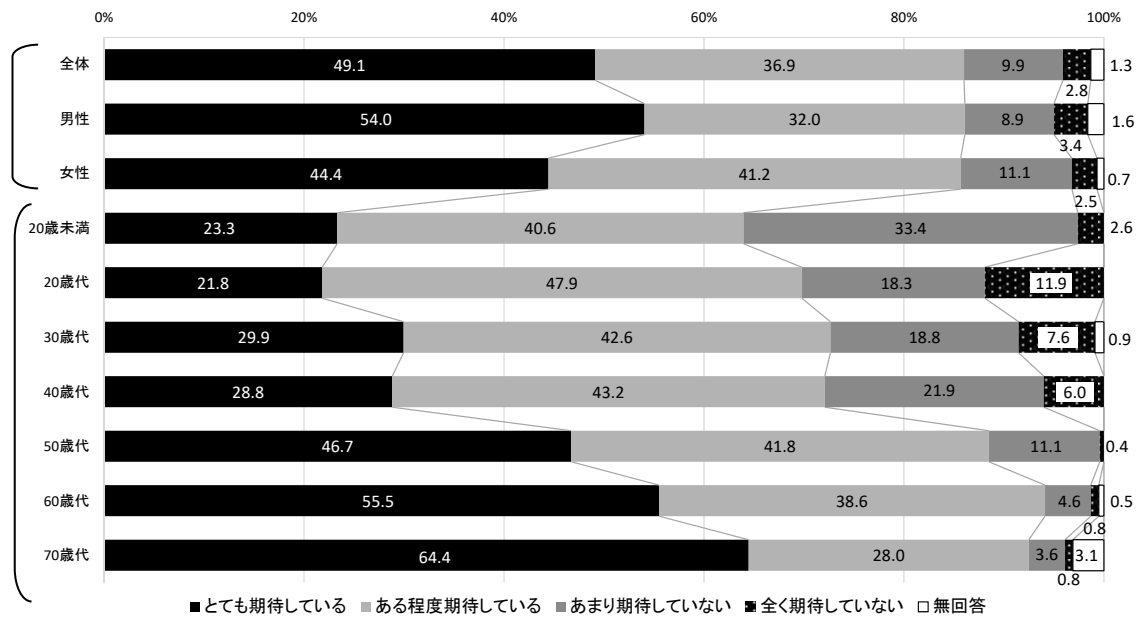
(6) ワクチン接種への期待について

全体で見ると、「とても期待している」(49.1%)の割合が最も高く、次いで「ある程度期待している」(36.9%)、「あまり期待していない」(9.9%)、「全く期待していない」(2.8%)となっている。

性別で見ると、男性では「とても期待している」と答えた割合が女性よりも9.6ポイント高い一方で、「ある程度期待している」と答えた割合は女性よりも9.2ポイント低くなっている。

年齢別で見ると比較的、年齢が高いほど「とても期待している」と答える人が多い傾向にあり、60歳代では「とても期待している」と「ある程度期待している」を合わせた『期待している』が94.1%となっている。

■ ワクチン接種への期待について



■とても期待している ■ある程度期待している ■あまり期待していない ■全く期待していない □無回答

		合計	とても期待している	ある程度期待している	あまり期待していない	全く期待していない	無回答
全体		11,474	5,631	4,236	1,136	324	147
		100.0%	49.1%	36.9%	9.9%	2.8%	1.3%
性別	男性	4,747	2,563	1,521	423	164	76
		100.0%	54.0%	32.0%	8.9%	3.4%	1.6%
	女性	6,417	2,850	2,647	713	160	47
		100.0%	44.4%	41.2%	11.1%	2.5%	0.7%
無回答		310	218	68	-	-	24
		100.0%	70.3%	22.0%	-	-	7.6%
年齢別	20歳未満	148	34	60	49	4	-
		100.0%	23.3%	40.6%	33.4%	2.6%	-
	20歳代	761	166	365	140	91	-
		100.0%	21.8%	47.9%	18.3%	11.9%	-
	30歳代	1,045	313	446	197	80	10
		100.0%	29.9%	42.6%	18.8%	7.6%	0.9%
	40歳代	1,484	428	642	325	89	-
		100.0%	28.8%	43.2%	21.9%	6.0%	-
	50歳代	1,493	697	624	166	6	-
		100.0%	46.7%	41.8%	11.1%	0.4%	-
60歳代	2,480	1,376	958	113	20	12	
	100.0%	55.5%	38.6%	4.6%	0.8%	0.5%	
70歳以上	4,023	2,591	1,128	146	33	125	
	100.0%	64.4%	28.0%	3.6%	0.8%	3.1%	
無回答		40	26.0	14.0	-	-	-
		100.0%	65.7%	34.3%	-	-	-

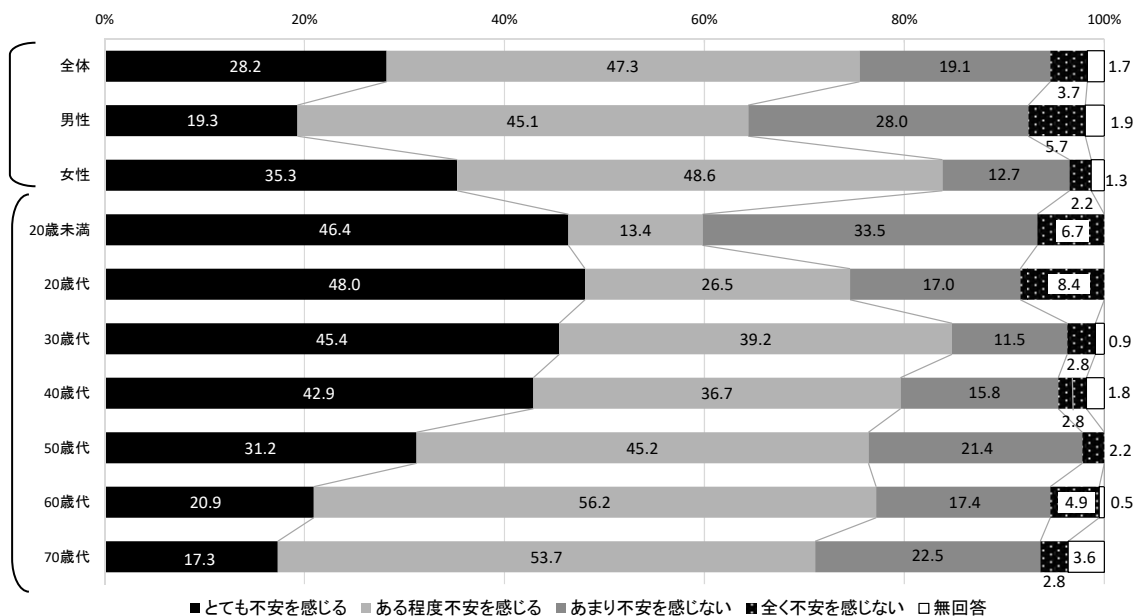
(7) ワクチンの副反応について

全体で見ると、「ある程度不安を感じる」(47.3%)の割合が最も高く、次いで「とても不安を感じる」(28.2%)、「あまり不安を感じない」(19.1%)、「全く不安を感じない」(3.7%)となっている。

性別で見ると、女性では「とても不安を感じる」と「ある程度不安を感じる」と合わせた『不安を感じる』が83.9%となっており、男性に比べ19.5ポイント高い。

年齢別で見ると20歳未満から40歳代にかけて「とても不安を感じる」と答える人が多い。

■ ワクチンの副反応について



		合計	とても不安を感じる	ある程度不安を感じる	あまり不安を感じない	全く不安を感じない	無回答
全体		11,474	3,238	5,426	2,190	425	195
		100.0%	28.2%	47.3%	19.1%	3.7%	1.7%
性別	男性	4,747	916	2,139	1,331	271	91
		100.0%	19.3%	45.1%	28.0%	5.7%	1.9%
	女性	6,417	2,262	3,121	814	140	81
		100.0%	35.3%	48.6%	12.7%	2.2%	1.3%
無回答		310	60	167	46	14	24
		100.0%	19.2%	53.8%	14.9%	4.5%	7.6%
年齢別	20歳未満	148	68	20	49	10	-
		100.0%	46.4%	13.4%	33.5%	6.7%	-
	20歳代	761	366	202	130	64	-
		100.0%	48.0%	26.5%	17.0%	8.4%	-
	30歳代	1,045	475	410	121	30	10
		100.0%	45.4%	39.2%	11.5%	2.8%	0.9%
	40歳代	1,484	637	545	234	42	27
		100.0%	42.9%	36.7%	15.8%	2.8%	1.8%
	50歳代	1,493	465	675	319	33	-
		100.0%	31.2%	45.2%	21.4%	2.2%	-
60歳代	2,480	518	1,394	431	123	13	
	100.0%	20.9%	56.2%	17.4%	4.9%	0.5%	
70歳以上	4,023	698	2,159	906	114	146	
	100.0%	17.3%	53.7%	22.5%	2.8%	3.6%	
無回答		40	10	20	-	10	-
		100.0%	24.7%	50.7%	-	24.7%	-

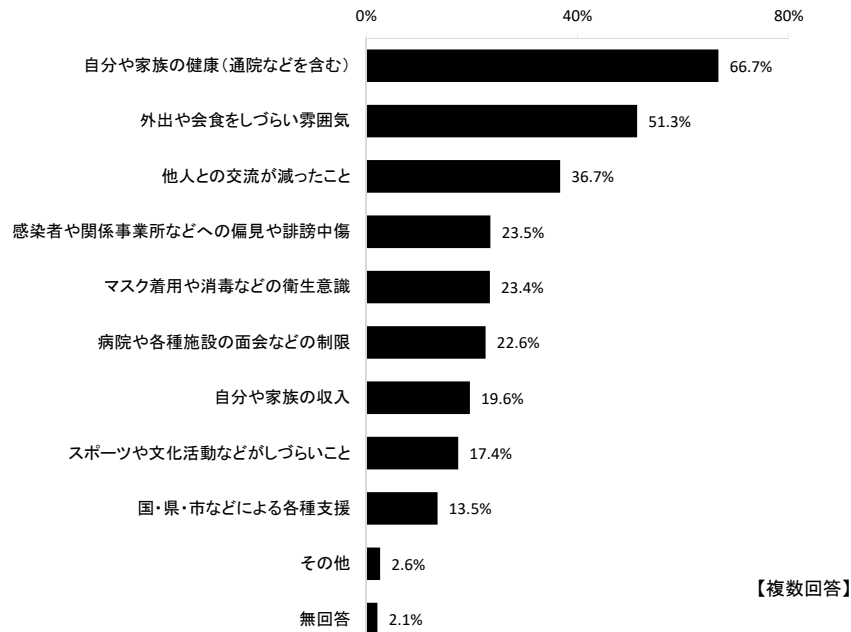
(8) 不満や不安・ストレスの理由について

新型コロナウイルスの流行拡大に伴い、不満や不安・ストレスを感じる理由をみると、「自分や家族の健康（通院などを含む）」(66.7%)が最も多く、次いで「外出や会食をしづらい雰囲気」(51.3%)、「他人との交流が減ったこと」(36.7%)、「感染者や関係事業所などへの偏見や誹謗中傷」(23.5%)となっている。

性別でみると、男女とも全体結果とほぼ同様の回答傾向を示している。

年齢別でみると該当者が少ないが20歳未満では「スポーツや文化活動がしづらいこと」、70歳以上では「マスク着用や消毒などの衛生意識」と答える人が多い。

■不満や不安・ストレスの理由について（全体）



■不満や不安・ストレスの理由について（性別、年齢別）

	合計	自分や家族の健康（通院などを含む）	マスク着用や消毒などの衛生意識	外出や会食をしづらい雰囲気	病院や各種施設の面会などの制限	感染者や関係事業所などへの偏見や誹謗中傷	国・県・市などによる各種支援	スポーツや文化活動などがしづらいこと	他人との交流が減ったこと	その他	無回答		
		割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合		
全体	11,474	2,250	7,653	2,688	5,882	2,592	2,697	1,555	1,992	4,205	296	240	
	100.0%	19.6%	66.7%	23.4%	51.3%	22.6%	23.5%	13.5%	17.4%	36.7%	2.6%	2.1%	
性別	男性	4,747	949	3,234	1,062	2,346	1,108	1,008	721	916	1,528	119	132
		100.0%	20.0%	68.1%	22.4%	49.4%	23.3%	21.2%	15.2%	19.3%	32.2%	2.5%	2.8%
	女性	6,417	1,212	4,221	1,474	3,419	1,425	1,618	807	1,033	2,594	177	85
		100.0%	18.9%	65.8%	23.0%	53.3%	22.2%	25.2%	12.6%	16.1%	40.4%	2.8%	1.3%
無回答	310	89	198	153	117	60	71	26	44	83	-	24	
	100.0%	28.9%	64.0%	49.4%	37.7%	19.3%	22.8%	8.5%	14.1%	26.8%	-	7.6%	
年齢別	20歳未満	148	34	74	30	103	-	44	10	69	48	20	-
		100.0%	23.2%	50.4%	20.1%	70.1%	-	29.9%	6.7%	46.9%	32.5%	13.4%	-
	20歳代	761	222	403	147	481	133	185	127	139	344	30	-
		100.0%	29.2%	52.9%	19.3%	63.2%	17.5%	24.3%	16.7%	18.2%	45.2%	3.9%	-
	30歳代	1,045	276	671	166	591	197	264	185	166	377	51	10
		100.0%	26.4%	64.2%	15.9%	56.6%	18.8%	25.2%	17.7%	15.9%	36.1%	4.9%	0.9%
	40歳代	1,484	382	1,031	317	798	195	494	205	195	438	40	10
		100.0%	25.7%	69.4%	21.4%	53.8%	13.1%	33.3%	13.8%	13.1%	29.5%	2.7%	0.7%
	50歳代	1,493	386	949	250	758	462	505	270	241	389	21	-
		100.0%	25.8%	63.6%	16.8%	50.8%	30.9%	33.8%	18.1%	16.1%	26.0%	1.4%	-
60歳代	2,480	402	1,787	476	1,297	652	547	256	472	868	38	47	
	100.0%	16.2%	72.1%	19.2%	52.3%	26.3%	22.0%	10.3%	19.0%	35.0%	1.5%	1.9%	
70歳以上	4,023	529	2,714	1,289	1,839	933	659	502	700	1,742	96	168	
	100.0%	13.1%	67.5%	32.0%	45.7%	23.2%	16.4%	12.5%	17.4%	43.3%	2.4%	4.2%	
無回答	40	20	24	14	15	21	-	-	11	-	-	6	
	100.0%	49.3%	59.0%	34.3%	36.2%	51.1%	-	-	26.5%	-	-	14.5%	

10. 家庭内における災害備蓄について

家庭内で災害時に使用できる物品を備蓄しているかについてたずねた。

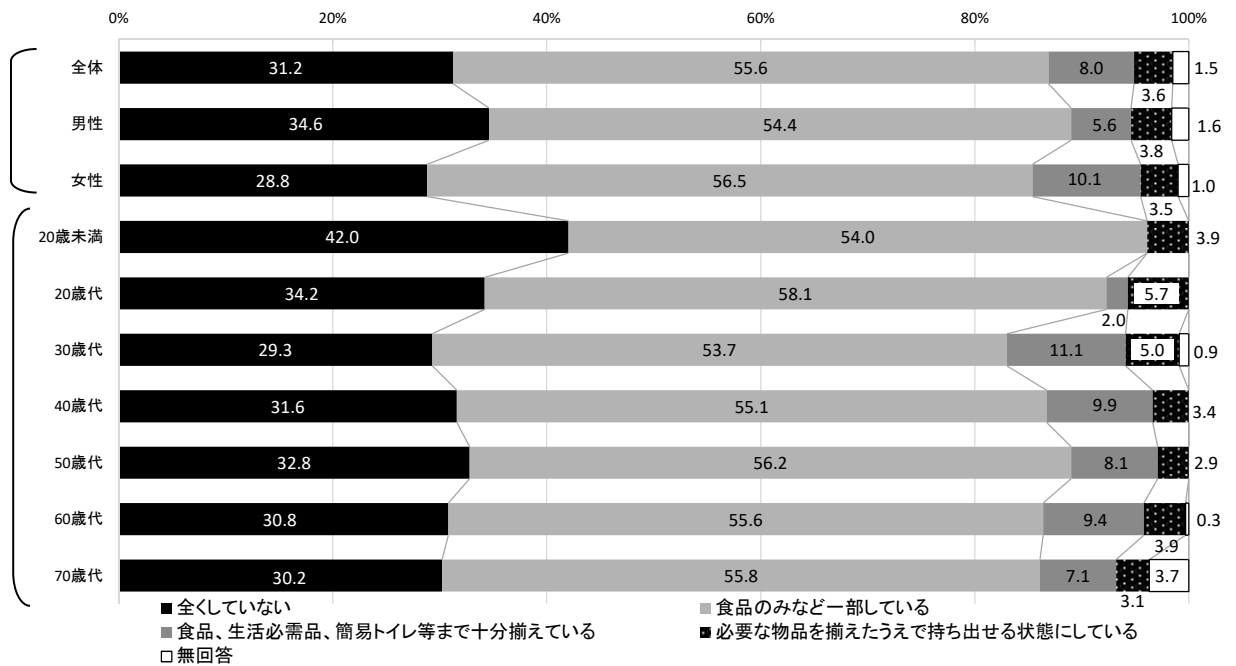
(1) 家庭内における災害備蓄について

家庭内において災害備蓄をおこなっているかをみると「食品のみなど一部している」(55.6%)の割合が最も高く、次いで「全くしていない」(31.2%)、「食品、生活必需品、簡易トイレ等まで十分揃えている」(8.0%)、「必要な物品を揃えたうえで持ち出せる状態にしている」(3.6%)となっている。

性別でみると、女性では「食品、生活必需品、簡易トイレ等まで十分揃えている」が10.1%となっており、男性に比べ2倍弱となっている。

年齢別でみると、該当者が少ないが20歳未満で「全くしていない」(42.0%)と答える人が多い。

■家庭内における災害備蓄について



		合計	全くしていない	食品のみなど一部している	食品、生活必需品、簡易トイレ等まで十分揃えている	必要な物品を揃えたうえで持ち出せる状態にしている	無回答
全体		11,474	3,575	6,384	918	418	177
		100.0%	31.2%	55.6%	8.0%	3.6%	1.5%
性別	男性	4,747	1,643	2,582	265	180	78
		100.0%	34.6%	54.4%	5.6%	3.8%	1.6%
	女性	6,417	1,849	3,628	650	225	66
		100.0%	28.8%	56.5%	10.1%	3.5%	1.0%
無回答		310	84	175	3	14	34
		100.0%	27.1%	56.5%	1.1%	4.5%	10.8%
年齢別	20歳未満	148	62	80	-	6	-
		100.0%	42.0%	54.0%	-	3.9%	-
	20歳代	761	260	442	16	43	-
		100.0%	34.2%	58.1%	2.0%	5.7%	-
	30歳代	1,045	306	561	116	53	10
		100.0%	29.3%	53.7%	11.1%	5.0%	0.9%
	40歳代	1,484	469	818	146	51	-
		100.0%	31.6%	55.1%	9.9%	3.4%	-
	50歳代	1,493	490	839	120	44	-
		100.0%	32.8%	56.2%	8.1%	2.9%	-
60歳代	2,480	764	1,379	234	97	7	
	100.0%	30.8%	55.6%	9.4%	3.9%	0.3%	
70歳以上	4,023	1,214	2,246	287	125	150	
	100.0%	30.2%	55.8%	7.1%	3.1%	3.7%	
無回答		40	11.0	20.0	-	-	10
		100.0%	26.5%	48.9%	-	-	24.7%

11. シティプロモーションについて

佐賀市の知名度やイメージを高めていくシティプロモーションについてたずねた。

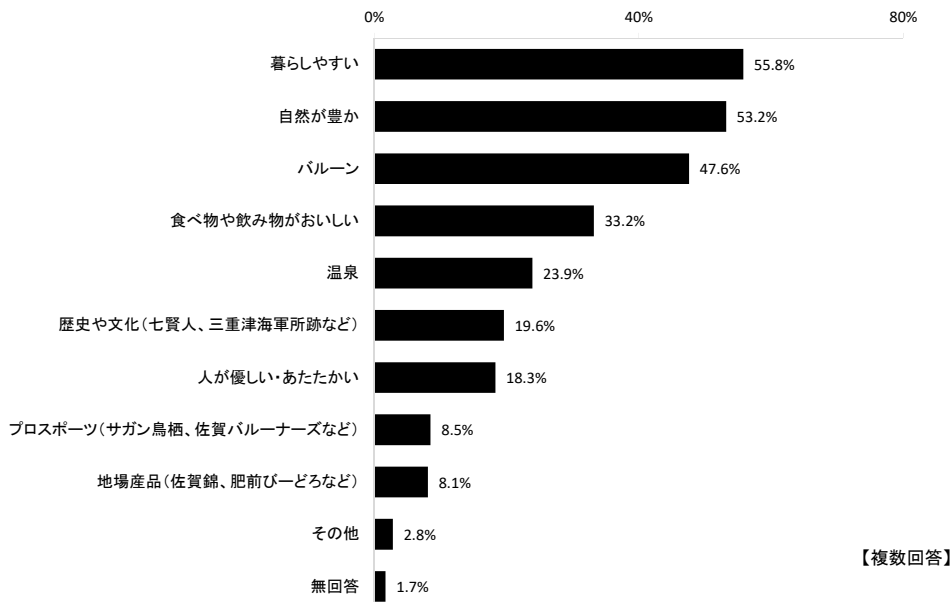
(1) 佐賀市の良いところについて

佐賀市の良いところをみると「暮らしやすい」(55.8%)の割合が最も高く、次いで「自然が豊か」(53.2%)、「バルーン」(47.6%)、「食べ物や飲み物がおいしい」(33.2%)となっている。

性別でみると、女性では「地場産品(佐賀錦、肥前びどろなど)」が10.4%と男性の2倍以上、男性では「プロスポーツ(サガン鳥栖、佐賀バルナーズなど)」が12.1%と女性の2倍以上となっている。

年齢別でみると、該当者が少ないが20歳未満では「人が優しい・あたたかい」、20歳代では「バルーン」、70歳以上では「自然が豊か」と答える人が多い。

■佐賀市の良いところについて(全体)



■佐賀市の良いところについて(性別、年齢別)

	合計	自然が豊か	暮らしやすい	人が優しい・あたたかい	食べ物や飲み物がおいしい	地場産品(佐賀錦、肥前びどろなど)	歴史や文化(七賢人、三重津海軍所跡など)	バルーン	温泉	プロスポーツ(サガン鳥栖、佐賀バルナーズなど)	その他	無回答	
		割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	
全体	11,474	6,110	6,401	2,096	3,808	924	2,247	5,458	2,743	971	320	194	
	100.0%	53.2%	55.8%	18.3%	33.2%	8.1%	19.6%	47.6%	23.9%	8.5%	2.8%	1.7%	
性別	男性	4,747	2,605	2,680	952	1,569	232	1,053	2,029	824	574	157	58
		100.0%	54.9%	56.5%	20.0%	33.0%	4.9%	22.2%	42.7%	17.4%	12.1%	3.3%	1.2%
	女性	6,417	3,295	3,558	1,040	2,160	666	1,145	3,335	1,842	386	144	116
		100.0%	51.3%	55.4%	16.2%	33.7%	10.4%	17.8%	52.0%	28.7%	6.0%	2.2%	1.8%
	無回答	310	209	163	104	79	27	49	94	77	11	20	20
	100.0%	67.6%	52.7%	33.7%	25.6%	8.6%	15.9%	30.3%	24.8	3.4	6.4%	6.4%	
年齢別	20歳未満	148	44	83	59	50	20	9	89	20	5	-	-
		100.0%	29.5%	56.2%	40.1%	33.9%	13.4%	5.8%	60.6%	13.4%	3.2%	-	-
	20歳代	761	333	296	97	277	67	51	558	280	80	20	-
		100.0%	43.7%	38.8%	12.7%	36.4%	8.8%	6.6%	73.3%	36.8%	10.5%	2.6%	-
	30歳代	1,045	385	487	108	449	116	118	589	321	121	23	22
		100.0%	36.8%	46.6%	10.4%	43.0%	11.1%	11.3%	56.3%	30.8%	11.6%	2.2%	2.1%
	40歳代	1,484	660	770	232	549	195	258	696	387	171	65	10
		100.0%	44.4%	51.9%	15.6%	37.0%	13.1%	17.4%	46.9%	26.1%	11.5%	4.4%	0.7%
	50歳代	1,493	818	862	305	549	105	275	656	282	106	63	10
		100.0%	54.8%	57.8%	20.4%	36.7%	7.0%	18.4%	44.0%	18.9%	7.1%	4.2%	0.7%
60歳代	2,480	1,349	1,442	418	691	207	591	1,238	496	239	69	49	
	100.0%	54.4%	58.1%	16.9%	27.9%	8.3%	23.8%	49.9%	20.0%	9.6%	2.8%	2.0%	
70歳以上	4,023	2,507	2,442	877	1,228	215	939	1,617	948	242	81	93	
	100.0%	62.3%	60.7%	21.8%	30.5%	5.4%	23.3%	40.2%	23.6%	6.0%	2.0%	2.3%	
	無回答	40	16	20	-	16	-	7	15	8	7	-	10
	100.0%	39.2%	48.9%	-	39.2%	-	16.8%	36.2%	19.4%	16.8%	-	24.7%	

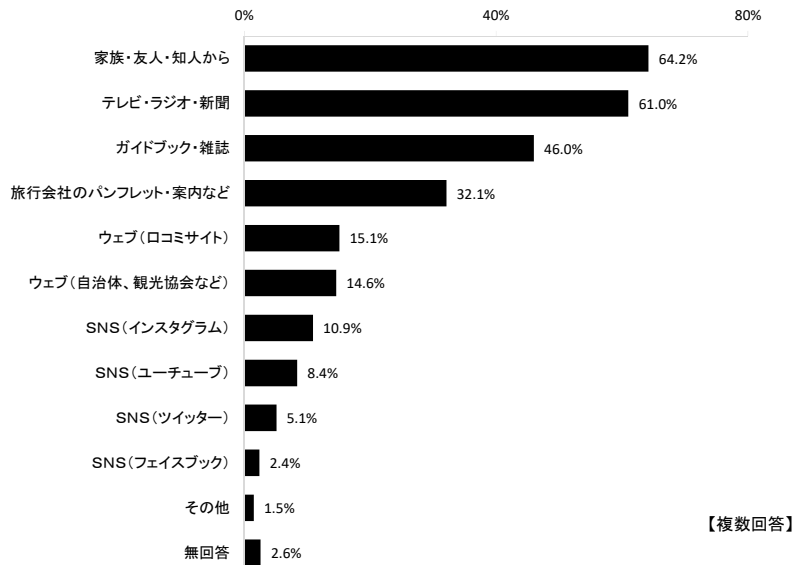
(2) 行きたい場所を決めるきっかけとなる情報源について

行きたい場所を決めるきっかけとなる情報源をみると「家族・友人・知人から」(64.2%)の割合が最も高く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞」(61.0%)、「ガイドブック・雑誌」(46.0%)、「旅行会社のパンフレット・案内など」(32.1%)となっている。

性別でみると、男性では「ウェブ(自治体、観光協会など)」が20.9%と女性の2倍以上、女性では「SNS(インスタグラム)」が15.4%と男性の2倍以上となっている。

年齢別でみると、年齢が高いほど「旅行会社のパンフレット・案内など」と回答する傾向にあり、一方、年齢が低いほど「SNS(ユーチューブ)」、「SNS(ツイッター)」、「SNS(インスタグラム)」と回答する傾向にある。

■行きたい場所を決めるきっかけとなる情報源について(全体)



■行きたい場所を決めるきっかけとなる情報源について(性別、年齢別)

	合計	家族・友人・知人から	テレビ・ラジオ・新聞	ガイドブック・雑誌	旅行会社のパンフレット・案内など	ウェブ(自治体、観光協会など)	ウェブ(ロコミサイト)	SNS(ユーチューブ)	SNS(フェイスブック)	SNS(ツイッター)	SNS(インスタグラム)	その他	無回答	
全体	11,474	7,361	6,997	5,282	3,686	1,681	1,732	963	270	581	1,256	168	296	
	100.0%	64.2%	61.0%	46.0%	32.1%	14.6%	15.1%	8.4%	2.4%	5.1%	10.9%	1.5%	2.6%	
性別	男性	4,747	2,776	3,051	2,219	1,365	990	745	540	126	227	257	82	130
		100.0%	58.5%	64.3%	46.7%	28.8%	20.9%	15.7%	11.4%	2.7%	4.8%	5.4%	1.7%	2.7%
	女性	6,417	4,408	3,743	2,934	2,158	670	939	410	134	351	989	86	136
	100.0%	68.7%	58.3%	45.7%	33.6%	10.4%	14.6%	6.4%	2.1%	5.5%	15.4%	1.3%	2.1%	
無回答	310	177	202	128	162	21	47	12	10	2	10	-	30	
	100.0%	57.1%	65.2%	41.4%	52.4%	6.6%	15.2%	3.8%	3.2%	0.7%	3.2%	-	9.7%	
年齢別	20歳未満	148	97	44	10	10	-	34	16	-	44	123	-	-
		100.0%	66.1%	30.0%	6.7%	6.7%	-	23.2%	10.7%	-	29.9%	83.4%	-	-
	20歳代	761	487	262	220	76	36	144	178	10	228	389	46	-
		100.0%	64.0%	34.4%	28.9%	10.0%	4.8%	18.9%	23.4%	1.3%	29.9%	51.1%	6.1%	-
	30歳代	1,045	525	535	407	181	165	282	170	47	179	385	9	10
		100.0%	50.3%	51.2%	39.0%	17.3%	15.8%	27.0%	16.2%	4.5%	17.1%	36.8%	0.9%	0.9%
	40歳代	1,484	931	874	692	272	267	378	150	111	30	217	37	10
		100.0%	62.7%	58.9%	46.6%	18.3%	18.0%	25.5%	10.1%	7.5%	2.0%	14.6%	2.5%	0.7%
	50歳代	1,493	1,064	984	697	337	265	342	139	32	34	66	10	10
		100.0%	71.3%	66.0%	46.7%	22.6%	17.7%	22.9%	9.3%	2.2%	2.3%	4.4%	0.7%	0.7%
60歳代	2,480	1,549	1,728	1,211	894	446	188	199	45	44	49	34	54	
	100.0%	62.5%	69.7%	48.8%	36.1%	18.0%	7.6%	8.0%	1.8%	1.8%	2.0%	1.4%	2.2%	
70歳以上	4,023	2,681	2,548	2,034	1,911	502	360	112	24	22	28	32	202	
	100.0%	66.6%	63.3%	50.6%	47.5%	12.5%	8.9%	2.8%	0.6%	0.5%	0.7%	0.8%	5.0%	
無回答	40	26	21	11	4	-	4	-	-	-	-	-	10	
	100.0%	65.7%	51.1%	26.5%	9.7%	-	9.7%	-	-	-	-	-	24.7%	

【参考資料】 使用した調査票

令和3年度

これからのまちづくりに関する佐賀市民意向調査

皆様には、日ごろから市政に対しご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

この調査は、市民の皆様が「佐賀市の現状をどのように感じていらっしゃるのか」、「これからの“まちづくり”についてどのようなご意見をお持ちなのか」などについてお聞きし、これからの市政運営に皆様の声を反映させることを目的として、毎年1回実施しているものです。

また、いただいたご意見は、関係部署に周知するなど、皆様の声を今後の取り組みに生かすよう努めてまいります。

ご多用な折とは存じますが、今回の調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年5月

佐賀市長 秀島 敏行

(回答にあたって)

- ◆回答は、ご本人（封筒の宛先となっている方）がお答えください。ご本人による回答が困難である場合は、回答いただく必要はありません。（その場合、本調査票は処分ください。）
- ◆質問への回答は、この調査票に直接ご記入ください。
- ◆記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に折りたたんで入れて、切手を貼らずに郵送してください。
- ◆誠に勝手ながら、5月26日（水）までに、投函をお願いいたします。
- ◆この調査票は、住民基本台帳に登録されている18歳以上の方から無作為に抽出した5,000人の方にお送りしています。
- ◆本調査は、個人情報保護法を遵守し、お名前など個人情報の取り扱いには、細心の注意を払っております。
- ◆返送いただいた調査票の取り扱いについては、すべてを統計的に処理し、目的以外に使用することは一切ありません。
- ◆記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【本調査に関するお問合せ先】

佐賀市役所 企画調整部 企画政策課

担当： 渡辺、上瀧、堤

(TEL) 0952-40-7029 (FAX) 0952-40-7381

(mail) kikakuseisaku@city.saga.lg.jp

問1 あなたご自身のことについて

以下の質問は、調査結果を統計的に処理するためにお聞きするものです。各項目についてあてはまる番号に○印をつけてください。

項 目	回答欄			
性 別	1 男性	2 女性	3 その他 ()	
年 齢	1 20歳未満	2 20歳代	3 30歳代	4 40歳代
	5 50歳代	6 60歳代	7 70歳以上	
職 業	1 農林水産業	2 自営業		
	3 お勤め(会社員・公務員等)	4 専業主婦・専業主夫		
	5 パート・アルバイト	6 学生		
	7 無職	8 その他 ()		
今お住まいの地域	1 諸富町	2 大和町	3 富士町	4 三瀬村
	5 川副町	6 東与賀町	7 久保田町	8 それ以外の佐賀市
(お住まいの地域の) 居住年数	1 3年未満	2 3年～10年	3 11年以上	
同居している家族	1 保育園児、幼稚園児		2 保育園・幼稚園児以外の就学前の子ども	
	3 小学生の子ども		4 中学生の子ども	
※あてはまるものすべてに○印をつけてください	5 上記1～4以外の18歳未満の子ども		6 高齢者(65歳以上の方)	
	7 障害者手帳をお持ちの方		8 1～7にあてはまる人はいない	

問2 “暮らしやすさ”の実感について

あなたは、佐賀市での生活を“暮らしやすい”と感じていますか。次の中からあなたの考えに最も近い番号を1つだけ選んで○印をつけてください。

とても暮らしやすい	暮らしやすい	暮らしにくい	とても暮らしにくい
1	2	3	4



付問1 主な理由は何ですか。あてはまる番号を3つまで選んで○印をつけてください。

- 1 自然環境や住環境がいい
- 2 福祉・医療サービスが充実している
- 3 子育てがしやすい
- 4 公共交通機関の利便性が高い
- 5 買物、飲食などの日常生活が便利
- 6 近所づきあいや人間関係が豊かである
- 7 防犯や防災の面で安心できる
- 8 生活コストが安い

付問2 主な理由は何ですか。あてはまる番号を3つまで選んで○印をつけてください。

- 1 自然環境や住環境が不十分
- 2 福祉・医療サービスが不十分
- 3 子育てがしにくい
- 4 公共交通機関の利便性が低い
- 5 買物、飲食などの日常生活が不便
- 6 近所づきあいや人間関係が煩わしい
- 7 防犯や防災の面で不安がある
- 8 生活コストがかかる

問3 佐賀市への愛着について

あなたは、佐賀市に対して愛着を持っていますか。次の中からあなたの考えに最も近い番号を1つだけ選んで○印をつけてください。

愛着がある 1	どちらかと言えば 愛着がある 2	どちらかと言えば 愛着がない 3	愛着がない 4
------------	------------------------	------------------------	------------

付問1へ



付問1 どのような点について愛着を持っていますか。あてはまる番号を3つまで選んで○印をつけてください。

1 自然環境、気候などの風土	5 生まれ故郷であること
2 歴史・文化、景観	6 思い出がある（多い）こと
3 生活様式や住民気質	7 生活環境がいいこと（適度な利便性、安心・安全面など）
4 地域などでの人と人とのつながり	8 その他（ ）

問4 今後の居住予定について

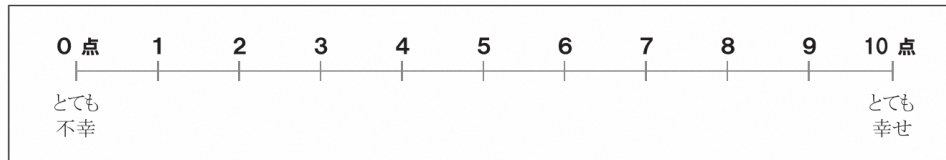
あなたは、佐賀市に今後もずっと住み続けたいと思いますか。次の中からあなたの考えに最も近い番号を1つだけ選んで○印をつけてください。

※転勤等の事情は考慮せず、どのように思っているかについてお答えください。

ずっと 住み続けたい 1	当面は 住んでいたい 2	できれば 市外に引っ越したい 3	すぐにも 市外に引っ越したい 4
--------------------	--------------------	------------------------	------------------------

問5 あなたの「幸福感」の現状について

現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字に1つだけ○印をつけてください。



付問1 幸福感を感じる上で、重要だと考えるものはどれですか。あてはまる番号を3つまで選んで○印をつけてください。

1 健康であること	6 治安・安全が保たれていること
2 家族との関係が良好なこと	7 仕事が充実していること
3 経済的な余裕があること	8 活動する場や生きがいがあること
4 住まい・生活環境が良好であること	9 社会に貢献していると感じること
5 頼れる人や友人がいること	10 その他（ ）

問6 あなた個人の「意識」についておうかがいします

以下の質問ごとに、あてはまる番号を「1～4」の中から1つだけ選んで○印をつけてください。

1	近所の避難場所・避難所を把握していますか。	把握している 1	だいたい把握している 2	あまり把握していない 3	把握していない 4
2	水辺（池）がある公園や河川公園など、水辺空間に親しみを感じますか。	感じている 1	どちらかといえば感じている 2	どちらかといえば感じていない 3	感じていない 4
3	お住まいの地域は、事故や犯罪がなく安全だと思えますか。	そう思う 1	どちらかといえばそう思う 2	どちらかといえばそう思わない 3	そう思わない 4
4	自然と都市が調和した計画的な土地利用が行われていると思えますか。	そう思う 1	どちらかといえばそう思う 2	どちらかといえばそう思わない 3	そう思わない 4
5	市内の道路は快適かつ安全に通行ができていますか。	感じている 1	どちらかといえば感じている 2	どちらかといえば感じていない 3	感じていない 4
6	住居は、安全、快適で住みやすいと思えますか。	そう思う 1	どちらかといえばそう思う 2	どちらかといえばそう思わない 3	そう思わない 4
7	お住まいの地域（町内や地区内）では、住民同士の助け合いが行われていると思えますか。	そう思う 1	どちらかといえばそう思う 2	どちらかといえばそう思わない 3	そう思わない 4
8	高齢者は、その人らしく、いきいきと生活していると思えますか。	そう思う 1	どちらかといえばそう思う 2	どちらかといえばそう思わない 3	そう思わない 4
9	市街地にみどりが増えて、景観が良くなったと思えますか。	そう思う 1	どちらかといえばそう思う 2	どちらかといえばそう思わない 3	そう思わない 4
10	【この質問は、世帯に中学生以下の子どものいる方のみご回答下さい】子育てに大きな不安や負担を感じますか。	感じている 1	どちらかといえば感じている 2	どちらかといえば感じていない 3	感じていない 4
11	【この質問は、世帯に幼稚園児・保育園児のいる方のみご回答下さい】世帯の中の園児は、幼稚園・保育園が楽しいと感じていると思えますか。	そう思う 1	どちらかといえばそう思う 2	どちらかといえばそう思わない 3	そう思わない 4

12	【この質問は、小・中学生のいる世帯のみご回答下さい】 世帯の中の児童・生徒は、学校が楽しいと感じていますか。	そう思う 1	どちらかといえば そう思う 2	どちらかといえば そう思わない 3	そう思わない 4
13	「子どもへのまなざし運動（市民総参加子ども育成運動）」を知っていますか。	内容まで 知っている 1	ある程度 知っている 2	見たり聞いたり したことがある 3	知らない 4
14	必要な市政情報が入手できていると思いますか。	そう思う 1	どちらかといえば そう思う 2	どちらかといえば そう思わない 3	そう思わない 4
15	人権や同和問題に関心がありますか。（女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人やLGBTsなどへの偏見や差別、インターネットによる人権侵害など）	ある 1	ややある 2	あまりない 3	ない 4
16	この1年以内に市内で、人種、性別、障がいの有無、出身地等により、人権侵害を受けたことがありますか。	ある 1	ときどきある 2	あまりない 3	ない 4
17	この1年以内に、「男だから、女だから」という理由により、自分の思いどおりにならなかったことがありますか。	ある 1	ときどきある 2	あまりない 3	ない 4
18	税金が無駄なく市民ニーズに沿った使われ方をしていると思いますか。	そう思う 1	どちらかといえば そう思う 2	どちらかといえば そう思わない 3	そう思わない 4
19	議会情報がわかりやすく伝えられていると思いますか。	そう思う 1	どちらかといえば そう思う 2	どちらかといえば そう思わない 3	そう思わない 4
20	議会または議員へ、意見や要望を言える機会が確保されていると思いますか。	そう思う 1	どちらかといえば そう思う 2	どちらかといえば そう思わない 3	そう思わない 4
21	緊急の傷病時には、いつでも適切な診療を受けることができますか。	そう思う 1	どちらかといえば そう思う 2	どちらかといえば そう思わない 3	そう思わない 4
22	佐賀市まちづくり自治基本条例について知っていますか。	内容まで 知っている 1	ある程度 知っている 2	聞いたことがある 3	知らない 4

問7 あなた個人の日頃の生活における「取り組み」についておうかがいします。

以下の質問ごとに、あてはまる番号を「1～4」の中から1つだけ選んで○印をつけてください。

1	日頃から災害に備えて、室内の地震対策や非常用持ち出し袋の準備などを行っていますか。	準備している 1	ある程度準備している 2	あまり準備していない 3	全く準備していない 4
2	お住まいの地域で、子どもや高齢者などに対して、見守りや声かけなどの福祉活動を行っていますか。	日常的に行っている 1	ときどき行っている 2	あまり行っていない 3	全く行っていない 4
3	3年以上継続して健康診断を受けていますか。	3年以上継続して受けている 1	ここ3年間で2回受けている 2	ここ3年間で1回受けている 3	3年以上受けていない 4
4	健康診断の結果を、自分の健康管理に活かしていますか。	活かしている 1	どちらかといえば活かしている 2	どちらかといえば活かしていない 3	活かしていない 4
5	省資源、省エネ、節水、美化活動など環境問題に対して意識的に取り組んでいますか。	取り組んでいる 1	ときどき取り組んでいる 2	あまり取り組んでいない 3	全く取り組んでいない 4
6	祭りや子ども会などの地域の行事や活動に参加していますか。	よく参加している 1	ときどき参加している 2	あまり参加していない 3	全く参加していない 4
7	仕事や学校以外で、何らかの知識や技術を身に付けるための取り組みを行っていますか。	行っている 1	ときどき行っている 2	あまり行っていない 3	全く行っていない 4
8	日常的に（週1回以上）、運動・スポーツを行っていますか。（ウォーキング等も含みます）	行っている 1	ときどき行っている 2	あまり行っていない 3	全く行っていない 4
9	過去1年の間に、歴史関連のイベント等に参加したり、活動したりしましたか。	よく参加・活動した 1	ときどき参加・活動した 2	あまり参加・活動しなかった 3	全く参加・活動しなかった 4
10	過去1年の間に、市内で、文化活動（美術、音楽、映画、演劇、茶道、華道など）に参加したり、鑑賞したりしましたか。	よく参加・鑑賞した 1	ときどき参加・鑑賞した 2	あまり参加・鑑賞しなかった 3	全く参加・鑑賞しなかった 4
11	市民活動（まちづくりや地域の活動）などに参加していますか。	よく参加している 1	ときどき参加している 2	あまり参加していない 3	全く参加していない 4
12	月2回（1日・15日）発行している「市報さが」を読んでいますか。	毎月読んでいる 1	ときどき読んでいる 2	あまり読んでいない 3	全く読んでいない 4

問8 佐賀市が行っている行政サービスをどのように評価しますか。番号に○印をつけてください。

「重要度」：佐賀市全体のことを考えて、今後市が取り組むことがどのくらい重要だと思いますか。

「満足度」：日常生活の場面などを思い出して、今の市の取り組み状況にどの程度満足していますか。

※「利用していない」などの理由で評価できない項目は、未記入でも結構です。

「自由記述欄」：施策に対するご意見がある方は、具体的にご記入ください。

市の取組項目	この施策の重要度				現状の満足度			
	重要である	ある程度重要である	あまり重要ではない	重要ではない	満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満である
【記入例】 33 効果的・効率的な行政経営の推進 限られた資源を有効に活用した行政経営の推進など	①	2	3	4	1	②	3	4
	自由記述欄：(例) 効率的な運営をしてほしい							
1 魅力ある観光の振興 資源を活かした観光サービスの質の向上や観光プロモーションなど	1	2	3	4	1	2	3	4
2 活力ある商工業の振興 雇用の場の創出や市場開拓の支援など	1	2	3	4	1	2	3	4
3 賑わいあふれる中心市街地の活性化 気軽に街歩きを楽しめる街づくりなど	1	2	3	4	1	2	3	4
4 総合的な農業の振興 付加価値の高い農産物の生産や6次産業化(生産だけでなく加工や流通、販売までを手がけること)による加工品開発の支援など	1	2	3	4	1	2	3	4
5 森林保全と林業の振興 木材利用の促進や適切な維持管理など	1	2	3	4	1	2	3	4
6 特色ある水産業の振興 経営の安定化と漁業環境の保全など	1	2	3	4	1	2	3	4
7 総合的な防災・危機管理対策の充実 地域の防災力の向上など	1	2	3	4	1	2	3	4

市の取組項目	この施策の重要度				現状の満足度			
	重要である	ある程度重要である	あまり重要ではない	重要ではない	満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満足	不満足である
8 安全で美しい河川環境の適切な管理 治水対策や協働による清掃活動の推進など	1	2	3	4	1	2	3	4
9 地域で守る生活者の安全確保 地域と一体となった防犯対策など	1	2	3	4	1	2	3	4
10 計画的な土地利用の推進 自然と都市が調和した計画的な土地利用の推進や土地の適切な管理保全など	1	2	3	4	1	2	3	4
11 市民生活を支える総合交通体系の確立 公共交通の利便性の向上など	1	2	3	4	1	2	3	4
12 道路ネットワークの充実 道路の効率的な維持管理など	1	2	3	4	1	2	3	4
13 安全で快適な住宅環境の充実 住宅の耐震化の啓発など	1	2	3	4	1	2	3	4
14 互いに支え合う地域福祉の充実 地域活動の担い手の育成など	1	2	3	4	1	2	3	4
15 住み慣れた地域で安心して暮らす高齢者福祉の充実 健康づくりや介護予防の推進など	1	2	3	4	1	2	3	4
16 共生社会をめざす障がい者福祉の充実 障がい者や家族への支援体制の充実など	1	2	3	4	1	2	3	4
17 健康づくりの推進と保健・医療の連携 健診など病気の早期発見や予防の推進など	1	2	3	4	1	2	3	4
18 自立を支える生活福祉の充実 生活保護受給者や生活困窮者への自立支援など	1	2	3	4	1	2	3	4

市の取組項目	この施策の重要度				現状の満足度			
	重要である	ある程度重要である	あまり重要ではない	重要ではない	満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満である
19 地球にやさしい低炭素社会の構築 環境負荷を減らす取り組みの啓発など	1	2	3	4	1	2	3	4
20 持続可能な循環型社会の構築 リサイクルの推進など	1	2	3	4	1	2	3	4
21 暮らしに身近な生活環境の向上 公害対策やペット飼育マナーの啓発など	1	2	3	4	1	2	3	4
22 都市のみどりと美しい景観の創出 緑化活動の促進や公園の維持管理など	1	2	3	4	1	2	3	4
23 安心して子育てできる環境の充実 育児負担軽減のための支援など	1	2	3	4	1	2	3	4
24 就学前からの教育の充実 学力やたくましく生きる力の育成など	1	2	3	4	1	2	3	4
25 家庭・地域・企業等の教育力の向上 社会全体で子どもを育むための取り組みの推進など	1	2	3	4	1	2	3	4
26 自ら学ぶ生涯学習の推進 生涯学習の機会の充実など	1	2	3	4	1	2	3	4
27 誰もが親しめる市民スポーツの充実 市民の生涯スポーツ活動の支援など	1	2	3	4	1	2	3	4
28 未来につなげる文化の振興 文化財の保存・活用や市民の文化芸術活動の推進など	1	2	3	4	1	2	3	4
29 参加と協働によるまちづくり 参加と協働によるまちづくりの推進など	1	2	3	4	1	2	3	4

市の取組項目	この施策の重要度				現状の満足度			
	重要である	ある程度重要である	あまり重要ではない	重要ではない	満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満である
30 情報共有の推進 市政に関する情報提供の充実など	1	2	3	4	1	2	3	4
31 人権尊重の確立 人権啓発と同和問題の解決に向けた取り組みなど	1	2	3	4	1	2	3	4
32 個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現 女性の活躍の推進など	1	2	3	4	1	2	3	4
33 効果的・効率的な行政経営の推進 限られた資源を有効に活用した行政経営の推進など	1	2	3	4	1	2	3	4
34 財政の健全性の確保 財政健全化の推進など	1	2	3	4	1	2	3	4
35 職員の資質向上による業務執行体制の充実 人材育成の推進など	1	2	3	4	1	2	3	4
36 適正かつ効率的な議会活動への支援 ホームページなどでの議会活動公開など	1	2	3	4	1	2	3	4

問9 あなたは、1日に平均してどれくらいの時間を家事（育児・介護を含む）にかけていますか。以下のA・Bについて、それぞれあてはまるものを1つ選び、その番号（1～6）に○をつけてください。

	全くして いない	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上
A 平日	1	2	3	4	5	6
B 休日	1	2	3	4	5	6

問10 新型コロナウイルス感染症について

問10-1 新型コロナウイルス感染症に関してお尋ねします。

以下の項目ごとにあてはまる番号を「1～4」の中から1つだけ選んで○印をつけてください。

1	仕事や収入について	とても困っている 1	ある程度困っている 2	あまり困っていない 3	全く困っていない 4
2	学校や子育てについて	とても困っている 1	ある程度困っている 2	あまり困っていない 3	全く困っていない 4
3	外出時のマスクの着用について	常時着用している 1	ある程度着用している 2	あまり着用していない 3	全く着用していない 4
4	3密対策、衛生（消毒、手洗いなど）意識について	強く意識している 1	ある程度意識している 2	あまり意識していない 3	全く意識していない 4
5	感染した場合の差別や偏見について	とても気になる 1	ある程度気になる 2	あまり気にならない 3	全く気にならない 4
6	ワクチン接種への期待について	とても期待している 1	ある程度期待している 2	あまり期待していない 3	全く期待していない 4
7	ワクチンの副反応について	とても不安を感じる 1	ある程度不安を感じる 2	あまり不安を感じない 3	全く不安を感じない 4

問10-2 新型コロナウイルスの流行拡大に伴い、どのようなことに不満や不安・ストレスを感じられているかについてお尋ねします。あてはまる番号を3つまで選んで○印をつけてください。

1 自分や家族の収入	6 感染者や関係事業所などへの偏見や誹謗中傷
2 自分や家族の健康（通院などを含む）	7 国・県・市などによる各種支援
3 マスク着用や消毒などの衛生意識	8 スポーツや文化活動などがしづらいこと
4 外出や会食をしづらい雰囲気	9 他人との交流が減ったこと
5 病院や各種施設の面会などの制限	10 その他（ ）

問11 家庭内で災害に対する備蓄をおこなっていますか。

ローリングストック（普段使っている食品を多めにストックして使いながら備えること）を含め、家庭内で災害時に使用できる物品を備蓄していますか。あてはまる番号に○印をつけてください。

全くして いない	食品のみなど 一部している	食品、生活必需品、簡易ト イレ等まで十分揃えている	必要な物品を揃えたうえで持 ち出せる状態にしている
1	2	3	4

令和3年度佐賀市民意向調査報告書
(「これからの“まちづくり”に関する市民意向調査」)

令和3年7月

■発行

佐賀市企画調整部企画政策課
〒840-8501 佐賀市栄町1番1号
(TEL) 0952-40-7029 (FAX) 0952-29-2095